

令和7年度よいこの森こども園 自己評価表

- A たいへんよい
- B よい
- C 一部検討を要する
- D 改善を要する

令和8年4月公表

項目	内 容	評価				備考	
		A	B	C	D		
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			・保育目標は法人の保育理念やこども達の発達・成長の様子、そして保護者の願いを参考に作成し、職員会議・リーダー会議・フロア会議などで保育目標の共通理解を図った。	
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○				
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。		○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			・保育所保育指針に沿って立案した全体的な計画をフロアの現状に沿って月案や週案を作成した。また、こども達の成長・発達の状況に合わせて保育環境の構成に努めた。また日々の評価・反省を基に保育の改善にも努めている。	
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。	○					
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。		○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○				
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○				
日・時・程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム)は現行でよいか。		○			日々の状況に合わせて見直しを持って活動出来るようにしている。	
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				・行事終了後に保護者アンケートを実施し、保護者からの意見を真摯に受け止め、改善を務めるように努力した。また行事のねらいなどを保護者にも理解して欲しい、園だよりや挨拶などで伝えるようにした。	
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○				
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。		○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○				
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。			○	・円滑な運営が行えるよう、効率的かつ合理的な組織体制づくりに努めている。職員配置については、一人ひとりの経験や得意分野、特性を十分に考慮し、適材適所となるよう配置を行っている。また、職員間の連携を深め、共通理解を図るため、会議を定期的に行っている。会議においては、必要性や効率性を意識しながら進行し、日々の保育に必要な情報共有や課題確認を丁寧に行うことで、より良い保育実践につなげている。	
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○			
		(4) 係や仕事の分担は適切か。		○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			さらに、異年齢児保育および同年齢児保育それぞれの特性を活かした効果的な活動の充実を図るとともに、チーム保育が適切に行われているかについても常に確認しながら保育を進めている。子ども一人ひとりの姿を職員間で共有し、複数の視点から関わることで、安心して過ごせる環境づくりに努めている。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。			○		
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
	クラス経営	(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。		○			また、職員同士が互いに協力し合い、必要に応じて助言や声掛けを行いながら、園全体を支えるという意識の中にも努めている。日々のコミュニケーションを大切に、風通しの良い職場環境づくりを意識することで、職員が安心して力を発揮できる体制づくりを進めている。
		(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
		(3) チーム保育を適切に行っているか。		○			
	健康・安全	(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。	○				
		(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。	○				
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。		○			
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。		○			
	情報	(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報を通正に取り扱っているか。		○			
研修会・講習会について	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			・職員の資質向上を目的に、積極的に各種研修・講習会へ参加できる体制づくりを進めている。職員一人ひとりの課題や希望を把握し、必要な研修へ参加できるよう配慮している。また、不審者対応や災害時対応についても定期的に確認・研修を実施し、安全管理意識の向上に努めている。		
	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。	○					
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○					
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○		・安全計画を立て直し、毎月の避難・消火訓練を行っている。 ・大型遊具を含め園庭の環境について専門業者に依頼し点検を実施し、大型遊具は安全面からコーティング作業を実施した。		
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。		○				
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○					
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○			法人本部の指導の下に適切に処理している。		
開かれた保育所づくり	施設間交流・地域とのつながり	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		姉妹園で実施される互見研修に積極的に参加し、保育の質の向上に努めた。さらに、姉妹園の研修にとどまらず、職員自らが企画・立案を行い、保育者同士による合同研修を実施した。日々の保育の中で感じている課題や工夫している点などを共有し、互いの保育に対する理解を深めながら学び合う機会を設けたことで、保育に対する意識向上や職員間の連携強化にもつながった。	
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わう音ができるような配慮や援助・支援を行っているか。			○		
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対しての理解を深め援助についての共通理解を図っているか。		○			
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。			○		
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。		○			
	育て支援	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○	・育児講演会を実施し、少しでも保護者の悩みの解消に繋がるように努力した。講演が非常に好評だった為、令和7年度は2回育児講演会を実施するようになった。 ・地域交流の一環として、地域の老健施設への訪問を実施した。子どもたちの元気な声や笑顔に触れ、涙を流して喜ばれる方もおられ、「元気をもらいました」「また来てほしい」と温かい言葉をいただきました。世代を超えたふれあいの中で、子どもたちにとってお父さんやお母さんや相手と大切に心を育む貴重な機会となりました。 また地域の中学校より職業体験実習の受け入れも行いました。実習生には、保育の現場で子どもたちと関わる楽しさや、保育者の仕事の大切さを実際に体験していただきました。初めは緊張した様子も見られましたが、子どもたちと一緒に遊んだり活動に参加したりする中で、自然と笑顔が増え、積極的に関わる姿が見られました。子どもたちにとっても、年齢の近い中学生との交流は良い刺激となり、楽しい時間を過ごすことができました。今後も地域とのつながりを大切にしながら、さまざまな交流活動を継続していきたいと考えています。	
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。	○				
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			
		(4) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。		○			
	情報の発信	(1) 地域の子育てについて、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○			
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○			
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
		(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。	○				
		(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			
評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	○			・第三者評価についてはR年6月9日に実施。高い評価を頂くことが出来た。令和7年3月には例年通り第三者委員も実施した。		
	(2) 第三者委員制度を活用しているか。	○					

令和7年度 なかよしの森こども園自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

令和8年4月公表

項目	内容	評価				備考	
		A	B	C	D		
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	○				・利用者アンケートの結果を可能な範囲で保育・運営に反映した。	
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			・リブランディングにより、保育目標はより社会や保護者の要望にこたえる内容となった。	
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。		○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			・その年度の子どもの発達に合わせて、環境設定、教具の準備、保育の提供をおこなっている。	
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。		○			・乳児は月齢差が大きく、それぞれの目標を設定した。	
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。		○			・とうきょうすくわくプログラムに沿って、園児の心の豊かさを育む様な主体的・協働的探究活動を促進した。	
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	○					
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	○					
日・時・程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム）は現行でよいか。		○				
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			・コロナにより数年間園内で規模を縮小して実施していたもりフェスを、小学校体育館での実施に戻した。	
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			・オペレッタ会を開催した。	
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。		○			・夏祭りは前年度の反省を活かし、実施している。	
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○					
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○				
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○				・係の仕事内容で分かりにくいものや、負担の偏りがあった。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○				・5歳児は就学前活動の充実を図り、就学への意欲の高まりが見られた。
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○			・乳児クラスと幼児クラスで連携を取り、休憩時間や作業時間を平等に捻出する事が出来た。また、フロア会議を定期的実施している。
		(4) 係や仕事の分担は適切か。		○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○				・クラス活動を見直し、同年齢児の活動の充実を図った。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			・散歩の機会を増やし、交通安全指導、地域とのふれあい、体力の向上に繋がった。
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。	○				
	クラス	(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。		○			
		(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
	健康・安全	(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。		○			
		(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。		○			
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。		○			
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。		○			
	情報	(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報適正に取り扱っているか。	○				
	研修会・講習会について	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○			・キャリアアップ研修、法人研修に参加した。
(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。			○			・外部有識者の研修に参加し、園の運営や職員評価について活用した。	
(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。			○				
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				・遊具、設備の点検を定期的実施している。	
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。		○			・滑り台の改修を実施し、より安全に遊べるようにした。	
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	○				・掲示板に掲示する内容を増やし、更新頻度を上げたことで、園の情報がよりわかりやすくなった。	
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○					
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○					
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○			・近隣の小学校へ、見学・交流会・八百屋さんごっこに参加し、地域の小学生と関わる機会が増えた。
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わう音ができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			・未就園児対象の子育てひろばを月に2～3回実施。栄養士による栄養相談、看護師による身体測定と保健相談、保育士による子育て相談を行っている。
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。		○			地域のすこやか家庭センターへパンフレットを置かせてもらい、周知している。
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。		○			・離乳食試食会を実施し、入園を検討中の地域家庭が園の雰囲気を知ったり、保育者に質問できる機会とした。
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。	○				
	地域との子育て支援	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○			・プレーパークに参加し、園内では体験できない遊びを通して、園児の興味や関心を引き出すことが出来た。
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			・夏祭りは、昨年度同様、園の利用者だけでなく地域の方々も参加可能にした。
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○		
	情報の発信	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。		○			・公式LINEアカウントを作成し、園見学者、子育てひろば来訪者に園の情報提供を開始した。情報を配信問い合わせをせずに
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	○				
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
	評価	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。	○				
		(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			
	第三者	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	○				・令和8年1月に第三者評価を実施。結果を踏まえ、令和8年度以降の保育に反映する。
(2) 第三者委員制度を活用しているか。			○				

令和7年度ともだちの森保育園自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

令和8年4月公表

項目	内 容	評価				備考	
		A	B	C	D		
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			職員会議やリーダー会議、フロア会議を定期的に行い、同時に事務所の掲示で会議内容の周知徹底を行った。 フロア会議は、週1回から2週に1回に回数を減らし、会議を待たずに共有するように努めた。	
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○				
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。		○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			子どもの様子をフロア会議等で共有し、一人一人に合った環境づくりに力を入れた。 教員教材の使い方について職員間で検討し、子どもたちの興味や発達に合わせたものを整えるようにした。	
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。		○				
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。	○					
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	○					
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○				
日・時・程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム）は現行でよいか。	○				子ども自身で一日の流れを考えて行動することが出来る。	
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				保護者がより多く参加できるよう、学校行事も踏まえて日程決めを行った。 行事後はアンケートを実施し、次の行事の改善に活かした。 夏まつりには、卒園生（小5・6）を招待し、夏のボランティアにもつなげた。 保護者会では、他の保護者に聞いてみたい質問に対して、意見を募り、まとめたものを配布した。 卒園児同窓会を昨年に引き続き企画し、保護者同伴の年長児との交流会を開いた。保護者同士の親交も深まり好評だった。	
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○					
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。	○					
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○				
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		委員会の会議は、定期的に行うことができなかったが、業務内容を全体で共有し、負担軽減につなげることができた。 乳児・幼児フロアの連携が図られ、異年齢の関わりがスムーズにできた。 健康・安全に関する習慣や家庭への啓発においては、看護師による保健指導で使用した資料を持ち帰ってもらうことで、保護者へも周知できた。本の紹介なども行った。 避難訓練は、反省を活かしながら毎月行うことができた。引き取り訓練は近隣の小学校に合わせた日程し、地域全体での防災訓練になった。秋には、実際に非常食を食べる訓練も行い、振り返りから改善につなげることが出来た。防犯訓練は、年2回実施した。 警察署に依頼し、交通安全教室（4.5歳児）を行った。交通ルールについて知る機会になり、その後実際に横断歩道を渡る散歩を取り入れた。	
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○				
		(3) 職員の配置は適材・適所か。	○				
		(4) 係や仕事の担当は適切か。	○				
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しまずことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。	○				
	クラス経営	(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。	○				
		(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
		(3) チーム保育を適切に行っているか。	○				
		健全・安全指標	(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。	○			
			(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。	○			
	情報	(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。	○				
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。	○				
		(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報適正に取り扱っているか。	○				
研修会・講習会について	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			法人内の研修には、積極的に参加し、個々の研鑽につなげた。 キャリアアップ研修については、計画的に進めることができた。 他法人の研修に参加することで、保育の根本的な部分を考え直したり、再確認したりすることが出来た。 音楽遊びの研修など外部研修にも積極的に参加し、保育士自身のスキルアップにも繋がった。 砂場は、年に2回の安全整備を行い、安全な環境を保つことが出来た。掲示等については、定期的に見直し、見やすいレイアウトを心がけた。玄関には、絵本の貸し出しコーナーを継続して設置し、1月からは世界の絵本の貸し出しも行っている。		
	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。	○					
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○				
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○					
	(2) 道具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。	○					
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○					
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。		○		年に2回、本部の会計往査を受け、適切な処理に務めた。		
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		小学校の校庭散歩・見学会・5歳児保育交流に参加することができ、就学への準備につながった。近くの農家の方に依頼してイチゴ狩りや大根掘り体験をすることができた。 第3中学校の職場体験、小・中・高生等のボランティア受け入れを行い、保育の仕事に興味関心を持ってもらうことにつながった。 一時預かり利用を実施しており、年間のべ227人の受け入れを行った。 園だよりでは、子育ての情報や園での取り組みなどを伝えた。 フロアだよりでは、子どもたちの育ちやクッキングの様子、すくわくプログラムの取り組みなどを伝えた。 5〜2月の間は、月に5日ほど公開保育日を選び、希望する保護者に見てもらった。 夏まつりには、一時保育利用者や園児学童に案内をし、10家庭ほど来園があった。 育児講座として、赤ちゃんからの性教育について講師を招き2回行った。合わせて30家庭ほどの参加があった。	
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。		○			
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。		○			
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。		○			
	域との連携	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○			
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			
	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。		○			
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○			
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
情報の発信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。	○					
	(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○				
第三者評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	○			第三者評価を受審し、振り返り・見直しを行うことが出来た。		
	(2) 第三者委員制度を活用しているか。		○		年間を通じ、大きな苦情等なし。		

令和7年度ゆめの森保育園自己評価表

A	たいへんよい
B	よい
C	一部検討を要する
D	改善を要する

令和8年4月公表

項目	内 容	評価				備考
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			・定期的な職員会議・フロアー会議を行い、共通認識をはかった。
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	○				
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。	○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			・子どもの姿や興味関心、保護者とのコミュニケーションの中で得られた情報をもとに、環境調整、教具教材の準備、活動の展開等話し合いながら進めた。
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。	○				
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	○				
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日・時・程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム)は現行でよいか。		○			
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			・行事ごとに保護者アンケートを実施。それを踏まえて内容を検討した。 ・保護者参加の行事は土曜日に開催し、多くの方が参加できた。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。	○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		・職員の職務分掌を明確にしつつ、サポートを行いながら分担し業務を遂行した。 ・各会議での議題を明確にし、参加出来ない職員には別日で情報共有を行い、全員周知の徹底に努めた。 ・互見研修を行い、保育目標の統一を図った。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○		
		(3) 職員の配置は適材・適所か。	○			
		(4) 係や仕事の分担は適切か。	○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○		
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○		
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○		
		(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。		○		
		(2) 異年齢及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。		○		
	健康・安全	(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。	○			
		(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。	○			
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。		○		
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。		○		
	情報	(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報に適切に取り扱っているか。		○		
		(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			
研修会・講習会について	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。		○			
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○			
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○		・会議で危険箇所等の情報を共有し、物理的に対処できる部分は直ちに修繕又は改修した。 ・連絡アプリによって不審者等の情報を随時発信。	
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。		○			
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		・法人内での合同研修などを通して、法人が目指す保育への理解を深めた。 ・地域の企業・お店などへ訪問したり交流をもつ機会を作り、それらが活動や行事へ展開した。 ・児童発達支援センターとの緊密な連携を行っている。 ・「誰でも通園制度」を実施し、未就園児の支援を行った。
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わう音ができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○		
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。	○			
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。		○		
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。		○		
	地域とのつながり	(1) 保護者以外にも対象にした参観日等を設定しているか。		○		
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。	○			
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○		
		(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。	○			
	育て支援	(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○		
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○		
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○		
		(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。	○			
	情報の発信	(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○		
		(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○		
評価	(2) 第三者委員制度を活用しているか。		○			

令和7年度えがおの森保育園自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

令和8年4月公表

項目	内 容	評価				備考	
		A	B	C	D		
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			・職員会議やフロア会議で適宜振り返りや目標の確認を行い、共通認識を図った。	
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○				
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。		○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				・日々子ども達の様子を確認しつつ、環境構成に重点をおいて常に振り返り、計画、変更、実践をおこなってきた。また、研修等で学んできた知識を共有し、保育に活かした。	
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。	○					
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。	○					
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○				
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○				
日・時・程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム）は現行でよいか。		○				
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			・行事ごとにねらいや目標に沿って、開催方法を検討し、実施した。 ・親子で体験できる、遊べる回数を増やし、実施した。 ・実施後にはアンケートを配信し、保護者の要望を把握する。	
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○				
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。		○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	○					
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		・リーダー会議やフロア会議、パート会議等、細かく分けて各職員の体制や現状を把握し、サポートできるように努めた。 ・会議の内容が一面的になりやすいため、各職員がそれぞれの意見を発言できるように事前に議題を伝え、それぞれ考えてきたことを発言できる場を設定した。	
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○			
		(4) 係や仕事の分担は適切か。		○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
	クラス経営	(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。	○				
		(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。		○			
		(3) チーム保育を適切に行っているか。	○				
	健康・安全指	(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。		○			・定期的な訓練を行い、職員の対応の向上に努めた。また、訓練時に少数で行うことで、活発に意見が発生し、その都度最善の対策をマニュアル化して、更新した。
		(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。		○			
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。		○			
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。	○				
		(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報を通正に取り扱っているか。	○				
情報	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			・昨年度に引き続き、保育体制を確保しつつ、研修に参加できるように調整を工夫し、全職員が法人内や外部の研修に参加し、知識や技術の向上を図ることができた。		
	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。		○				
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○				
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○			・会議で危険箇所等の情報を共有したり、安全チェックを実施し、物理的に対処できる部分は直ちに修繕又は改修した。 ・れんらくアプリによって不審者等の情報を随時発信。		
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。	○					
	(3) 不審者等に対応する周知な配慮を行っているか。	○					
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○				
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○					
開かれた保育所づくり	施設間交流・連地	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		・近隣の系列園の園児が訪問したり、近所の小中高生の職場体験の一環として受け入れを行ったり、積極的に地域社会との交流の機会を設けた。 ・夏祭りに園児学へきた在園児以外のご家庭も招待し、行事へ参加していただいた。	
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わう音ができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。		○			
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。		○			
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。		○			
	育て支援の	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○		
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○		
		(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。			○		・育児アドバイザーを招いて、育児講座を行った。
	情報の発信部	(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○			
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
	評価	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。	○				・園内の掲示板やアプリを活用して適宜情報発信している。
		(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			○		
		(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	○				・R7年度に第三者評価を実施した。
(2) 第三者委員制度を活用しているか。		○					

令和7年度たのしい森保育園自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

令和8年4月公表

項目	内容	評価				備考
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			職員会議やリーダー会議、フロア会議を活用して周知徹底し、特に一人ひとりの子どもの姿や森友会として大切にしている事項について認識を共有することを重視した。
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	○				
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。	○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			クラスごとの時期的な関心と一人ひとりの子どもの関心・興味との両立を目指し、試行錯誤をおそれることなく取り組んだ。子どもの遊びの発展を促す職員の対応は、さらに向上の余地がある。
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日・時・程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム）は現行でよいか。		○			子どもの日々の状況に合わせて見直しを立てておこなっている。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			種類や実施要領を柔軟に修正して実施した。また、つとめて子ども主体で計画・実施したことで、子どもたちのより生き生きと楽しむ姿が見られ、職員の経験値の向上に寄与できた。保護者からは、概ね肯定的な評価を受けることができた。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		分掌・体制は概ね適切だが、業務ノウハウの蓄積要領はさらに改善の余地あり。各種会議は、形式にとらわれず効率的に実施できた。乳児フロアと幼児フロアの交流は、体制上の余裕が少なかったため職員の入れ替えは実施しなかったが、相互にコミュニケーションを図ることで、子どもたちの活動や交流の幅を広げる機会を柔軟につくることができた。各保育室・園庭・屋上の職員配置は、所要の密度フロア間で軽易な調整を比較的連携が円滑にできるようになった。避難訓練は月1回実施。保護者のご協力をいただき震災発生時の引き渡し訓練も実施。他方で、交通安全指導はさらに意識的に取り組む必要がある。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○		
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○		
		(4) 係や仕事の分担は適切か。		○		
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○		
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○		
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。	○			
	クラス経緯	(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。	○			
		(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。		○		
	健全・安全情報	(3) チーム保育を適切に行っているか。		○		
		(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか		○		
			(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。		○	
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。		○		
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。		○		
	(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報を通正に取り扱っているか。	○				
研修会・講習会について	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○		法人の研修、赤い鳥研修、キャリアアップ研修とも積極的に参加・受講でき、研修成果を都度作成して共有する態勢はできている。各種会議の場を活用して、研修成果をさらに深掘りするような機会を増やしたい。	
	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。	○				
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○			
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○		安全点検は委員会活動による計画的点検のほか、職員による適時の報告を受けて対応している。遊具・用具等の整理は概ね適切だが、書類は増えたため倉庫の整理は必要。屋外掲示板の効果的な活用は改善の方向にある。	
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。	○				
	(3) 不審者等に対応する周知な配慮を行っているか。		○			
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○			
出納・経理	(1) 各種会計を通正かつ適切に処理しているか。	○			特に問題なし。	
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。				近隣施設からの依頼で、年長児との交流会を実施。今後も継続的に実施していく。地域の小学校の施設を借りて行事実施。地域社会との交流は、引き続き課題である。れんらくアプリを活用した「日々の活動」を配信。
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。			○	
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。		○		
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。			○	
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。			○	
	域との連携	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○	
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。			○	
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○	
	育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。			○	
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。			○	
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○		
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○		
	情報の発信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。	○			
		(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○		
	外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○		
(2) 第三者委員制度を活用しているか。			○			

令和7年度やさしい森保育園自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

令和7年4月公表

項目	内 容	評価				備考
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			・職員会議やフロア会議等で常に目標を立てながら振り返りを行ってきた。
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	○				
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。		○			
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			・子どもの姿や興味を捉え日常の保育や環境の中に取り入れることができた。 ・単発的な活動が多い為、継続的な活動に取り組めると良い。 ・行事前になると行事の活動に力が入りすぎてしまうので、日常とのバランスを図る。
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日・時・程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム）は現行でよいか。		○			・生活の中で保護者主体で子どもを動かしてしまう場面もあるので、引き続き見直しが必要。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			・その都度、保護者アンケートを募り、前年度の反省を活かして実施した。 ・保育の中で子ども達が話し合う機会を設け、保育や行事に子どもの思いが反映される取り組みがみられるようになった。 ・幼児フェスティバルでは保護者も巻き込み盛り上げたことで会場の一体感や保護者の満足度も得られたように思う。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○			・各フロアや委員会活動などそれぞれの役割の下、能動的に動くことができた。 ・園全体の運営としては、園長・主任をはじめ保育委員会のメンバーでその都度話し合いを行いながら進めることができた。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か。	○			
		(4) 係や仕事の分担は適切か。		○		
	運営クラス	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○			
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○			
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○		
		(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。		○		
		(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。		○		
		(3) チーム保育を適切に行っているか。	○			
保健・安全指	(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。		○			
	(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。	○				
	(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。		○			
	(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。		○			
情報	(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。		○			
研修会・講習会について	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○		・法人内の保育研修をはじめ、他法人との蓄める保育研修、さらに、主任主催の研修やキャリアアップ研修に参加し、保育の理解を深めることができた。 ・科学する心では「子どもの姿を観察し考察する」機会となり、来年度は保育の一面を見ながら職員で議論を深めたい。	
	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。			○		
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○			
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○		・安全委員会を中心に園内の危険な箇所等点検及び対策を行った。	
	(2) 玩具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。		○			
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○			
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○			
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。		○		・ブロック監査やOAG監査、東京本部会計巡回でみていただき、適切に処理に努めた。	
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		・小平市の私立園長会や看護師会、公私立での園長会や主任会、保幼小連絡会に参加し、情報を得た。 ・研修や互見会等で職員間の交流等行うことができた。また、近隣姉妹園と公園で活動したり、オペレッタを見せ合うなど交流も行うことができた。今後は年長児だけではなく年中児も行うなど機会を増やしていきたい。 ・地域資源としては、近隣農園での収穫体験やスーパーでの買い物、また今年度初めて近隣の老人ホームを訪問しお年寄りの方との交流を深めた。子ども達から「ハロウィンで作った衣装を見せたい」と要望もあり、訪問に積極的な姿が見られた。 ・園見学には柔軟に受け入れし、丁寧な説明を行った。 ・地域の子育て資源として園を開放することには課題があり、来年度は園見学へ来た方を夏祭り招待するなど行う予定。
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	○			
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。		○		
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。			○	
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。			○	
	域との連携	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○	
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。	○			
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○	
		(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。			○	
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。			○	
育て支援の推進	(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
	(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報発信しているか。		○			
	(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			○		
情報の発信	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	○			・第三者評価を実施し、結果を園内で共有しより一層力を入れる項目を確認した。 ・年間を通じた大きな苦情なし。	
	(2) 第三者委員制度を活用しているか。		○			

令和7年度きぼうの森保育園自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

令和7年4月公表

項目	内 容	評価				備考	
		A	B	C	D		
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			・職員会議、フロア会議で共通認識を図っている。 特にフロア会議の時間を確保することで意識は高まっている。	
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	○					
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。	○					
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			・教具、教材は園児の成長・発達・興味関心に合わせて頻繁かつ柔軟に変更。 ・一人ひとりのニーズに合った指導計画は立てているものの、見守りの保育では難しい。 ・保育目標に沿った職員の自己評価を実施。振り返りを大切に。発達へのまなざしをもっと強化したい。	
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。		○				
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。		○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○				
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○				
日・時・程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム)は現行でよいか。		○			・現行でよいが、5歳児は1日15分のお集まりが必要。	
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				・ねらいが共通理解できていないまま行事のための行事になっていたが若干改善された。 ・目標、目的、ねらいを明確にし、なんのためにその行事を行うか共通理解できるようにしたい。今後は評価と事後アンケートを意識したい。	
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○				
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。	○					
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○				
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○			・フロア担当制、チーム保育で保育を推進。柔軟な体制を組めるように工夫。 ・月2回フロア会議を設け現状の子どもの発達を話し合うクラス経営を行っている。 ・職員会議にて各委員会からの指導と伝達事項を伝えていく。 ・PDCAサイクルを意識して組織づくりに取り組んでいる。 ・基本的に異年齢児保育を行っているが、部屋の雰囲気や子どもの成長具合によっては乳児の保育室内で保育者と幼児の園児が一緒に関わる機会を設けている。 ・個人情報については、家庭ごとの同意書に基づき適切に取り扱っている。 ・電話対応の際、個人情報が漏れないよう努めている。	
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○				
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○			
		(4) 係や仕事の分担は適切か。		○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
	クラス経営	(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。		○			
		(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。		○			
		(3) チーム保育を適切に行っているか。	○				
	健康・安全指標	(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。		○			
		(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。		○			
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。		○			
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。		○			
	情報	(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。		○			
研修会・講習会について	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			・赤い鳥研修にこれまで行っていなかったものが行き、基本を確認できた。 ・職員会後の新採用、リーダー研修等園内研修を充実させた。 ・代わりにオンライン研修を実施。		
	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。	○					
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○					
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○			・玄関ホールの二重扉の修理を行った。今回は、業者に依頼し、土間を新たに設置し、使いやすくなった。		
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。	○					
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○					
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○			可能な限り適切に処理している。		
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携の地域との子	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		・保育者同士の交流については、法人内研修の位置付けとし、保育交流を実施した。 ・全ての保護者に対し個人面談を実施し、保護者の願いや家庭での状況を把握に努めた。 ・施設の情報提供に関しては随時連絡アプリシステムにて情報提供し伝え漏れの無い様子を付けている。 ・保護者対象育児講演会を実施した。	
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。			○		
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。		○			
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。			○		
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。		○			
	育て支援の情報発信部	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。	○				
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○		
		(4) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。			○		
	情報発信部	(1) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。			○		
		(2) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。			○		
		(3) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
	評価	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。		○			・第三者評価については8年度に予定している。
		(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			○		
	評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○			・第三者評価については8年度に予定している。
(2) 第三者委員制度を活用しているか。			○				

令和7年度こもれびの森保育園自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

令和7年4月公表

項目	内 容	評価				備考	
		A	B	C	D		
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			・職員会議やリーダー会議、フロア会議を活用し共通理解を図ったが、人手不足もあり目標に対しては未達と感じた。	
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○				
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。			○			
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			・人手不足ということもあり、前年度よりも日々の子ども達の様子をより確認し、適切な援助を実施した。 ・子どもが興味・関心に合わせて、教具や教材を購入し提供した。 ・週末ごとに教具や教材の一部入れ替えを実施した。	
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。			○			
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。		○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	○					
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。			○			
日・時・程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム）は現行でよいか。		○			・子どもとしっかり関わることができているが、必要に応じて見直しを行う。	
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			・年間で計画していた行事は全て実施した。 ・各行事は前年度の保護者アンケートの意見や、職員の反省を参考にし工夫して行っている。	
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○					
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。		○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○					
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	○					
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。			○	・特に下半期は人手不足に陥り両フロア間のコミュニケーションが不足がちなとなった。 ・その中でもフロア会議を月2回行い、非常勤職員も参加することにより、職員一人一人が発言できる機会を設けた。 ・子ども達と適切な距離を保ち、誉める保育を実践。 ・問題になるような怪我などはなかった。 ・看護師による、緊急対応訓練を複数回行い、安全対策に努めた。	
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。			○		
		(3) 職員の配置は適材・適所か。			○		
		(4) 係や仕事の分担は適切か。		○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しまずことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。			○		
	クラス経営	(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。	○				
		(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。		○			
		(3) チーム保育を適切に行っているか。		○			
		(4) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。		○			
	健・安全指	(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。	○				
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。		○			
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。	○				
	情報	(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				
研修会・講習会について	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。			○	・キャリアアップ研修、法人内の研修は計画的に職員を派遣したが、赤い鳥主催の誉める保育研修については派遣が出来なかった。 ・研修参加者は、参加後に報告書を作成し、研修内容は全職員で内容を共有している。		
	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。		○				
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○				
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○		・怪我が発生しそうな箇所は事前に予防処置を講じ、機会がある度に修繕を行っている。 ・屋外掲示板は適宜更新をした。		
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいうに整理・保管しているか。		○				
	(3) 不審者等に対応する周知な配慮を行っているか。		○				
	(4) 掲示板、掲示場等を適切かつ効果的に活用しているか。	○					
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。		○		・適切に処理した。		
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○	・近隣の畑で、年に2回じゃがいも堀とさつま芋堀を行い、交流を図った。 ・小学校の校庭散歩、見学会に参加することができ、就学への準備につながった。 ・保育参加は、園庭と保育室を開放し、保護者同士の交流を図った。 ・令和7年11月には外部講師を招き、「知って得する乳幼児期の性教育」と題し、保護者向けの講座を実施した。 ・利用保護者以外の見学希望者は随時受け入れを実施。園長が案内を行った。 ・令和7年度は保護者面談以外の育児相談を6家庭に行った。		
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。		○			
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。		○			
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。		○			
	域との連携	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○			
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。				○	
	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。				○	
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	○				
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
	情報発信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。	○				
		(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			
	評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。				○	・年間を通じて大きな苦情等はなかった。 ・第三者評価は令和5年度に実施。
(2) 第三者委員制度を活用しているか。		○					

令和7年度あかねの森保育園自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

令和8年4月公表

項目	内 容	評価				備考
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	○				職員会議等で、当園として意識することや目指していることを共有した。
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。	○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			教材教材の選び方、出し方などをもっと工夫できるようにしたい。 振り回りの時間が少なかった。
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。	○				
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。			○		
日・時・程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム)は現行でよいか。		○			子どもの状況で日々改善していく。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				各学年、1つの行事で終わりでなく次の行事に繋げられるような計画を立てることが出来た。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。	○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	○				
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		異年齢保育、チーム保育という特性を理解し職員間相互に協力しながら日々の保育の質の向上に努めた。さらに向上させるため、職員会議等を利用して話し合いの場を多く設けた。 ・看護師による保健指導を実施した(手洗い指導、プライベートゾーンについて、等) ・乳児、幼児の行き来を積極的に計画して実施できた。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○		
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○		
		(4) 係や仕事の分担は適切か。	○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○			
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○		
	クラス	(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。			○	
		(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。	○			
		(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。		○		
	健康・安全	(3) チーム保育を適切に行っているか。	○			
(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。			○			
(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。		○				
情報	(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。		○			
	(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。	○				
研修会・講習会について	(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				
	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			法人内研修の際には積極的に参加してくれた。 職員のモチベーションにつながったと思う。	
施設・設備	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。		○			
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○			
出納・経理	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。		○			
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○			
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○			・近隣小学校の1年生と交流ができ、進学に向けての期待を持たせることが出来た。 入園に関する園見学を多く受入、丁寧に説明することができた。 地域イベントに参加出来なかった。
		(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○		
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。		○		
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。		○		
	域との連携	(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。		○		
		(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○		
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。			○	
	子育て支援の推進	(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○	
		(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。			○	
(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。				○		
(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。				○		
情報発信	(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。	○			地域住民が参加できる行事を企画していない。	
評価	(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			○		
	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	○			・年に1回以上第三者委員会を開いて情報共有している。	
評価	(2) 第三者委員制度を活用しているか。	○				

令和7年度みらいの森こども園自己評価表

A	たいへんよい
B	よい
C	一部検討を要する
D	改善を要する

令和8年4月公表

項目	内容	評価				備考
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	○				・理念方針、目標に対して、フロア会議で毎回ディスカッションを行い共通認識を計った。職員会議でもリブランディングの内容を3回にわたり説明を行った。
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	○				
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。	○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				・子どもの姿や興味関心、保護者とのコミュニケーションの中で得られた情報をもとに、環境調整、教具教材の準備、活動の展開等話し合いながら進めた。振り返りの機会が前半はあまり持てなかった。
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	○				
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日・時・程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム)は現行でよいか。		○			日々、こどもの様子から試行錯誤を重ねている。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				・子どもの主体性を尊重した中で、保育からの継続性を重視して行事を行った。行事の狙いをもっと深掘りする必要がある。反省はよく活かしている。 ・行事ごとに保護者アンケートを実施。反省を活かしながら実施した。 ・保護者参加の行事は土曜日に開催し、多くの方が参加できた。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。	○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	○				
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		・職員の職務分掌を明確にしつつ、サポートを行いながら分担し業務を遂行した。 ・各会議での議題を明確にし開催し、参加出来ない先生には情報共有を行った。 ・協力姿勢に個人差が見られたが、改善傾向にある。 ・毎月の事務総務委員会で、園長-主任で園としての方針を明確に確認しながら運営を進めた。 ・幼児フロアのチーム運営に支障があったが、リーダーの変更後改善に向かった。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か。	○			
		(4) 係や仕事の分担は適切か。	○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○			
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○		
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。	○			
	クラス経営	(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。		○		
		(2) 異年齢及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。	○			
		(3) チーム保育を適切に行っているか。		○		
	健康・安全指標	(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。	○			
		(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。	○			
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。	○			
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。	○			
	情報	(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報に適切に取り扱っているか。	○			
研修会・講習会について	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			・園内の研修計画に基づき、キャリアアップ研修以外の外部研修へも多数参加。 ・アンケートや面談でニーズを把握しています。 ・職員会での共有または会議での資料共有及び社内SNSを使った情報共有	
	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。	○				
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○				
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○			・会議で危険個所等の情報を共有し、物理的に対処できる部分は直ちに修繕又は改修した。 ・連絡アプリによって不審者等の情報を随時発信。	
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。	○				
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		・他法人との職員交流を引き続き実施。 ・他施設との園児交流は行われていない ・法人内での保育士の合同研修などを通して、法人が目指す保育への理解度を深めた。 ・松島小学校と交流会に参加した。 ・地域の企業・お店などへ訪問したり交流をもつ機会を作り、それらが活動や行事へ展開した。
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わう音ができるような配慮や援助・支援を行っているか。			○	
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。	○			
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。	○			
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。			○	
	地域とのつながり	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。	○			
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。	○			
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	○			
	子育て支援	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。		○		
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	○			
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	○	○		
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○			
	情報の発信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。	○			
		(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。	○			
	評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	○			
(2) 第三者委員制度を活用しているか。		○				

令和7年度ひだまりの森保育園自己評価表

- A たいへんよい
- B よい
- C 一部検討を要する
- D 改善を要する

令和8年4月公表

項目	内 容	評価				備考	
		A	B	C	D		
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			・職員会議やリーダー会議、各フロア会議を活用し共通認識を図った。	
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○				
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。	○					
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			・日々子ども達の様子を確認しつつ、適切な援助を実施した。 ・子どもの姿や興味関心、保護者とのコミュニケーションの中で得られた情報をもとに、環境調整、教具教材の準備、活動の展開等話し合いながら進めた。	
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。		○				
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。	○					
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○				
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○				
日・時・程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム）は現行でよいか。		○			・園児の主体性を尊重した。	
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			・在籍数に合わせ無理なく実施。 ・行事ごとに保護者アンケートを実施。それを踏まえて内容を検討 ・土曜日に設定し、多くの保護者の方に参加いただけた。 ・新たに、親子イベントや育児講座など頻度を増やした。	
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○					
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。	○					
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	○					
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		・フロア担当制、チーム保育で保育を推進。柔軟な体制を組めるように工夫。 ・毎週1回フロア会議は非常勤職員も参加し、現状の子ども達の発達に寄り添い月間指導計画の細部を話し合いクラス運営を行った。 ・子ども達と適切な距離を保ち、誉める保育を実践。 ・個人情報については、家庭ごとの同意書に基づき適切に取り扱っている。	
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○			
		(4) 係や仕事の分担は適切か。		○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
	クラス	(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。		○			
		(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
		(3) チーム保育を適切に行っているか。		○			
	健康・安全	(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。	○				
		(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。	○				
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。		○			
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。		○			
	情報	(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。		○			
			○				
研修会・講習会について	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○		・キャリアアップ研修は一人1回以上機会を設けた。 ・赤い鳥研修や誉める保育研修に参加した職員は、自園に持ち帰り他職員への学びにつながった。		
	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。		○				
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○				
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○		・怪我が発生しそうな箇所は事前に予防処置を講じ、機会がある度に修繕を行っている。		
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。		○				
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○					
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○			・適切に処理した。		
開かれた保育所づくり	施設間交流・連地	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		・保育者同士の交流については、法人内研修の位置付けとし、保育交流を実施した。 ・小学校との交流については、5歳児を対象に小学校訪問を実施した。 ・他法人の園と、公園で遊ぶ機会を設け交流を行った。 ・子ども家庭支援センターと要支援家庭に対する連携を行った。 ・全ての保護者に対し参加は任意であるが個人面談を実施。互いに成長を喜び合う取組を行った。 ・施設の情報提供に関しては随時連絡アプリシステムにて情報提供し伝え漏れの無い様子を付けている。 ・育児講座「乳幼児期からの性教育」というテーマで学ぶ機会を提供した。	
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わう音ができるような配慮や援助・支援を行っているか。			○		
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。		○			
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。		○			
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。		○			
	育て支援の	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○		
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。	○				
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○		
		(4) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。			○		
	情報の発信部	(1) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○			
		(2) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
	評価	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。	○				・年間を通じて大きな苦情等はなかった。
		(2) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○			

令和7年度うれしい森保育園自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

令和7年4月公表

項目	内 容	評価				備考	
		A	B	C	D		
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			園としての保育目標、フロアの目標を会議等で共有し、半期ごとに振り返り見直しをしている。	
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○				
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。	○					
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			子どもの成長や興味関心などに合わせて、環境構成の見直しを実施している。また、法人内他園と視察を相互に受け入れ、学び合うことで、保育の質の向上に努めている。	
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。	○					
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。	○					
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	○					
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○				
日・時・程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム）は現行でよいか。		○				
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			行事後は必ず保護者向け・職員向けアンケートを実施し、評価反省を次回開催時に活かしている。	
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○					
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。	○					
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○					
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○				
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○			職員負担の軽減と保護者ニーズを満たすことの両面から、業務の効率化を進めている。各クラスのリーダーとサブリーダー、園長、主任とリーダー会議を実施し、全職員が連携を図れるように対応している。クラスは0-1歳児、2-5歳児と異年齢となっており、異年齢の関わりを大切にしている。その中で、複数の職員を配置し、閉鎖的にならないように、開かれた環境の中で互いにけん制し合いながら、職員それぞれの個性を大切にしている。	
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○			
		(4) 係や仕事の分担は適切か。		○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
		クラス経営	(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。		○		
			(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。	○			
	(3) チーム保育を適切に行っているか。		○				
	健康・安全	(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。		○			
		(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。		○			
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。		○			
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。	○				
	情報	(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				
研修会・講習会について	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			職員面談にて、学びたい分野のニーズを把握している。また、わり77杯研修・表現活動研修・ピアノレッスン等を公開し、職員自ら学びたい研修に参加できる仕組みを設けている。		
	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。	○					
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○					
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○			法人内他園と教具などヒヤリハットなどを共有し、破損や扱い方に関する危機意識を高めている。保育室内の教具や園庭遊具は定期的な点検をしている。		
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。	○					
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	○					
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○					
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○					
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。	○			近隣姉妹と交流を実施することで、互いの活動を高め合ったり、同じ就学先に向けての安心感につなげることができた。また、近隣小学校を訪問し、校内探検や小学生と交流することで、就学に向けたイメージ定着や期待を高めることができた。	
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わう音ができるような配慮や援助・支援を行っているか。	○				
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。		○			
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。		○			
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。	○				
	地域とのつながり	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○		市内の保育に興味のある方を対象に、ボランティアとして受け入れ、園児の交流や福祉ニーズへ貢献することができた。	
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○		
		(4) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。		○			
	子育て支援	(1) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。			○		
		(2) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
	情報の発信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。	○				
		(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			○		
評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	○			第三者委員2名のうち、1名が次年度交代になるため、面談を行った。		
	(2) 第三者委員制度を活用しているか。	○					

令和7年度ほほえみの森保育園自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

令和8年4月公表

項目	内容	評価				備考	
		A	B	C	D		
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	○				法人の理念を具体化した「大人も子どももわくわくして輝ける園」を年度目標に設定。職員会議にて各クラス・各担当の具体的な役割（アクションプラン）を言語化し、全職員の共通認識として保育に落とし込んだ。	
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	○					
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。	○					
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			日々の記録から汲み取った子どもの興味・関心に加え、送迎時の対話や連絡帳から得た家庭での様子を反映し、環境構成や教材の選定を行った。一人ひとりの発達に即した動的な計画作成に努めている。	
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。		○				
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。	○					
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	○					
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○				
日・時・程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム）は現行でよいか。		○				
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				保護者の参加しやすさを考慮した土曜開催により、高い出席率を得た。日曜開催の要望についても真摯に受け止め、次年度に向けてアンケート結果に基づく開催日程の再検討や平日の保育参観の充実など、多様な家庭環境に寄り添った形態を模索する。	
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○					
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。		○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○				
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		多地域に展開する法人のネットワークを活用した合同研修や情報交換を積極的に実施。多様な実践事例の共有を通じて法人理念を深く浸透させるとともに、職員全体の専門性向上と視野の拡大を図った。	
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○				
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○			
		(4) 係や仕事の分担は適切か。	○				
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
	クラス経営	(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。		○			
		(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
	健康・安全	(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。		○			
		(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。		○			
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。		○			
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。		○			
	情報	(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報に適切に取り扱っているか。	○				
		(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○				
研修会・講習会について	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。		○				
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○				
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○		安全点検を計画的に実施し、修繕・改修を迅速に行った。防犯面では、「れんらくアプリ」を活用したリアルタイムな不審者情報の共有を行い、家庭と園が一体となった安全管理体制を構築した。		
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。		○				
	(3) 不審者等に対応する周知な配慮を行っているか。		○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○					
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○					
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		学校や地域企業との交流実績に対し、それが園児の育ちや園の地域的役割にどう寄与したかという「成果」を追記し、説得力を高める。 おたより等による従来の情報発信に加え、日々の保育の様子を地域社会へ積極的に発信。外部に対して園の取り組みを可視化し、地域からの理解と信頼を得る透明性の高い施設づくりを推進した。	
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わう音ができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。		○			
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。		○			
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。		○			
	地域との子育て支援	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。	○				
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。	○				
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			
	情報の発信	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。		○			
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○			
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
	評価	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。	○				第三者評価についてはR7年度に実施。次回、R10年度実施予定。
		(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			
	第三者評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	○				
(2) 第三者委員制度を活用しているか。			○				

令和7年度 ふれあいの森保育園自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

令和7年4月公表

項目	内 容	評価				備考	
		A	B	C	D		
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。					・理念に対して、具体的かつ段階的な目標を設定、職員会議・フロアー会議で共通認識を行った。	
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。						
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。						
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。					・子どもの姿や興味関心、保護者とのコミュニケーションの中で得られた情報をもとに、環境調整、教具教材の準備、活動の展開等話し合いながら進めた。	
	(2) 保育所保育指針に基づき、援助・支援を適切に行っているか。						
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。						
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。						
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。						
日・時・程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム）は現行でよいか。						
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。					・子どもの主体性を尊重した中で、保育からの継続性を重視して行事を行った。 ・行事ごとに保護者アンケートを実施。反省を活かしながら実施した。 ・保護者参加の行事は土曜日に開催し、多くの方が参加できた。	
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。						
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。						
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。						
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。						
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。				・職員の職務分掌を明確にしつつ、サポートを行いながら分担し業務を遂行した。 ・各会議での議題を明確にし開催し、参加出来ない先生には情報共有を行った。	
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。					
		(3) 職員の配置は適材・適所か。					
		(4) 係や仕事の分担は適切か。					
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。					
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。					
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。					
	クラス経営	(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。					
		(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。					
		(3) チーム保育を適切に行っているか。					
	健全・安全指標	(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。					
		(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。					
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。					
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。					
		(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報に適切に取り扱っているか。					
研修会・講習会について	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。					・キャリアアップ研修、法人内研修などに積極的に参加してもらった。	
	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。						
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。						
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。					・会議で危険箇所等の情報を共有し、物理的に対処できる部分は直ちに修繕又は改修した。 ・連絡アプリによって不審者等の情報を随時発信。	
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。						
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。						
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。						
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。						
開かれた保育所づくり	施設間交流・連地	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。				・他法人との園児交流を引き続き実施。 ・法人内での保育士の合同研修などを通して、法人が目指す保育への理解度を深めた。 ・未就園児の保育所体験を実施した。 ・第3小学校と交流会に参加した。 ・地域の企業・お店などへ訪問したり交流をもつ機会を作り、それらから活動や行事へ展開した。	
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わう音ができるような配慮や援助・支援を行っているか。					
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。					
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。					
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。					
	地域との子育て支援	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。					
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。					
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。					
	情報の発信	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。					
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。					
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。					
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。					
	評価	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。					
		(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。					
第三者評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。					・第三者評価についてはR4年度12月に実施。次回、R7年度実施予定。	
	(2) 第三者委員制度を活用しているか。						

令和7年度 かがやきの森こども園 自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

令和8年4月公表

項目	内 容	評価 (該当する区分に○印)				備考	
		A	B	C	D		
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			・年度当初の会議で目標を周知し、職員会議や総務・保育委員会、フロア会議を定期的に開催することにより徹底した。また、共通理解ノートを作り、全職員が把握できるようにした。	
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	○					
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。	○					
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				子どもの姿や成長を捉え、日々の保育の中に取り入れることができた。定期的に環境を替え、子どもの姿をより深く見ようとした。保育の改善にも繋がった。	
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。		○				
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。	○					
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○				
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○				
日・時・程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム)は現行でよいか。	○				・遊樂で共有し、子どもに合わせて流れを確認している。	
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				・計画的に準備を進め園全体として取り組むことができた。担当を決め、進めていくが、再度、保育委員会を中心に進め具合など確認するようにした。行事後は、保護者アンケートを配布し、意見を求め改善できるところは積極的に行った。	
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○					
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。		○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○					
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	○					
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○			・事務分掌で業務を明確にすることで効率的に業務ができた。 ・行事等の準備も協力しながらでき、協働できる体制が整っていた。また、保育については、異年齢での活動を主体としながら、適宜同年齢での活動を取り入れることで、子ども同士の関係性向上や発達課題への意識を促すことができた。日頃からフロアの行き来も盛んにしていて、子どもが自分の思いで遊ぶ場所を選択できている。ただ、反省点として子どもが考えを待たずに先に声をかけるなどの「子どもに考えてもらう」を積極的にする必要があったと感じた。 ・虐待防止観点からも、チーム保育は双方の動きがわかりやすく職員の間も見えた。	
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○				
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○			
		(4) 係や仕事の分担は適切か。		○			
	全体運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
	クラス運営	(1) 0-1歳と2-5歳のフロア運営は、保育目標に基づき行われているか。		○			
		(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
		(3) チーム保育を適切に行っているか。	○				
	健全・安全指	(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。		○			・安全計画を立て直し、毎月の避難・消火訓練を行っている。 ・交通安全指導は、今年度は先方の都合でできなかったが、散歩に行った時などに子どもに交通ルールを伝えていた。 ・虐待を疑われる場合の対応方法や連絡先を共有している。 ・個人情報については、家庭ごと同意書をお願い適切に取り扱っている。
		(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。	○				
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。		○			
(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。			○				
情報	(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。		○				
研修会・講習会について	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			法人内の保育研修、他法人との合同研修、オンラインのマネジメント研修、キャリアアップ研修等に積極的に参加させ、研修報告を会議で周知するなど保育の振り返りになるよう務めた。園内研修は自分たちの保育を見直すきっかけになり効果的だった。		
	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。	○					
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○					
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○		・安全委員会を中心に毎月安全点検をおこなっている。修繕箇所があると迅速に対応した。また、遊具点検も業者が点検してもらい不具合があれば修繕をしてもらっている。 ・不審者訓練を年2回行い対応に努めている。		
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。		○				
	(3) 不審者等に対応する周知な配慮を行っているか。		○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○				
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○			本部の確認や外部監査を受け適切に処理できている。		
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		・法人内研修を盛んに行うことで職員間の交流を持つことができ、課題等についての意見交換もできた。園児交流は、おだやかな森の5歳児の園児と行い一緒にダイキャンプを行った。園同士の行き来も定期的に行うことができた。 ・小学校との交流については、近隣の小学校を訪問し校内見学をさせてもらった。 ・園児学対応については定期公開日をもうけて受け入れを行った。	
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め、援助についての共通理解を図っているか。	○				
		(4) 会議や参観に参加するなどして、小学校と情報交換・交流し、小学校接続の取り組みを行っているか。		○			
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。		○			
	地域との連携	(1) 保護者以外も対象にした園児学等を設定しているか。	○				・定期公開日をもうけ園児学の対応をおこなっている。 ・地域交流に関しては、できていない。課題である。今年度は、夏まつりの案内を地域の方に配布はしたが、地域の参加者はいなかった。 ・年1回の季刊誌は毎年発行している。 ・育児講演会を年2回実施した。アンケートにて保護者から好評を頂いた。 ・保護者面談を年2回実施した。 ・姉妹園である、児童発達支援事業所と連携を図りながら、専門機関へ駆けつけやすさ情報共有できている。 ・「園だより等」の各種便りを発行。 ・地域には季刊誌を発行。
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○		
		(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。			○		
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○			
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
		発信部評価	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。		○		
(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。				○			
外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	○			・第三者委員制度を活用しているが、大きな苦情はなし。		
	(2) 第三者委員制度を活用しているか。	○					

令和7年度しきの森保育園自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

令和8年4月公表

項目	内 容	評価				備考
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	○				保護者アンケートや第三者評価の保護者意見を参考にした。 職員会議、リーダー会議、フロア会議や各種文書回収等様々な方法で職員間の共通理解を図った。
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。	○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				保育所保育指針に沿って立案した全体的な計画、月案を基に、よりフロアの実態に即して適案を立案、それを実践し、日々振り返りを行いながら子ども達の姿に合わせて環境構成、教員教材を提供した。
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。	○				
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	○				
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日・時・程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム)は現行でよいか。	○				
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				行事後にアンケートを実施しており、前年度の反省や保護者意見を踏まえて行事を計画している。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	○				
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		行事等ごとに担当を割り振り、委員会活動により役割分担し、状況に応じて相互に協力したりする等、職員間で協力しながら日々の保育や各種業務を実施した。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か。	○			
		(4) 係や仕事の分担は適切か。		○		
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○		職員会議やフロア会議、リーダー会議を実施し、適宜園児情報等の共有や保育の振り返りをした。また、認識の共有と効率的な行事計画立案のため、行事ごとに担当者と管理職で打合せを実施した。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○		
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○		
	クラス経営	(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。		○		職員間で話し合い、異年齢保育を中心としつつ、年齢や発達に合わせた保育や活動を取り入れた。また、早い時期から乳児が幼児フロアで過ごす機会を作為し乳児職員も適宜幼児フロアに移動することで、フロアの垣根を超えた連携や活動の充実につながった。
		(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。	○			
	健全・安全指	(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。	○			感染症発生時に職員間だけでなく保護者とも情報共有を図るとともに、家庭での感染対策の協力も呼びかけ協力を得ながら感染症等の予防及び拡大防止のための取り組みを実施した。
		(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。		○		
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。	○			
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。		○		
	情報	(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報適正に取り扱っているか。	○			
研修会・講習会について	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			キャリアアップ研修も含め法人内の研修や調布市園長会計画の各種研修に所属職員が満遍なく参加できるよう計画し、参加した。	
	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。		○			
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○				
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○			定期的に安全点検、不審者対応訓練等を実施した。	
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。		○			
	(3) 不審者等に対応する周知な配慮を行っているか。		○			
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		法人内の各種研修や法人内主任会を活用し、保育に関わる意見交換を行なった。小学校主催の交流会に参加した。他法人の他施設との交流も計画してきたい。
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○		
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。		○		
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。		○		
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。		○		
	地域との子	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○		日常的に園児と近隣の商店に買い物に行き、地域社会と交流した。
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。		○		
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○		
	育て支援	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。		○		園庭開放や、地域の方も参加可能な夏まつりの実施など、子育て世帯との交流機会も作為した。今後は、育児講座への参加も可能とするなど、地域の子育てセンターとしての機能を拡大したい。
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○		
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○		
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○		
	情報の発信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。	○			在園の家庭には情報を発信していたが、外部への発信は積極的には行っていないかった。他園での取り組みを参考にしつつ可能な範囲で取り組んでいく。
		(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			○	
信部評	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	○			今年度実施し、全般的には良好な結果であった。頂戴した意見等を今後の運営に活かしていく。	
	(2) 第三者委員制度を活用しているか。		○			

令和8年度きらめきの森保育園自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

令和8年4月公表

項目	内 容	評価				備考
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			職員会議やリーダー会議、フロア会議を定期的に行い、共通認識を図った。
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。		○			
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			日々の子どもの興味関心や成長に応じて環境を整え、適切な援助を実施した。教員教材の見直しも、昼食等で検討し毎週土曜日に入れ替えるなどした。
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日・時・程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム）は現行でよいか。	○				午後の活動も充実できるよう、代替園庭・散歩・制作に力を入れた。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				行事後はアンケートを実施し、次への行事の改善に活かした。保護者会前に他の保護者に向けてみたい質問・意見を募り、懇談会で話すなどして保護者同士が交流できる機会を作っていた。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。	○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		フロア会議を週1回行い、非常勤職員も参加することにより、職員一人一人が発言できる機会を設けた。乳児・幼児フロアの連携が図られ、異年齢の関わりがスムーズにできた。避難訓練は、反省を活かしながら毎月行うことができた。引き取り訓練も年一回実施。防犯訓練は、2回実施。交通安全指導においては日々の散歩などで交通ルールを伝えていった。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か。	○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効果的に進めているか。		○		
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しまずことなく施設の運営に関わっているか。		○		
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○		
	クラス経営	(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。	○			
		(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。	○			
		(3) チーム保育を適切に行っているか。	○			
	健康・安全指	(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。		○		
(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。			○			
(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。			○			
(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。			○			
情報	(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報を通正に取り扱っているか。	○				
研修会・講習会について	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			法人内の研修には、積極的に参加し、個々の研鑽につなげた。キャリアアップ研修については、計画的に進めることができた。他法人の研修に参加することで、保育の根本的な部分を考え直したり、再確認したりすることによって危険個所等の情報を共有し、物理的に対処できる部分は直ちに修繕又は改修した。	
	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。	○				
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○				
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。	○				
	(3) 不審者等に対応する周知な配慮を行っているか。		○			
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納・経理	(1) 各種会計を通正かつ適切に処理しているか。		○		年に2回、本部の会計往査を受け、適切な処理に務めた。	
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		近隣小学校を訪問し、校内探検や小学生と交流することで、教員に向けたイメージ定着や期待を高めることができた。4、5歳児においては、近隣で行っているさつまいも掘り体験することができた。第5中学校の職場体験の受け入れを行い、保育の仕事に興味関心を持ってもらうことにつながった。未就園児の園児学は、可能な限り受け入れ、法人の保育方針（異年齢での保育、子ども自ら遊びを選択する、お散歩の頻度・考え方等）を見学の時点で丁寧に説明する。また、保育所体験をしてもらうことで実際の保育の様子をより具体的にイメージしてもらった。フロアだけでなく、日ごろの子どもの遊びの様子や育ちを伝えた。5～2月の間は、保育参加を行い、保育に参加してもらうことで、保育の理解に繋がった。
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○		
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。		○		
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。		○		
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。		○		
	域との連携	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○		
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。		○		
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○		
	育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。			○	
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。			○	
(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。			○			
(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。			○			
情報の発信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。	○				
	(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			○		
評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	○			年間を通じ、大きな苦情等なし。	
	(2) 第三者委員制度を活用しているか。			○		

令和7年度 こころの森こども園 自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

令和8年4月公表

項目	内 容	評価 (該当する区分に○印)				備考
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	○				年度当初に園の目標を周知し、職員会議やリーダー会議、フロア会議を定期的に開催することにより徹底した。
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。			○		
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				保育所保育指針に沿って立案した全体的な計画、月案を基に、フロアの現状に沿った週案を計画した。また、「共通理解」ファイルを活用し日々の動きを共有するとともに、環境の構成や教員教員の提供を定期的に行った。
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。			○		
日・時・程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム)は現行でよいか。	○				
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。			○		概ね予定どおり行うことができた。分園と本園で同時開催できる行事は同時に行い、子どもたちの交流を図った。 行事については、各園、各フロアでの取り組みではなく、園全体として取り組み、園児が積極的に作り成長できるような活動した。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。	○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。			○		
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	○				
経営・組織	分 学 ・ 体 制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		保育教諭の人材確保が厳しく、主任が保育に入らざるを得ない状況が頻りしたが、本園・分園の職員配置などを柔軟に変更したり、事務分担の見直し等により協働した保育を実施できるよう努力した。 また、保育については、異年齢での活動を主体としながら、就学に向け適宜年齢での活動を取り入れることで、子ども同士の関係性向上にルールある遊びをすることで発達課題への意識を促すことができた。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○		
		(4) 係や仕事の分担は適切か。		○		
		(5) 各種会議を適切かつ効果的に進めているか。		○		
	全 体 運 営	(1) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜むことなく施設の運営に関わっているか。		○		
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜むことなく施設の運営に関わっているか。		○		
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○		
		(1) 0-1歳と2-5歳のフロア運営は、保育目標に基づき行われているか。		○		
		(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。	○			
	グ ラ ス 運 営	(3) チーム保育を適切に行っているか。	○			
		(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。	○			
		(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。		○		
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。	○			
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。		○		
健 ・ 安 全 指 報	(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報を選正に取り扱っているか。	○				
	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			Webを活用したオンライン研修など積極的に受講し、職場で還元することができた。	
	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。	○				
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○			
	研修会・講習会について	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○			安全委員を中心に毎月安全点検を行っている。
(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。		○				
(3) 不審者等に対応する周知など配慮を行っているか。			○			
(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。			○			
施設・設備	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				
	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		他施設との交流はあまり出来なかったが、地域のボランティア主催のチューリップ植えに参加した。 保護者会を開催し、保護者同士の交流の場を設けた。 外部研修や互見研修に積極的に参加し、保育についての理解を深めた。 年長児については就学に向け明治小学校の学校体験に参加した。	
	(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
	(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め、援助についての共通理解を図っているか。	○				
(4) 会議や参観に参加するなどして、小学校と情報交換・交流し、小学校接続の取り組みを行っているか。		○				
(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。		○				
開 か れ た 保 育 所 づ く り	施 設 間 交 流 ・ 連 携	(1) 保護者以外も対象にした園見学等を設定しているか。	○			
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。			○	
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○		
		(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。			○	
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	○			
	地 域 の 連 携	(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○		
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○		
		(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報発信しているか。	○			
		(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○		
		(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	○			令和4年度に第三者評価を受審した。 3月第三者委員会を開催し、園の現状や保護者アンケート状況を報告した。
(2) 第三者委員制度を活用しているか。		○				

令和7年度あそびの森保育園自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

令和8年4月公表

項目	評価				備考	
	A	B	C	D		
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	○			・職員会議、リーダー会議、フロア会議、パート会議及び文書供覧により共通理解を図った。 ・目標に対する振り返りを定期的に行なった。	
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。	○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○			・日々の子ども達の様子を確認しつつ、適切な援助を行った。 ・年に複数回、家具の配置替えを行なった。子どもの成長と興味・関心を考慮して教員・教材を適宜購入し提供した。	
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日・時・程	(1) 1日の流れ(デイリプログラム)は現行でよいか。		○		子どもとしっかり関わることができているが、必要に応じて見直しを行う。	
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○			・子どもの姿に合わせて、前年度から行事の変更を図った。 ・担当となる職員が行事のねらいを他職員へしっかりと共有することで、職員全体で一つの行事に関心を持って取り組むことができた。	
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。	○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	○				
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○			・主任、リーダー、保育士等の職務内容は明確である。 ・今年度より委員会活動を実施。各委員会が協議を助めながら、保育園の運営において、職員全員が情報を共有するとともに責任を明確にした。 ・各会議において、情報共有のみの時間にならないよう、事前に会議内容を共有したり、議題によって会議の時間を変更することで密度の高い会議になった。 ・毎月の職員会議後、看護師による保健・衛生に関する研修会を行い、徹底を図っている。 ・防犯訓練は地元警察、避難訓練・消火訓練・救命救急訓練(AED含む)は地元消防署の協力を得て行った。 ・元消防署員の第三者委員の協力を得て、避難訓練・講習を行った。 ・一部保護者の要望により、動画配信は行っていないなど、個人情報配慮している。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○		
		(3) 職員の配置は適材・適所か。	○			
		(4) 係や仕事の分担は適切か。		○		
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○		
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○		
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。	○			
	クラス経営	(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。	○			
		(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。		○		
		(3) チーム保育を適切に行っているか。	○			
	健康・安全指標	(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。	○			
		(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。	○			
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。		○		
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。	○			
		(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報適正に取り扱っているか。	○			
研修会・講習会について	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			・蓄める研修会、主任主催研修、キャリアアップ研修、法人内の研修は、計画的に職員を派遣した。 ・研修参加者は、直近の職員会議で研修報告を行っている。また、報告書を作成し、研修内容は全職員で内容を共有している。	
	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。	○				
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○				
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○			・怪我が発生しそうな箇所は事前に予防処置を講じ、機会がある度に修繕を行っている。 ・施設・設備・園庭の安全チェックリストを作成し、毎日、確認勤務の保育士が点検し、改修箇所等がある場合は、速やかに改善を行っている。 ・保育の様子を提示するために、掲示板を追加した。保護者の目に留まり、親子での会話も増えている。	
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。		○			
	(3) 不審者等に対応する周知配慮を行っているか。	○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		・小学校の学校訪問、校庭散歩に参加した。 ・もりりんぶっくは、隣接した小学校の体育館を活用した。 ・保育参加は、園庭を開放し、保護者同士の交流を図った。 ・夏祭りに地元の第三者委員を招待し、園児と交流を図った。また、見学に来た家庭も招待し、園への関心へと繋がる機会を作った。 ・高齢者施設との関わりを持つ行事(ハロウィンパーティー)を計画し、実施した。 ・姉妹園への見学研修を行い、交流を図った。 ・保護者面談を定期・随時行い、子育てに関する悩み等に丁寧に対応した。 ・配慮が必要な家庭は、子ども家庭支援センターと連携して支援を行った。 ・嘱託医から感染症や予防接種の情報を得たときは、保護者に情報提供している。
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○		
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。		○		
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。		○		
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動を生かしているか。		○		
	域との連携	(1) 保護者以外にも対象にした参観日等を設定しているか。		○		
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。		○		
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○		
		(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。			○	
	育て支援の推進	(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	○			
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○		
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○		
		(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。	○			
	情報発信	(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○		
		(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	○			
(2) 第三者委員制度を活用しているか。	○					

令和7年度いずみの森保育園自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

令和8年4月公表

項目	内 容	評価				備考
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	○				○保育目標につき職員会議、リーダー会議、フロア会議や各種文書回覧等にて職員間の共通理解を図り、目標に向かって各人良く取り組んだ
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。	○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				○指導計画に関して、各フロアごとに書き込みを行い、主任が確認・加筆修正を行い、適切に運営している。 ○季節ごとの取組や園児の実態に即した行事計画を立案し、子どもの力をつけられるよう取組んだ。 ○教具・教材に関しては、子どもの成長過程や興味関心に合わせ入替える等対応できた。
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。	○				
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	○				
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日・時・程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム)は現行でよいか。		○			○現行のままでよい。子どもの興味関心に合わせ探究活動が行えるプログラムとなっている。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				○季節に関する行事を積極的にを行い、また、保護者参画の行事も相応実施した。 ○行事終了後の反省アンケートの実施や、保護者向けアンケートに実施により意見収集、次回の行事へ反映できるように心掛けた。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○			○フロア中心のチーム保育を行うことで効率的・合理的な組織運営を実践。また、職員は適材適所で配置し自立連帯の標榜のもと適切に役割をこなす態勢としている。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○		
		(4) 係や仕事の分担は適切か。	○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○			○毎月「職員会議、フロア会議、リーダー会議」を実施し、情報交換など積極的に実施するとともに、委員会を設置し各人役割の明確化と協働体制の活性化を図っている。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体の立場を理解し、協力や助言を借しむことなく施設の運営に関わっているか。		○		
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。	○			
	クラス確保	(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。	○			○園全体、各フロアにて保育目標をたて実践している。 ○園庭での異年齢交流など、効果的に活動できている。
		(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。	○			
		(3) チーム保育を適切に行っているか。	○			
		(4) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか	○			
	健康・安全指	(1) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。	○			○毎月ほんだよりを発行し、保護者へ感染症等の現状や感染症対策等を周知している。 ○避難訓練は毎月実施し、防犯訓練等は定期的に実施。 ○子ども家庭センター(ひだまり)や民生委員会など、適宜情報交換を行っている。
		(2) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。	○			
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。	○			
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。		○		
情報	(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報適正に取り扱っているか。	○			○個人情報については、家庭ごとの同意書に基づき適切に取り扱っている	
研修会・講習会について	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			○外部施設の見学学習会や、法人内研修、OJT研修、キャリアアップ研修への積極的参加を図った。 ○研修内容を全職員で回覧し、保育に取り込めるように職員間で共有した。	
	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。		○			
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○				
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○		○業者委託による園庭遊具、消防設備点検、エレベーター点検を定期的実施。 ○園庭大型遊具下や危険個所にゴムチップマットを施工。 園内の不具合箇所などは、随時修繕を実施している。 ○掲示板へは、毎日の子どもの様子や活動、広報等を掲示し、保護者への情報発信に活用している。	
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。	○				
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○			○適切に処理している	
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。			○	○老健施設等との交流はできなかったが、地域の中学校授業の一貫として生徒とのおそびにかかる交流を4回実施した。 ○法人内研修で他施設の主任が本園に赴き、お手本として保育をする様子を研修した。 ○市内私立保育園の会で小学校見学を行い、代表者が見学に参加した。
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わう音ができるような配慮や援助・支援を行っているか。			○	
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。	○			
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。	○			
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。		○		
	域との子	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○		○地域の農園にて農業体験を実施するも、ねずみ被害で収穫までには至らず。 ○地域の複数の小売店への見学を行い興味関心事を質問する機会を設けた。 ○市内私立保育園の会で小学校見学を行い、代表者が見学に参加した。
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。	○			
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○		
		(4) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。		○		
	育て支援の	(1) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○		○保護者会開催時に、保護者向けに小学校入学に向けての講演を実施。 ○家庭の状況や個々の悩みを保護者間で話し合う場を設置。 ○職員との個人面談を実施し、保護者の意向や相談を受ける機会を設置するとともに日々保護者との情報交換を行った。 ○園開放はできていない。 ○園医さんとの相談や園情報の適時発信を行った。 ○園だより、クラスだより、保健だよりの月1回の発信のほかに、連絡アプリを活用し適切に情報発信を行った。玄関の掲示物にも子どもの活動の様子を掲示し発信した。 ○幼保小連絡会に参加。小学校見学への職員の参加を実施。
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○		
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	○			
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○			
	情報の発信部	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。	○			○園だより、クラスだより、保健だよりの月1回の発信のほかに、連絡アプリを活用し適切に情報発信を行った。玄関の掲示物にも子どもの活動の様子を掲示し発信した。 ○幼保小連絡会に参加。小学校見学への職員の参加を実施。
		(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○		
(3) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○				
評	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	○			○第三者評価については作年度実施した。 ○第三者委員との情報交換を適宜行っている。	
	(2) 第三者委員制度を活用しているか。	○				

令和7年度しあわせの森保育園自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

令和8年4月公表

項目	内 容	評価				備考	
		A	B	C	D		
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			職員会議やリーダー、フロア会議を活用し周知徹底を行う。毎月の職員会議で、チームでお互いの意見をディスカッションする場を設ける。法人内の他園の保育や行事を見学し子どもたち主体の保育の取組を参考にする。	
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	○					
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。		○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			日々の子ども達の様子を確認しつつ、適切な援助を実施した。 子どもが興味を持っている教具・教材を購入し提供した。 新たに園庭で米を育てる活動に取り組んだ。	
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。	○					
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。	○					
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○				
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○				
日・時・程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム）は現行でよいか。		○				
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			乳児が2でも食育活動を取り入れ、調理する前の野菜に触れたり、野菜の素材の味を味わえる取組を行った。食育活動の様子は園内掲示やブログで保護者にご覧いただいた。日頃の保育動画をブログで配信、行事後は、アンケートを実施し次回改善点の参考にする。	
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○				
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。		○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○				
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		委員会を発足し、保健・安全・広報等の分野で活動を行い、上半期・下半期毎に委員会活動を振り返る。 お互いのフロアの子どもの成長を知るためにフロアを入れ替わり保育をした際、子どもの様子で改めて気づいたこと等をノートに記載しコミュニケーションを図る。消防署認定の「優良防火対象施設」を更新。（次回R10年度） 5歳児は、昨年度導入した「ピースフルスクールプログラム」を1年間実施。（4歳児は、11月から実施）子ども達自身がまず自分の気持ちを知り言葉で伝える事ができるようにする。自分の気持ちを相手に伝えられる安心感を感じ相手の気持ちを受け入れながら主体性を育て、保護者や園児学の際も、興味を引く取組であった。	
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○			
		(4) 係や仕事の分担は適切か。		○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しまずこたなく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
	クラス	(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。		○			
		(2) 異年齢及び同年齢の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
	健康・安全	(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。		○			
		(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。		○			
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。		○			
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。		○			
	情報	(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				
研修会・講習会について	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○		キャリアアップ研修は、オンライン研修を活用し計画的に受講した。 研修の案内を園内に掲示し受講希望者を募る。		
	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。		○				
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○				
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○		施設の安全点検は、業者に年一度、保育者間で毎月行っている。 R7年度は、不審者対応の事例は無し。		
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。		○				
	(3) 不審者等に対応する周知な配慮を行っているか。		○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○					
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。		○		適正な会計に努める。		
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		近隣の同法人園の年長児と、表現活動の見学を目的とした交流会を行う。 他法人の園と合同で、小学校訪問を行う事ができた。 未就園児の園見学は、可能な限り受け入れ、法人の保育方針（異年齢での保育、子ども自ら遊びを選択する。お散歩の頻度・考え方）を見学の時点で丁寧に説明する。 育児に係る相談は内容によって、保育士・看護師・栄養士が必要に応じて随時個人面談を行い、保護者の育児不安に対応した。 地域で開催された「灯りまつり」に提灯を作成して会場を飾る。 小平市が主催する要保護児童対策地域協議会に参加し地域の子ども達の情報を共有し連携を図る。	
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対しての理解を深め援助についての共通理解を図っているか。	○				
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。		○			
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。		○			
	域との連携	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○			
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			
		(4) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。			○		
	子育て支援の推進	(1) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。			○		
		(2) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(3) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
		(4) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。	○				
	情報発信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。	○				
		(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			
外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○		第三者評価受審の年で、保護者のご意見や振り返りで頂いたアドバイスを保育に生かしている。 第三者委員に、園の一年間の活動報告を行った。		
	(2) 第三者委員制度を活用しているか。		○				

令和7年度ひかりの森こども園自己評価表

- A たいへんよい
- B よい
- C 一部検討を要する
- D 改善を要する

令和8年4月公表

項目	内容	評価				備考
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			前年度の反省を活かしつつ、職員会議やフロア会議を活用し周知徹底に務め共通理解を図った。行動目標と数値目標を絡め合わせ、取り組みやすさや振り返りやすさを工夫した。機会を得て、リ「ラディゲ」や「マルド」の周知を図った。
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	○				
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。	○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			特別支援保育など、子どもの発達に関する研修内容を職員で共有し、子どもに対する観察眼や実態把握力を磨いている。 日々、整理整頓、掃除に心がけ園児が過ごしやすい環境づくりを心がけた。 教材教具は発達にあったもの、危険度も考慮しながら考えて提供している。 「みどめる」「えらべる」「よりそう」保育に取り組んだ。
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	○				
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日・時・程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム)は現行でよいか。		○			
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			日頃の保育を大切に、その中でできることを考えながら行事に取り組んだ。ねらいや計画が活かされる行事になるよう努力した。 行事ごとに保護者にも参加してもらった。 職員がPDCAの意義を理解できるように、機会をとらえて理解促進を図ってきた。 年長中心に子ども一人ひとりが自分の好きなものや得意なものに取り組む活動が増えた。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。	○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○			フロア会議や委員会活動を積極的に進めチームとして動くことで働きやすい環境づくり、仕事の分担、役割を明確にし業務の効率化に務めてきた。 事前に資料を配付し、質問事項等は前もってできる体制にした。 園児数と職員配置基準のバランスを考えながら、能力発揮や負担軽減に取り組んできた。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○		
		(4) 係や仕事の分担は適切か。		○		
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○		異年齢の関係性を大切にしながらも、同学年との活動も積極的に取り入れた。同学年での個別の発達をみることで、個別対応ができた。 避難訓練、防犯訓練とは別にSIDS訓練、アナフィラキシー訓練、けいれんの訓練、持病(1型糖尿病など)を持った子どもへの対応訓練なども行った。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○		
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○		
	クラス経営	(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。		○		
		(2) 異年齢及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。		○		
		(3) チーム保育を適切に行っているか。	○			
	保健・安全	(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。		○		
		(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。		○		
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。	○			
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。		○		
情報	(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				
研修会・講習会について	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			キャリアアップ研修、安全・安心に関する研修、特別支援保育に関する研修など、職員のニーズに合わせた研修に参加できるよう人員配置などを工夫した。職員会議で共通理解したり短時間研修を行った。	
	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。	○				
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○				
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○			毎月、安全委員を中心に園内外の点検を行っている。 配付物ラックなどを活用し、子どもや子育てに活用できそうな資料を保護者がいつでも手に取れるようにしている。	
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。	○				
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○			
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○			期限や処理内容を守って実行している。	
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		地域の未就園児に対して親子ルームや園庭開放を行った。親子ルームに参加する未就園児もおり、職員も「地域の子育てセンター」として、相談機能などの重要性の自覚が深まっている。R7年度も、「福岡市型『こども園も通園制度』」を継続申請し、未就園児家庭への支援拡充にも取り組み、ほぼ年間を通して利用者がいた。 法人内の他施設と互見研修を行い、保育に対する理解を深めていった。他法人の研修(赤い鳥保育)にも、職員を計画的に参加させることができた。
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わう音ができるような配慮や援助・支援を行っているか。			○	
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。		○		
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。			○	
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。		○		
	域との子育て支援	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○		卒園児が、就学前に、学区の小学校へ学校見学に行き、学校生活への安心感・期待感を育むことができた。また、5歳児と4歳児が、学区の中学校(中3と)と交流し、歳が大きく離れた人々にも親しみを持って一緒に活動することができた。
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。			○	
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○	
	情報の発信	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。		○		
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○		
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○		
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○			
	部評	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。		○		お便りや通信、アプリ、動画、HPなどで情報発信するとともに、最新の情報となるように注意を払った。親子ルームや園庭開放のポスターを作成し、近隣の商業施設や公民館に掲示を依頼した。自治会関係者が集まる会に参加するなど、情報発信、情報共有、情報収集などを行った。
		(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			○	
評	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○		第三者評価は、R4年度に受審した。今回は、R9年度である。福祉サービス委員会(毎年開催)からのアドバイスなども参考にしている。	
	(2) 第三者委員制度を活用しているか。		○			

令和7年度あしたの森保育園自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

令和8年4月公表

項目	内 容	評価				備考	
		A	B	C	D		
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			会議等を通して共通理解に努めた。	
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○				
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。		○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			フロア会議を通して保育の振り返りを行い、新たに明らかになった課題については、園長・副園長を交えて改善策を検討し、日々の保育へと反映した。また、保育環境の整備に関する事項については、現場の声を積極的に把握し、その都度状況に応じた環境の充実を図った。	
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。		○				
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。		○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	○					
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	○					
日・時・程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム）は現行でよいか。		○				
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				夏祭り、運動会、発表会等適宜開催できた。行事ごとのアンケートを実施し改善の材料とした。	
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○					
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。		○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○					
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○				
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		園全体で定期的な会議を行い、保育に関する連携やルール、園児理解の共有を図るとともに見えてきた課題については改善策を検討し、日々の保育に活かした。 他、保育室の環境面の工夫も進め、現場の声を取り入れながら保育環境の充実に努めた。さらに、エントランスでの動画上映による保育の見える化を通して利用者との信頼関係づくりに務めた。ヒヤリハット等をテーマとしたケース会議を行い、多様な意見を共有しながら安全対策の充実にも取り組んだ。	
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○			
		(4) 係や仕事の分担は適切か。		○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しまずとなく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。	○				
		クラス経営	(1) 0・1歳と2・5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。	○			
			(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。	○			
	(3) チーム保育を適切に行っているか。			○			
	健康・安全指標	(1) 0・1歳と2・5歳の保健対策は適切に行われているか。	○				
		(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。	○				
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。		○			
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。		○			
		(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報を通正に取り扱っているか。		○			
研修会・講習会について	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○		適宜、研修参加。保育以外のチームワーク向上につながる研修も取り入れた。		
	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。		○				
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○				
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○		安全チェック表に基づいた定期点検を実施。		
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。		○				
	(3) 不審者等に対応する周知な配慮を行っているか。		○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○				
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○			本部にて点検済み。		
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		法人の「育める保育」研修に参加する事を心掛けた。園児等は随時受入れ、地域の入園検討の方が訪問しやすい工夫をした。	
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。	○				
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。		○			
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。		○			
	域との連携	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○			
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。	○				
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○		
	育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。			○		
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○			
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
	情報の発信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。		○			
		(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			
	評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	○				令和7年度第三者評価受診済み。
(2) 第三者委員制度を活用しているか。		○					

令和7年度すこやかな森保育園自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

令和8年4月公表

項目	内 容	評価				備考	
		A	B	C	D		
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			目標について事務所に提出 職員会議毎に確認を行い共通理解を図っている	
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○				
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。		○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			フロア会議、月例の職員会議で子どもたちの姿を全職員で共有、日々の会話・保育の中で見直しを行った。	
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。		○				
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。		○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○				
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○				
日・時・程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム）は現行でよいか。	○					
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			開園6年目を迎え、前年度までの経験と在園児の成長の様子を考慮し設定した。	
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○				
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。		○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○					
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○				
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		会議については保育に関する内容について職員の共通理解を深めるためディスカッションの機会を設けた。また、現場の職員が意見をしやすい環境創りに努め、それぞれが当事者意識をもって業務を行えることを目指した。保育では異年齢の関わりの中で様々な経験が得ることができるように環境を設定した。	
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○			
		(4) 係や仕事の分担は適切か。		○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			安全確保の観点から園設備の点検を実施。保健・衛生面においての指導は看護師を中心に内容を決めて実施した。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しまずとなく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
	クラス経営	(1) 0・1歳と2・5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。	○				防犯訓練については年間を通して計画的に実施。園外の地域指定避難場所への訓練も実施。
		(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
		(3) チーム保育を適切に行っているか。		○			
	健・安全指標	(1) 0・1歳と2・5歳の保健対策は適切に行われているか。	○				
		(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。	○				
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。		○			
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。		○			
		(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報を通正に取り扱っているか。	○				
研修会・講習会について	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○		研修参加職員の研修参加報告を職員全体で共有した		
	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。		○				
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○					
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○		安全チェック表に基づき定期点検実施。		
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。		○				
	(3) 不審者等に対応する周知な配慮を行っているか。		○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○				
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○			福祉医療機構点検済み。		
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。	○			年長児を対象とした小学校訪問を実施した。 同法人、うれしい森保育園・やさしい森と交流会。しあわせの森とえがおの森とオペレッタ相互練習披露を実施。	
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	○				
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。		○			
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。		○			
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。		○			
	域との連携	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○	年長児の体験として小金井市のびげ屋さんと連携のもとびげ製作体験を実施。	
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○		
	育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。			○	児童発達支援施設（なごやかな森一棟）と連携し、発達支援内容を共有した	
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○			
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。			○		
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
	発信部	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。		○		園からのお知らせ・お便りにはメール配信と紙媒体での備え付けを行い保護者周知できるようにした。	
		(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			
	評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○		令和7年度第三者評価受診済み。	
(2) 第三者委員制度を活用しているか。			○				

令和7年度あかつきの森こども園自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

令和8年4月公表

項目	内 容	評価				備考	
		A	B	C	D		
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			・各種視察・職員会議・フロア会議を活用して共通理解を図る時間を多くとり、現状未来を見据えて大切に考えていくべきことの周知をしている。また、全員が意見を表現できる風通しの良い関係性づくりを心がけている。	
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	○					
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。	○					
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				・教員・教材は園児の成長と発達、現在の姿に合わせて考え、園児の興味の変化に敏感に対応した購入ができた。また、オーソドックスなものから廃材などを利用したダイナミックな遊びまで、形にとらわれすぎ柔軟に展開することができていた。	
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。		○				
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。	○					
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○				
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	○					
日・時・程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム）は現行でよいか。	○				・日々職員が話し合い流れを共有し、臨機応変な対応もしている。	
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				・無理なく計画や実施ができており、導入から様々な趣向を凝らせて本当に思い出に残る楽しいものになっている。一方で、フェスタやもりんびつぐに於いては、本当に子どもたちが主体的に楽しく取り組めるものになっているかの検証の必要はある。	
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○				
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。		○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○					
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○				
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○			職務分担および連携については主幹が全体を把握して配分している。主担当を中心に意欲的に取り組んでいるが、よりコミュニケーションを密にしていけることが必要である。	
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か。	○				
		(4) 係や仕事の分担は適切か。		○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効果的に進めているか。	○				
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。	○				
	クラス経営	(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。	○				異年齢での過ごしを主体としつつ、同年齢での活動も適宜取り入れ、柔軟かつ適切に「子どもたちの主体性を育む」保育が実践できている。また、子どもたちのご家庭での様子などの情報を「あかしこどもセンター」より過剰にいたではない。
		(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
		(3) チーム保育を適切に行っているか。		○			
		(4) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
		(5) チーム保育を適切に行っているか。		○			
健康・安全指	(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。	○					
	(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。		○				
	(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。		○				
	(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。	○					
	(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○					
情報	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			外部研修の参加がまだまだ少ないが、法人内での各研修の機会を計画的に設けている。また年間1回程度、外部講師による講演を実施する。		
	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。		○				
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○				
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○			軽微な事象も含めて園内で情報共有し、保育室内の環境構成や、園庭の各遊具の点検を実施している。また、園庭大型遊具に関しては1年1回のメーカーによる点検作業を実施している。		
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。	○					
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○					
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。		○				
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		市内他法人園との交流はなかなか出来ていないので、近隣の園との関係づくりに努める。日常の散歩などを利用して、提携している畑での野菜摘りは勿論のこと、近隣のスーパーマーケットや郵便局などを訪れるなどの機会を模索していく。	
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。			○		
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。	○				
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。		○			
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。			○		
	域との連携	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○		
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○		
	育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。	○				インスタグラムを開設し、定期的に園の様子や園庭開放等の案内をしている。また今年度より保護者様と職員向けの育児に関する講演を外部講師に依頼して実施している。
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	○				
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
情報の発信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。	○			園だより・各フロアだよりや保護者説明会を通じて保育方針や施設情報について毎月発信した。		
	(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○				
外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	○			・第三者評価については令和5年度に受審後、令和6、7年度はその結果を活かすことができていた。 ・第三者委員とは定期的な情報交換を行っている		
	(2) 第三者委員制度を活用しているか。		○				

令和7年度げんきな森保育園自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

令和8年4月公表

項目	内容	評価				備考	
		A	B	C	D		
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			目標については職員が目につくところへ掲示した。	
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○				
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。	○					
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			会議や日々の会話の中で見直しを行った。子どもの様子を軸に考察する事を意識した。	
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。		○				
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。		○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○				
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	○					
日・時・程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム）は現行でよいか。	○				問題なし	
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			開園5年目という事もありこれまでの経験と子どもの成長した様子を考慮し設定できた。	
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○				
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。		○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○					
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○				
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○			会議においては、一方通行のトップダウンのみならず、適宜、ディスカッションの機会を設けた。正解、不正解ではなく1人1人価値観が違う事を認め合う事を大切にしたい。	
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○				
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○			
		(4) 係や仕事の分担は適切か。		○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○		保育でも異年齢保育の中で様々な経験が得られるよう環境設定を工夫した。	
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しまず互いに施設の運営に関わっているか。		○			
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
	クラス経営	(1) 0・1歳と2・5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。	○			防犯訓練についてはリアルな状況が再現できるように心掛けた。	
		(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
	健康・安全指標	(3) チーム保育を適切に行っているか。		○			
		(1) 0・1歳と2・5歳の保健対策は適切に行われているか。	○				
		(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。	○				
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。	○				
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。		○			
	情報	(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報に適切に扱っているか。		○			
研修会・講習会について		(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○			
		(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。		○			
		(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○				
施設・設備		(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○		安全チェック表に基づいた定期点検を実施。	
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。		○				
	(3) 不審者等に対応する周知な配慮を行っているか。	○					
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○				
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				本部にて点検済み。	
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		近隣の小学校での運動開催や年長児を対象とした小学校訪問を実施した。	
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。		○			
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。		○			
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。		○			
	域との連携	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○		園からのお便りについてはメール配信及び紙媒体での備え付けを行い幅広く周知できるように心掛けた。	
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			
	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。		○		医療機関等の関係機関との連携は適宜行った。	
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○			
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
	発信部	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。		○			
		(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			
	評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○		令和5年度第三者評価受診済み。	
(2) 第三者委員制度を活用しているか。			○				

令和7年度さつきの森保育園自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

令和7年4月公表

項目	内容	評価				備考
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			真年齢での生活の場と各発達年齢の活動を毎日計画し担当保育士を決めて実施。職員会議や共有ノートを通して共通理解を図ったが、担当職員によっては共通理解の理解が得られなかった。
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。		○			
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			毎日年齢ごとの活動を実施していることで集団での楽しみや年上のお友だちへの憧れ同年齢の意識が芽生えてきた。教員教材については都度検討し、毎週土曜日には検討個所の入れ換えを行うとともに、破損したらすぐ補充を実施。
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日・時・程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム）は現行でよいか。			○		午前午後の活動を1か月計画し実施。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			季節や子どもの成長・園での様子を知ってもらうために月1回行事を実施。乳児・幼児など発達に応じて保護者にも活動に参加していただいたり、見ていただいたりやねらいをもって行えた。昨年度の反省をもとに計画し実施。評価反省を職員会議で共有。保護者アンケートをとり、今後の保育の中で検討している。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。			○		
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。			○	年度途中の体職・退職者により職務内容を変動せざるをえなかった。途中入職者がいても適合せず結果在職職員の負担感が大きくなってしまった。管理職も協力して運営。職員にとっては個人的な意見や見解を持ち発言することも多々見られたが、周りの職員は少しずつ自分と考えようになった。会議については、全員が一度に参加するのではなく、一人一人が発言しやすいように2グループに分けて行う時もあれば全体で検討が必要な時は行事後等に行う。園舎の構造上、0歳児から5歳児までが1フロアのため、安全衛生について教材の破損点検や消毒などこまめにおこなうなどは引き続き実施。 職員個々で自己判断すべきことと相談すべきことの区別ができなかったり、状況の説明が不明確だったりするので管理職者が日々保育に参加しながら状況把握できるように努める。避難訓練は毎月実施、防犯訓練は計画マニュアルを消防に提出。交通訓練については、日々の散歩などで交通ルールや階段の乗降が経験出来るようにする。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。			○	
		(3) 職員の配置は適材・適所か。			○	
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○		
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。			○	
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○		
	クラス経営	(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。			○	
		(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。		○		
	健・安全指	(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。		○		
		(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。		○		
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。		○		
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。		○		
	情報	(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報を通正に取り扱っているか。		○		
	研修会・講習会について	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○		
(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。			○			
(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。			○			
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○		怪鳥が発生しそうな箇所や教材は事前に予防処置を講じ、機会がある度に配置替えや修繕を行っている。園舎内の保管倉庫に限りがあるため、園外の貸し倉庫を利用している。関係機関からの不審者情報はエンタランスに提示。	
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。		○			
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○			
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○			
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。			○	都度対応。	
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		近隣小学校へ就学前交流会を通じて近隣の保育園・幼稚園とも合同。地域の未就園児見学会は1家庭ずつ対応することで、保育の取り組みや環境を十分に伝えることが出来るようになっている。地域幼保小連絡会に参加し、情報共有をおこなう。日常の活動や保育は動画配信、園だりやクラス便りなどを通して、保護者へ日々の子どもの様子を伝える。遠足など発達に合わせて、公共交通機関を利用し社会経験が出来るようにする。
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○		
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。		○		
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。		○		
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。			○	
	域との連携	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○		
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。			○	
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○	
	育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。		○		
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○		
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○		
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○		
	情報発信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。		○		
		(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			○	
	評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○		
(2) 第三者委員制度を活用しているか。			○			

令和7年度おだやかな森保育園自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

令和8年4月公表

項目	内 容	評価				備考
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			保育目標等は法人の理念とご家庭との日々のやり取りを参考に作成している。その周知にあたっては、職員会議及び各種委員会、研修を活用し、徹底を図ったところである。
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。	○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				指導計画については担任が作成したものをリーダーや主任が加筆修正し、適切なものに仕上がっていると考え。環境の構成にあたっては子どもの興味・関心に加え、季節や行事を意識したものになっている。
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。	○				
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日・時・程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム)は現行でよいか。	○				
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			保護者が参加する運動会などの行事は、参加しやすいよう、土曜日に実施した。それ以外子どもたちの発達に合わせた内容を考えて実施した。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。	○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○			【分掌・体制】 チーム保育を導入していることから、他法人と比較しても合理的で適切な職員配置、組織運営になっていると考える。フロア毎に担当を決めており、協働して保育に取り組んでいる。 【運営】 会議を行う時間を集約することによって効率的な運営に務めている。 【クラス経営】 クラス経営は目標に基づき適切に行われている。日々の活動は異なる年齢の子とも行うが、行事の際は同年齢の子と行う事が多く、活動は充実している。 【保健・安全指導】 保健対策については毎月身体測定を行うと共に、年1回健康診断、歯科検診を行い健康管理に務めている。避難訓練等は毎月1回実施し、必要に応じて大分市消防局にご協力いただいている。また、保健だよりを月に1回配布し、啓発を行う一方、病氣や怪我の際は園児のかかりつけ医等と連携しながら対応を行っている。 【情報】 個人情報については、緊急連絡先など必要なものを除き鍵のついたロッカーに保管し、適切に管理を行っている。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か。	○			
		(4) 係や仕事の分担は適切か。	○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○			
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○		
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○		
	クラス経営	(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。	○			
		(2) 異年齢及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。	○			
		(3) チーム保育を適切に行っているか。	○			
	健・安全指	(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。	○			
		(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。		○		
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。	○			
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。	○			
	情報	(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○			
研修会・講習会について	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			他園に研修に行ったり、市の保育所等職員研修にも参加し、保育の室の向上に務めた。	
	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。		○			
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○			
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○			毎月安全点検を行い、不備などがあればその都度共有し、修理をしている。	
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。	○				
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○			
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		近隣の小学校へ見学に行ったり小学生と交流を深めたりする行事に参加した。また、高齢者施設へ慰問に行き高齢の方々へ発表会などの演目を披露した。今後もこのような交流を増やして関係を深めていきたい。 毎月園だより、食育だより、保健だより、フロアだよりを発行し、園での様子やお知らせなどを随時保護者に発信している。
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わう音ができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○		
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。	○			
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。	○			
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。		○		
	地域との子育て支援	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。	○			
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。		○		
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○	
		(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。			○	
	情報の発信	(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	○			
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○		
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○			
		(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。	○			
	評価	(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○		
		(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	○			
	(2) 第三者委員制度を活用しているか。	○				

令和7年度あゆみの森保育園自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

令和8年4月公表

項目	内 容	評価				備考
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	○				フロア会議、リーダー会議、職員会議及び文書回覧等様々な手段により共通理解を図った。
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。	○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				保育所保育指針に沿って立案した全体的な計画を基に、フロアの現状に沿った進捗を計画した。また、日々振り返りを行いながら環境の構成や教員教材の提供を行った。
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。	○				
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日・時・程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム)は現行でよいか。	○				
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				各行事ごとに子どもたちにとって最善の内容とするよう準備を行った結果、ほとんどの行事で最大の効果ある結果となり、子どもと保護者の満足度も高いものがあった。 行事後には保護者アンケートを実施し、保護者の意見も参考に行事を実施することができた。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○			職員間で協力しながら日々の保育や各種業務を実施した。職員数が少ない中で、早番や遅番、行事担当等ある程度職員の業務負担は多くながちのため、常に業務の効率化を検討し実施していった。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○		
		(4) 係や仕事の分担は適切か。		○		
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効果的に進めているか。	○			会議時の司会を会議毎に交代して実施したことで全職員が話す機会を持つことができた。フロア会議やリーダー会議を度々実施し、適宜園児情報等の共有や保育の振り返りを実施した。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○		
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。	○			
	クラス経営	(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。	○			職員間で話し合い、異年齢保育を中心として、年齢や発達に合わせた保育や活動を取り入れた。また、早い時期から乳児が幼児フロアで過ごす機会を乳児職員も適宜幼児フロアに移動することで、フロアの垣根を超えた連携や活動の充実につながった。
		(2) 異年齢及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。		○		
	健康・安全指	(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。	○			感染症等の予防及び拡大防止のための取り組みを実施した。
		(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。		○		
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。	○			
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。		○		
		(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報適正に取り扱っているか。	○			
	研修会・講習会について	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			キャリアアップ研修も含め園外及び園内の各種研修に職員が適宜参加できるように計画し、研修の実施を行った。
(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。			○			
(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○				
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○			定期的に安全点検を行うとともに、安全に関する職員研修を実施した。	
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。	○				
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○			
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		・今年度、幼児による他施設との交流はできなかったが、園児にとっても刺激になり良いものであるため次年度は交流の機会を設定したい。また小学校との交流は、インフルエンザの流行のためキャンセルとなったが、次年度も計画予定。 ・法人内の各種研修や法人内主任会を活用し、保育に関わる意見交換を行った。保育の現場に活かせるよう適宜共有していきたい。
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。			○	
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。		○		
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。		○		
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。		○		
	域との子	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。	○			・日常的に園児と近隣の商店に買い物行き、地域社会と交流した。 ・灯りまつりに参加し、地域の行事にも参加した。今後このような機会があれば積極的に参加し、育児構築を企画した。 ・保護者からの要望等にに応じて面談の時間を設定する等の対応をした。 ・専門機関と連携しつつ、支援を要する園児の保護者に対して、必要な情報発信や連携機関との連携をした。 ・次年度は、園庭開放や未就学児を持つ親の保育
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。	○			
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	○			
	育て支援の	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。			○	・専門機関と連携しつつ、支援を要する園児の保護者に対して、必要な情報発信や連携機関との連携をした。 ・次年度は、園庭開放や未就学児を持つ親の保育
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	○			
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	○			
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○			
	情報の発信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報発信しているか。	○			性別が蒙難に発信していたが、外部への発信は積極的には行っていないかった。他園での取り組みを参考にしつつ可能な範囲で取り組んでいく。
		(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			○	
	評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○		令和6年度実施し、全体的には良好な結果であったが、園外活動の充実等、一部改善を要する事項もあったため、見直しを行った。
(2) 第三者委員制度を活用しているか。			○			

令和7年度じゅうな森保育園自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

令和8年4月公表

項目	内 容	評価				備考
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			会議を活用し、管理職、経験者、新人が三位一体となり当法人の目指す保育目標への共通理解を行った。
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。	○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			フロア会議を行い保育の振り返りを実施。新たに考えてくる課題の細部は園長・副園長を加えて改善案をだし、日々の保育に反映した。③ 保育環境整備事項を管理職が積極的に現場から吸い上げ、その時その場に見合った保育環境の充実に努めた。※園庭菜園の設置
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	○				
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日・時・程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム）は現行でよいか。		○			園児の登降園時間に更に寄り添いたい。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				夏祭りではかき氷の提供、運動会は近隣小学校体育館で大規模開催。全クラス発表会の開催、保護者を変えた保育参加、バス遠足等、適宜適切に取り行えたと見られる。行事ごとの事後アンケートを参考に、頂いた意見を吸い上げ次年度の実施に活かしたい。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		① 管理職・異動経験者・新人が保育に関する連携・ルール・園児の共通理解を得られるように園全体でのケース会議を定期的実施した。 ② 随時フロア会議を行い保育の振り返りを実施。新たに考えてくる課題の細部は園長・副園長を加えて改善案をだし、日々の保育に反映した。（保育室の開放、活花の設置等） ③ 保育環境整備事項を管理職が積極的に現場から吸い上げ、その時その場に見合った保育環境の充実に努めた。 ④ 保育の見える可を目的に動画配信を積極的にを行い、利用者との信頼関係構築に努めた。 ⑤ 不適切保育の予防の一環として、職員親睦会を定期開催し、職場内の人間関係の向上、コミュニケーションの質の向上に努めた。 ⑥ 看護師によるヒヤリハットの予測ケース会議を実施。多くの職員の意見を共有し安全対策に務めた。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。			○	
		(3) 職員の配置は適材・適所か。			○	
		(4) 係や仕事の分担は適切か。		○		
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効果的に進めているか。		○		
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しまずとなく施設の運営に関わっているか。		○		
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。	○			
	クラス経営	(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。	○			
		(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実に努めているか。	○			
		(3) チーム保育を適切に行っているか。		○		
	健康・安全指	(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。	○			
		(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。		○		
	情報	(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。		○		
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。		○		
		(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報を通正に取り扱っているか。		○		
研修会・講習会について	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実に努めているか。	○			8名の保育士がキャリアアップ研修の受講。市基幹システム研修を積極的に受講。発達支援センター主催見学会、研修に2名の保育士が参加。法人主催研修ではプロジェクト保育の発表を行った。	
	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。	○				
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○				
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○			安全チェック表に基づいた定期点検を実施し、劣化や修繕箇所を早期発見に努め、園児の安全確保に務めた。定期不審者訓練を実施した。	
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。		○			
	(3) 不審者等に対応する周知な配慮を行っているか。		○			
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納・経理	(1) 各種会計を通正かつ適切に処理しているか。	○			法人本部にて通正確認済み。	
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。	○			全職員が法人の定める保育研修に参加。また、積極的に姉妹園からの研修を受け入れ、全職員が見聞と知識を深めた。 園児が継続的に取り組めるプロジェクト保育（園庭菜園）を実施。グループワークとなり子どもが主体的に関わり、自然環境に興味をもって買えたと思料。 近隣小学校への校庭散歩、小学校見学を実施。年長児に対して、就学前教育となる活動が行えた。
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○		
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。	○			
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。		○		
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。		○		
	域との連携	(1) 保護者以外にも対象にした参観日等を設定しているか。		○		近隣保育所との交流会を実施。5歳児のクラス人員が13人と少ない中、多数の同年齢児と関われる貴重な体験となったと感じる。 利用者に対し、個別相談等、積極的に提案している。
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。		○		
	育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。			○	未就園児家庭（累計数90家庭）へ、随時園児見学会を実施した。 必要に応じて発達相談から栄養相談、健康相談にかかる保護者個別面談を実施。
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○		
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○		
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○		
	情報発信部	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。	○			年間を通じて利用者からの苦情無。令和6年度第三者評価受診済み。
(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。				○		
(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○				
評価	(2) 第三者委員制度を活用しているか。	○				

令和7年度あかるい森保育園自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

令和8年4月公表

項目	内 容	評価				備考		
		A	B	C	D			
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			職員会議やリーダー会議、フロア会議を活用して周知徹底し、一人ひとりの子どもの姿や森友会として大切にしている事項について認識を共有することを重視した。		
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○					
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。		○					
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			指導計画は各フロアで作成したものを主任が修正して実態に即したものとしている。土曜日を活用して部屋の環境構成を整えている。教具・教材は適宜入れ替えを行い、子どもたちの成長に即したものにしている。		
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。	○						
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。	○						
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	○						
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○					
日・時・程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム）は現行でよいか。		○					
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			保護者参加の行事は土曜日の実施とし、参加しやすい配慮を行っている。行事終了後は保護者アンケートを実施し結果を次回に活かすようにしている。		
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○					
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。		○					
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○					
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○					
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		職員間で意見のすれ違いが見られた。それに伴い職員間の連携に課題が見られた。明確に方針を示すとともに、職員間でよりコミュニケーションをとれる環境構築に努めている。		
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。			○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○				
		(4) 係や仕事の分担は適切か。			○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効果的に進めているか。		○				
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。			○			
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。			○			
	クラス経営	(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。	○					異年齢での活動を主体としながらも適宜、同年齢での活動を取り入れ、子どもも適切な距離を保ちながら蓄める保育を実践している。
		(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。	○					
		(3) チーム保育を適切に行っているか。	○					
		(4) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。	○					
		(5) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。	○					
	健康・安全指	(1) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。			○			
		(2) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。	○					
		(3) 乳幼児や保護者に関する個人情報を通正に取り扱っているか。	○					
(4) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。			○					
(5) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。			○					
研修会・講習会について	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○					
	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				法人内他園とヒヤリハットなどを共有し、保育室内の教具や園庭遊具の点検を実施している。		
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。	○						
(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○						
(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○						
施設・設備	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○						
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		尼崎市内の近隣保育園で、年長児交流会を実施しており、それに参加し、交流を行っている。		
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○				
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。		○				
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。		○				
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。		○				
	域との連携	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○			
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。		○				
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○			
	育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。			○	適宜保護者との個人面談を行った。		
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○				
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○				
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○				
	情報の発信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。		○		園内の掲示板やアプリを活用して適宜情報発信している。		
		(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			○			
	外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	○			第三者評価は5年に1回実施予定。第三者委員とは定期的に情報交換を行っている。また、利用者調査を実施した。		
(2) 第三者委員制度を活用しているか。		○						

令和7年度もえぎの森保育園自己評価表

- A たいへんよい
- B よい
- C 一部検討を要する
- D 改善を要する

令和8年4月公表

項目	内 容	評価				備考	
		A	B	C	D		
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			定期的な職員会議、リーダー会議、フロア会議を行い目標確認、現時点の状況把握、問題点などを話し合い共通認識図っている。	
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	○					
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。	○					
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			こどもの成長過程を常に意識し、また保護者とのコミュニケーションで得られた情報も参考にしながら、高い頻度で教材の見直し、購入を意識している。	
	(2) 保育所保育指針に基づき、援助・支援を適切に行っているか。		○				
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。	○					
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	○					
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○				
日・時・程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム）は現行でよいか。		○			現行でよい	
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			リーダー会議等を通じて行事の時期、内容を再確認した。 夏から秋にかけての行事感覚が狭いので、来年度はもりんピックを6月に変更してみることに、夏まつりが園からの一方的な内容に感じるとの意見から保護者参加型のサマーウィーク期間（1週間）を催してみることを話し合った。	
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○					
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。	○					
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○					
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○				
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		・新園開設のための一時的な職員不足を感じた。 ・スタッフの意識、協力体制はしっかりしていて組織の運営に協力的に関わってくれているが、その状況に甘えて超過勤務が発生している部分は気になる。 業務内容、配置などをもう一度見直して必要性も感じる。 教具は異年齢でも同年齢でも開わりやすいものを常に考え導入している。	
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○				
		(3) 職員の配置は適材・適所か。	○				
		(4) 係や仕事の分担は適切か。		○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効果的に進めているか。		○			
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○				
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
	クラス	(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。		○			
		(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
		(3) チーム保育を適切に行っているか。		○			
	健康・安全	(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。	○				
		(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。	○				
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。	○				
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。		○			
	情報	(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				
研修会・講習会について	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○		キャリアアップ研修は計画的に行っている。 新採用向けの研修は職員間で独自に行っている。		
	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。		○				
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○				
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○		情報の伝達漏れがないように、回覧物はルールを決めて毎日確認する週間ができています。 連絡アプリと合わせて情報の共有はしっかりできています。		
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。		○				
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○					
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○			指示に基づいて適切に処理している		
開かれた保育所づくり	施設間交流・連地	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。	○			・近隣の施設間での行事交流を行っている。その際に良いと思えることは自園でも可能なら導入検討をしている。 ・園庭開放日を設定して、地域のこども、保護者の受け入れを実施している。 ・施設の情報発信は可能なかぎり行っている。 ・動画配信は日に数回のペースで発信している。	
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わう音ができるような配慮や援助・支援を行っているか。	○				
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。		○			
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。			○		
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。		○			
	地域との子育て支援	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。	○				
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。	○				
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			
		(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。	○				
	情報の発信	(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。			○		
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
		(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報発信しているか。	○				
	評価	(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			指定された年度に実施している。
		(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○			
	(2) 第三者委員制度を活用しているか。		○				

令和7年度わかばの森保育園自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

令和8年4月公表

項目	内 容	評価				備考	
		A	B	C	D		
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			・各種回覧・職員会議・フロア会議で共通認識を図っている。	
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○				
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。	○					
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			・教具・教材は園児の成長と発達、こどもの今の姿に合わせて購入をしたり、頻繁かつ柔軟に変更出来ていた。次年度から紙芝居の定期購入なども利用予定である。	
	(2) 保育所保育指針に基づき、援助・支援を適切に行っているか。		○				
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。		○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	○					
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○				
日・時・程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム)は現行でよいか。		○				
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				・支援が必要なお子さんが多く中、工夫しながら支援児がか輝ける部分も取り入れることが出来てよかった。 ・幼児が少なく、また園生活が初めての子どもが多く、行事をも盛り上げていく幼児をしっかり育てていきたい。	
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○				
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。		○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○				
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		・開園一年目で試行錯誤しながら進める一年であった。 ・避難訓練で1年を通して初期消火が出来てないという大きな課題があった。次年度はそのようなことがないようにして大きな覚悟が必要である。	
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○			
		(4) 係や仕事の分担は適切か。		○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
	クラス	(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。		○			
		(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。		○			
		(3) チーム保育を適切に行っているか。		○			
	健康・安全	(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。	○				
		(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。	○				
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。	○				
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。	○				
		(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報を通正に取り扱っているか。	○				
情報	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○		・キャリアアップ研修、法人内研修などに積極的に参加してもらった。 ・研修後の振り返りは出ていない部分があるので改善を図っていく。		
	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。		○				
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○				
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○			・会議で危険箇所等の情報を共有し、物理的に対処できる部分は直ちに修繕又は改修した。		
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。		○				
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○				
出納・経理	(1) 各種会計を通正かつ適切に処理しているか。	○					
開かれた保育所づくり	施設間交流・連地	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		・他法人施設とおの交流は支援が必要なお子さんが多く、今年度は不十分であるが致し方ない部分でもあった。次年度は改善を図っていく。 ・法人内での保育士の合同研修などを通して、法人が目指す保育への理解度を深めた。 ・年長児が重度の障害児で小学校への進学は難しく、小学工の教育への理解が難しかった。 ・保護者を対象にした学習の機会を講師を迎えて行うことができた。	
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わう音ができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。		○			
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。			○		
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。			○		
	地域との子育て支援	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○		
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。			○		
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○		
		(4) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。			○		
	情報の発信	(1) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	○				
		(2) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	○				
		(3) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
	評価	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。	○				・第三者評価については開園一年目で今年度の実施はなし。
		(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			
評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。			○	・第三者評価については開園一年目で今年度の実施はなし。		
	(2) 第三者委員制度を活用しているか。		○				

令和7年度あけぼのの森保育園自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

令和8年4月公表

項目	内 容	評価				備 考		
		A	B	C	D			
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			・理念に対して、具体的かつ段階的な目標を設定、職員会議・フロアー会議で共通認識を行った。		
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○					
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。	○						
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			・子どもの姿や興味関心、保護者とのコミュニケーションの中で得られた情報をもとに、環境調整、教具教材の準備を行った。また、年度末に今年度の振り返りを行い、今後の活動内容についても検討することができた。		
	(2) 保育所保育指針に基づき、援助・支援を適切に行っているか。		○					
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。	○						
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	○						
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○					
日・時・程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム)は現行でよいか。		○			・遊楽で活動の共有を行い、必要に応じて活動の変更を行い子どもの姿に応じて活動を提案することができた		
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			・子どもの主体性を尊重した中で、保育からの継続性を重視して行事を行った。反省として、来年度は計画的に活動を考えて行く。 ・行事ごとに保護者アンケートを実施。反省を活かしながら実施した。 ・保護者参加の行事は土曜日に開催し、多くの方が参加できた。		
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○						
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。		○					
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○					
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○					
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		・職員の職務分掌を明確にすることで、効率よくサポートを行いながら分担し業務を遂行することができた。 ・行事等の準備も担当だけが準備するのではなく、職員全員で分担して取り組むことができた。 ・保育については、「子どもにとって」を中心に考えて動く姿が見られたが、声の大きさや動きなど細かい点で保育の質をあげていく必要があると感じた。 ・各会議を行う際は、会議の目的を明確にし、参加出来ない先生には情報共有を行うことで、職員間の中で周知を確実に行うことができた。		
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○				
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○				
		(4) 係や仕事の分担は適切か。		○				
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○				
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○				
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。			○			
		クラス経営	(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。		○			
			(2) 異年齢児及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
	(3) チーム保育を適切に行っているか。			○				
	健康・安全		(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。	○				
			(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。		○			
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。		○				
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。	○					
		(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報を選択的に取り扱っているか。	○					
研修会・講習会について	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○			・互見研修や新採用職員研修、リーダー研修、中堅研修等姉妹園と様々な研修を行うことで、園の知見を広げることができた。 ・また、キャリアアップ研修を1人1つ以上受けてもらうことができた。		
	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。		○					
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○					
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				・安全委員会を中心に毎月の安全点検を行い、日々施設安全チェックリストを作成し活用している。 ・会議で危険箇所等の情報を共有し、物理的に対処できる部分は直ちに修繕又は改修した。		
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。	○						
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○					
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○						
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。		○			本部の確認や外部監査を受け、適切に処理できている。		
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		・姉妹園との園児交流を引き続き実施。 ・法人内での保育士の合同研修などを通して、法人が目指す保育への理解度を深めた。 ・定例公開日を設け、保護者の方が園でのこどもの様子を見られる日を作った。 ・地域交流に関しては、地域の方の土地を借りて協力農園を行う計画が次年度にはある。 それ以外の交流はできていないため、各行事ごとに地域の方が参加できる機会を作為できないか検討していく。 ・育児講座・保育参加を年3回実施した。 ・保護者面談も1家庭1回以上実施し、必要家庭は2回面談を実施した。 ・姉妹園である児童発達支援事業所と連携を図ることで、専門機関へ駆けやすくなり情報を共有することができた。 ・毎月、園だよりやフロアだより等を発行。		
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わう音ができるような配慮や援助・支援を行っているか。			○			
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。		○				
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。		○				
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。	○					
	地域との子育て支援	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○			
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。	○					
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○			
		(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。			○			
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。			○			
	情報の発信	(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。			○			
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。			○			
		(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。	○					
		(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。					○	
		(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。					○	・第三者評価については令和9年度に実施予定
評	(2) 第三者委員制度を活用しているか。				○			

公表

事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	社会福祉法人森友会 なごやかな森横尾		
○保護者評価実施期間	令和8年1月24日		～ 令和8年2月9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 44名	(回答者数)	37名
○従業者評価実施期間	令和8年1月24日		～ 令和8年2月3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月16日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・法人内のこども園等からの通所児童が多く、こども園等の保育士との情報共有が図りやすく、日常での保育と療育活動の連携による支援が充実している。また、系列法人で法人本部及びこどもの園長と児童発達支援管理責任者が一同に会し、連携推進会議を定期に開催している。	・保護者に対して、保育及び療育の観点で児童に対する発達に関する情報共有を行っている。	・法人内のこども園等の保育士等に対し、困りのある児童に対する専門職から支援のあり方などの研修に取り組む
2	・5年以上の児童指導員及び保育士や理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)を多数配置し、個別支援の充実を図っている。	・保育士会議とPTOTST会議を専門分野別に会議を実施し、毎週の活動カリキュラムに反映させ、小集団活動や個別支援の充実を図っている。	・法人内や系列の児童発達支援事業所との合同研修会や事例検討会などに取り組む。なお、自治体主催の研修は、積極的に参加します。
3	・通所児童に対する活動状況を毎週、個別に写真付きで保護者にアプリ配信している。	・活動内容や児童の表情を中心とした写真撮影を心がけている。	・保護者に配信する個別の写真については、活動内容の目的や効果、課題とその時の児童の表情について、もっと詳しく専門職からの説明等ができるよう努めたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族支援について、ご家庭でできる支援のあり方など、専門職からのアドバイスや助言が不足している。	・機会の提供など不足している。	・今年度の「なごやかカフェ」を開催したアンケート結果により、今後のあり方について検討し、さらに保護者に対する家族支援が深まるよう、今後も「なごやかカフェ」を実施していく。
2	・同じ悩みを持つ保護者間の交流などの支援ができていない	・個人情報保護の観点から、消極的である。また、保護者交流に関するニーズ調査が必要である。	・本年度から開催した「なごやかカフェ」を利用し、保護者様に対して専門職からアドバイスの研修会や家庭での困りごと相談や保護者間の交流のあり方について検討する。
3	・事業所の非常時の対応について、保護者の理解が進んでいない。	・保護者とのサービス利用契約時に説明しているが、情報提供が不足している。	・非常時の各種マニュアルについて、毎年度安全計画に基づき、アプリ配信とペーパーで配布する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果(児童発達支援)

事業所名 社会福祉法人森友会 なごやかな森横尾

公表日 令和 8年 3月 1日

利用児童数 44名

回収数 37名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	34	2		1	・落ち着ける部屋や体を動かせる部屋、色々あり子どもも満足していると思います。	・今後もお子様の情緒や活動内容に合わせ、安心して過ごせる環境作りに努めていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	33			4		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	34			3		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	37				明るく広々としたあたたかい空間だと思います。	今後も明るく清潔な環境を維持していきます。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	36	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	37					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	37				・面談の際に、こちらの意向を十分にくみ取って計画を立ててくださっています。	・今後も継続し、面談等で保護者様の意向を丁寧に確認し、お子様の状況と併せて個別支援計画の作成に努めます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	37					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35	1		1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	36	1				
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	25	2		10		
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33			4		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36		1			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	35	1		1	・「なごやかカフェ」はとて有意義な時間でした。	・今後も保護者様が参加しやすい交流や学びの機会を継続して充実させていきます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	36		1		・LINEでのやりとりは行っているものの、相談して良い内容や方法が分かりにくく、直接話す機会が少ないことで相談しづらさを感じています。	・今後はLINEでも相談が可能であることを改めて周知するとともに、電話や面談等で直接話せる機会を積極的に設け、保護者様が安心して相談できる体制作りに努めます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	34	2	1		・こちらの困りごとについて、一緒に考えてくださっています。	・今後も保護者様の思いに寄り添いながら、面談等と通じて一緒に考えながら支援を行っていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	36	1				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	13		5	・「なごやかカフェ」の開催時、児童を預かってくれる環境があると参加しやすいです。	・来年に向けて検討していきます。
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	34		1	2	・相談の仕方が分からない。LINEを使って良いのか、専門職に電話や個別面談の機会を作っていたのかなど。	・これまで以上に保護者様が安心して相談できるよう、専門職との個人相談についても、ご希望に応じて柔軟に時間を設定できる体制作りに努めていきます。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	37					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	32	3		2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	37					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	32	1	2	2	事業所での避難訓練は聞いたことがありません。	・避難訓練は2か月に1回定期的を実施しております。実施日当日に連絡帳を通じて、事前に保護者様へ分かりやすく周知していくよう努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	3	1	7	・どう対応を取っているのか知らないです。	・避難訓練は2か月に1回実施しております。訓練のねらい・内容について、連絡帳や連絡アプリ（コノベル等）を活用し、保護者の皆様に分かりやすく伝えていく方法を検討していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32	1	1	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	32	1	1	3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	37				・療育など連携していただいているので助かります。	関係機関と連携を取りながら、今後も安心して通所できる環境づくりや多様な活動の提供に努めています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	35	2			・週4日の通所を楽しみに過ごしているので安心しています。 ・保育園ではできないような遊びを経験できて、本人もすごく楽しそうです。	・今後も安心して通える環境づくりと、楽しく参加できる活動の提供に努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	36	1			・ST、OT、PTそれぞれの専門知識をもった先生方がいらっしゃるのありがたいです。 ・活動終了後、お迎えの際に、どういう目的でどういった活動をしたのか等の説明があると助かります。	・各専門職の強みを活かし、連携した支援を今後も継続していきます。 ・活動のねらいや内容について、迎え時や記録を通して分かりやすく伝えていけるように努めます。

各回答数⇒ 980 36 9 48 1073 ←総数
各回答率⇒ 91.3 3.4 0.8 4.5 100%

公表

事業所における自己評価結果(児童発達支援)

事業所名	社会福祉法人森友会 なごやかな森横尾		公表日		令和 8年 3月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・個別支援、集団活動、運動活動では、個室の利用やパーテーションにより、集中力が高められるよう工夫しています。	・利用児の特性に応じた空間の使い分けについて、さらに工夫しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	○		・職員配置基準より加配している。また、機能訓練スタッフも配置しています。	・福祉人材の確保に努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・視覚や聴覚が過敏な児童が落ち着けるよう環境に配慮しています。 ・絵カードやチャイム等による日課の周知	・安全チェックリストを作成し活用しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・サービス提供の前後、清掃と消毒を徹底しています。	・日々の安全点検に努めます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個別支援や静養室など個室を配置し、適切に使用できるよう配慮しています。	・適宜、適切な環境の提供に努めます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・週案会議、保育士会議、PTOTST会議や職員会議を実施し、多職種で参画しています。	・全職員が参画できるよう努めます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者評価を尊重し、個別については、モニタリングや担当者会議を利用し、全体的には連絡アプリを利用し業務改善の報告に努めています。	・できること、できないことをはっきり伝え業務改善に取り組みます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・週案会議、保育士会議、PTOTST会議や職員会議により意見を聴いており、職員評価時も個別に意見聴取しています。	・継続して意見聴取により業務改善に取り組みます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者の外部評価は、法人として3年に1回実施することとしています。	・令和8年度に実施を予定しています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・法人の主催する新任職員研修や、外部研修及びOJTにより研修機会を確保しています。	・職員体制の関係上、機会均等となるよう努めます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・令和7年3月1日公表	・特になし。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・適切に作成しています。	・日々の支援とアセスメント結果の連動を強化させていきます。 ・個別支援の時間の確保。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・多職種による検討を行っています。	・検討内容が多職種で共有できるよう努めています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・支援計画をベースとした週案により、支援を実施しています。	・継続して、統一した支援に努め、評価の質を高めていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・医療機関で検査された内容や保護者等の日常生活の聞き取りにより、支援記録において確認しています。	・アセスメントの質が向上するよう努めます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・本人支援は5領域について検討された支援内容を、具体的に支援計画で反映させています。 ・家族支援や移行支援等は、個別ニーズに応じて支援計画を作成しています。	・視野を広げた5領域の支援内容ができるよう努めます。 ・支援内容の具体性をさらに高めていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・保育士会議やPTOTST会議の検討により、毎週立案しています。	・チームワークの質を高めてまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・保育士会議やPTOTST会議の検討により、週案を立案しています。	・活動プログラムが固定化しないよう、新しい活動内容の共有を増やしていきます。

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個別の課題やニーズによりアセスメントされた個別支援計画を作成し、支援を行っています。	・個別活動と小集団活動を適宜、適切に組み合わせることができるよう配慮します。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎日の朝礼時、欠席や活動変更などすり合わせを行い、チームとして対応しています。	・チームワークを大切に連携を深めます。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・職員間で振り返りを行い、重要なことは共有ノートに記入し、チームで共有しています。	・チーム内で気付きを大切にします。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・フォーマットされた適切な個別支援記録により、支援の検証、改善につなげています。	・個別支援記録のあり方について、児発管を中心として研鑽に努めます。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・適宜、見直しを行っています。	・適切な見直しに努めます。
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・適切な関係者の参画を促し、参加できる環境を提供しています。	・適切な会議が開催できるよう関係者が参画できるよう努めます。
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・医療機関のリハ担当者や保育所等の保育士等との情報共有が適時できる体制をとっています。	・適宜、対応できるよう体制を整えられるよう努めます。
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・適切な情報共有と相互理解を図っています。	・こども園等との適切な情報共有と相互理解が図られるよう適宜、会議を開催します。
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・就学を見据え関係機関と連携しています。	・小学校等との適切な関係性を築けるよう努めます。
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・特に専門職のリハ関係では、訪問により助言を受けています。	・積極的な連携が図れるよう体制を整えています。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・現在は、活動機会がありません。	・今のところ機会はないが、法人内のこども園等との交流の機会を作りたいと思います。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・連絡アプリやLINEなどを活用し、共通理解を図っています。	・継続して共通理解に努めます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・令和8年1月に「なごやカフェ」を実施しました。	・今後も定期的に「なごやカフェ」を開催していく予定です。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・利用契約時、説明しています。	・継続して、丁寧な説明に努めます。
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・アセスメント時、ニーズの聴き取りを行い、担当者会議時、再度確認しています。	・意向確認については、継続して適切な機会の提供に努めます。
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・説明し、同意を得ています。	・継続して、丁寧な説明に努めます。
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・適時、いつでも相談に応じる体制を整えています。	・適切に相談に応じられる体制づくりに努めます。

保護者への説明等

39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・令和8年1月に「なごやカフェ」を開催し、保護者の交流の機会を提供しました。	・今後の継続して「なごやカフェ」を開催することとし、保護者の交流の機会を提供していく予定です。
40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・適時、相談に応じる体制を整えています。	・適切に相談に応じられる体制づくりに努めます。
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・連絡アプリを活用し、毎週実施しています。	・継続して定期的な情報発信に努めます。
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・契約締結時、個人情報保護に関する同意書を徴収し、個別に十分配慮しています。	・法人規程に沿って、適切に留意します。
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・個別に配慮して情報伝達しています。 ・絵カードなどを活用し、配慮しています。	・説明内容にばらつきが出ないように統一を図ります。
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	○		・第三者委員に地区の自治会長を招聘しています。	・地域住民の皆様と適切な関係作りができるよう情報発信に努めます。
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・備え付けのマニュアルを閲覧できるようにしており、想定訓練も実施しています。	・定期的な見直しを行っていきます。
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・訓練計画に基づき、訓練を実施しています。	・継続して、非常時の訓練に努めます。
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・アセスメント時、確認しています。	・継続して、適切に確認します。
48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・アセスメント時などを利用して、保護者から聴き取りを行い、把握した後は目に見える形にし、間違いを防いでいます。 ・おやつ提供時にアレルギーのあるこどもの側に必ず職員が付くようにしている。	・継続して、適切に確認します。
49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を策定し、安全管理を徹底するとともに研修で研鑽しています。	安全計画を随時、見直しを行います。
50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・連絡アプリやブログを活用しを活用し、周知しています。	・継続して、安全計画を連絡アプリで配信します。
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・様式を作成し取り組んでおり、職員会議等で検討を行い、全職員に周知しています。	・再発防止策の検討を強化します。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・施設内及び外部研修に参加し、全職員に周知するとともに2カ月毎に虐待防止チェックを実施しています。	・継続して研鑽に努めます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・現在、やむを得ず身体拘束を必要とする児童はいませんが、適正化委員会で検討してまいります。	・身体拘束の適正化について、研修及び適正化に努めます。

非常時等の対応

公表

事業所における自己評価総括表(保育所等訪問支援)

○事業所名	社会福祉法人森友会 なごやかな森横尾		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月24日		～ 令和 8年 2月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38名	(回答者数) 34名
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月24日		～ 令和 8年 2月 3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	令和 8年 1月24日		～ 令和 8年 2月 9日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	5件	(回答数) 3件
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月16日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・訪問先では、法人内のこども園等が多く、保育士等との情報共有が図りやすく、訪問先での支援が充実している。また、系列法人で法人本部及びこどもの園長と児童発達支援管理責任者が一同に会し、連携推進会議を定期的に開催している。	・訪問先での日頃の児童の様子や保育士からの日常保育の様子を聴取したり、保育での困りや課題、環境調整の方法などカンファレンスを行っている。結果については、訪問支援の内容を記録しアプリを利用して保護者と情報を共有している。	・今後さらに法人外の訪問先のこども園等と信頼関係を築けるよう、訪問する職員はこども園等の園児に対する困り等を把握するなどして保育に対する支援など情報提供等を積極的に努めてまいります。
2	・訪問先での保育に対する困りなどを事業所に持ち帰り、専門職に意見を聴いたりして、今後の訪問支援に役立てている。	・児童発達支援の職員に訪問支援内容を会議で検討し結果により、通所利用時に反映した支援に繋げている。	・法人内や系列の訪問支援職員との合同研修や事例検討などに取り組む。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・法人外の訪問先施設の訪問の機会が限られる。	・保育所等訪問支援の内容の理解及び訪問先施設との信頼関係の構築が必要。	・来年度から「なごやかカフェ」の開催について、訪問先施設の職員にご案内するなどして当事業所の理解と保育所等訪問支援の内容を丁寧に説明し理解の醸成を図る。
2	・家族支援について、ご家庭でできる支援のあり方など、専門職からのアドバイスや助言が不足している。	・機会の提供など不足している。	・今年度の「なごやかカフェ」を開催したアンケート結果により、今後のあり方について検討し、さらに保護者に対する家族支援が深まるよう、今後も「なごやかカフェ」を実施していく。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果(保育所等訪問支援)

事業所名	社会福祉法人森友会 なごやかな森横尾
------	--------------------

公表日 令和 8年 3月 1日

利用児童数 37名

回収数 31名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。	16	1		14		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	28	1		2		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	29	2				
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	26		3	2	・こちらの都合を考慮してくれて、大変助かっています。 ・訪問支援に行っただろうか連絡がないです。	・個別支援計画にて訪問回数等、同意をいただいています。また、訪問支援を行った場合連絡アプリにて記録を送信しています。
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	29			2		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	1	1	1	・子どもの性格を十分に理解してくださっていて、ありがとうございます。	・今後も引き続き、一人ひとりに合った支援を丁寧に行ってまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29	1		1		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	25	1	1	4		・担当者会議により、皆さんの意向を個別支援計画に反映しています。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	2		2		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	1		2		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	28			3		
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	1	1			・保育所等訪問支援計画を説明し、同意をいただいています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	28	1		2		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	31					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	1	1	1		・モニタリング時に、反映させていただいています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	1				
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	1	1			・相談室を設備しており、相談等があればいつでも対応できるよう職員間に周知し管理者や児発管が適宜対応しています。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	1				
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	25	2		4			

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	28		1	2	訪問支援日誌のカンファレンス内容が、園での様子を共有する情報共有するのみに留まっているので、具体的な支援方法が知りたいです。	園の保育士等と事業所の訪問支援員が支援のあり方を協議し、その内容を日誌に記載報告するように努めます。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	29	1	1		・11、12月の訪問支援日誌がなかったため、行ったか分からない。	訪問の有無や内容を確実に共有できるよう、連絡体制を改善していきます。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	2		6		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	23	1	1	6		緊急時には、相互理解のうえ連携し、実践できるよう努めていきます。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	2		3		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	28			3		
	28	事業所の支援に満足していますか。	30		1		・先生方みんなが子どものことを気にかけてくれて、なごやかで良かったと思います。 ・楽しく通所しております。イベントに合った制作や個々の特性に合わせた対応がされており安心して通わせることができています。ありがとうございます。	楽しく通えているとのことを受け、今後も温かい雰囲気の中で、一人ひとりに合った活動を提供できるよう努めていきます。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日 令和 8年 3月 1日

社会福祉法人森友会 なごやかな森横尾

利用児童数 37名 回収数 3件

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1	2			
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1	2			
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	2	1			
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1	2			
5	事業所からの支援に満足していますか。	1	2			
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>①園での様子を見て頂きありがとうございます。小さな困りを1つ1つクリアできるよう、たくさんの「できたよ!」を積み重ねていきたいと思えます。これからもよろしくお願いいたします。</p> <p>②訪問支援員の方とお話をする時間がなく、情報共有ができなかったため、そういう時間があるといいなと思いました。</p> <p>③なごやかでの取り組みもふまえて、園での対応の仕方について、もう少しアドバイスをいただけるとありがたいです。</p>					<p>①お子さんの小さな「困り」に寄り添いながら、「できたよ!」を積み重ねていけるよう、今後も園の取り組みと連携しながら支援を進めてまいります。</p> <p>②訪問先施設との情報共有はとても重要だと認識しております。いただいたご意見を踏まえ、次回以降は支援前後に短時間でも意見交換の時間を設けられるよう調整し、連携の強化に努めてまいります。</p> <p>③なごやかでの取り組みを踏まえ、園での支援に活かしていただけるよう、関わり方の提案をこれまで以上に丁寧にお伝えしてまいります。園でのお困りごとに寄り添いながら、分かりやすい情報共有に努めてまいります。</p>	

公表

事業所における自己評価結果(保育所等訪問支援)

事業所名		社会福祉法人森友会 なごやかな森横尾		公表日 令和 8 年 3 月 1 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		・同法人内では、教員教材の情報共有を行っている。	・個別の対応があれば教員教材を整えていきます。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・適切である。	・訪問支援員の質の向上に努めます。
業務改善	3	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・週案会議、保育士会議、PTOTST会議や職員会議を実施し、多職種で参画しています。	・全職員が参画できるよう努めます。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者評価を尊重し、個別については、モニタリングや担当者会議を利用し、全体的には連絡アプリを利用し業務改善の報告に努めています。	・できること、できないことをはっきり伝え業務改善に取り組みます。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・週案会議、保育士会議、PTOTST会議や職員会議により意見を聴いており、職員評価時にも個別に意見聴取しています。	・継続的な改善につなげる仕組み作りに取り組みます。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者の外部評価は、法人として3年に1回実施することとしています。	・令和8年度に実施を予定しています。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・法人の主催する新任職員研修や、外部研修及びOJTにより研修機会を確保しています。	・職員体制の関係上、機会均等となるよう努めます。
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・アセスメント時、ニーズ等を把握し、支援計画に適切に反映できるよう努めています。	・客観的視点のさらなる充実を図っていきます。個別支援の時間の確保。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・職員間で共通理解を図り、多職種による検討を行っています。	・検討内容が多職種で共有できるよう努めています。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		・担当者会議にて、多職種協働による検討を行い、訪問先の意見を聴取しています。	・継続して、適宜、訪問先に参画してもらいます。連携内容の記録整理に努めます。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・支援計画をベースとした週案により、支援を実施しています。	・継続して、連携した統一支援に努めます。状況に応じて確認の頻度を調整し、必要なタイミングで支援内容の見直しに努めます。
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・医療機関で検査された内容や保護者等の日常生活の聴き取りにより、支援記録において確認しています。	・アセスメントの質が向上するよう努めます。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・ガイドラインに沿った支援内容を、具体的に支援計画で反映させています。	・ガイドラインの具体的支援内容に沿った支援に努めます。
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎日の朝礼時、欠席や活動変更などすり合わせを行い、チームとして対応しています。	・チームワークを大切に連携を深めます。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・個別支援記録により、チームで共有しています。	・チーム内で気付きを大切にします。
	16	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		・訪問先の理念等に配慮し、支援している。	・訪問先施設との信頼関係を築いていきます。
	17	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		・フォーマットされた適切な個別支援記録により、支援の検証、改善につなげています。	・個別支援記録のあり方について、児発管を中心として研鑽に努めます。
18	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・適宜、見直しを行っています。	・適切な見直しに努めます。	
19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・適切な関係者の参画を促し、参加できる環境を提供しています。	・適切な会議が開催できるよう関係者が参画できるよう努めます。	

関係機関や保護者との連携	20	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・医療機関のリハ担当者や保育所等の保育士等との情報共有が適時できる体制をとっています。	・適宜、対応できるよう体制を整えられるよう努めます。
	21	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・就学を見据え関係機関と連携しています。	・小学校等との適切な関係性を築けるよう努めます。
	22	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・外部研修に積極的に参加しています。	・研修等による自己研鑽に努めます。
	23	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○	○	・参加要請がありません。	・要請があれば、積極的に参加します。
	24	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・連絡アプリやLINEなどを活用し、共通理解を図っています。	・継続して共通理解に努めます。
	25	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・令和8年1月に「なごやカフェ」を開催し、専門職の研修や講演を実施しました。	・今後も定期的な「なごやカフェ」を実施していきます。
保護者等への説明等	26	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・利用契約時、説明しています。	・継続して、丁寧な説明に努めます。
	27	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		・訪問先施設には、理解協力が得られるよう丁寧に説明しています。	・継続して、理解協力が得られるよう努めます。
	28	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・アセスメント時、ニーズの聴き取りを行い、担当者会議時、再度確認しています。	・意向確認については、継続して適切な機会の提供に努めます。
	29	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		・説明し、同意を得ています。	・継続して、丁寧な説明に努めます。
	30	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		・適時、いつでも相談に応じる体制を整えています。	・適切に相談に応じられる体制づくりに努めます。
	31	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・令和8年1月に「なごやカフェ」を開催し、保護者の交流の機会を提供しました。	・今後も定期的な「なごやカフェ」を実施していきます。
	32	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・適時、相談に応じる体制を整えています。	・適切に相談に応じられる体制づくりに努めます。
	33	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・連絡アプリを活用し、毎週実施しています。	・継続して定期的な情報発信に努めます。
訪問先施設への説明等	34	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・契約締結時、個人情報保護に関する同意書を徴収し、個別に十分配慮しています。	・法人規程に沿って、適切に留意します。
	35	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・利用者一人ひとりの状況に合わせ、個別に配慮した対応を行っている。	・配慮が必要な事項を常に更新し、きめ細やかな対応の維持に努めます。
	36	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		・即時、対応できるよう児発管と共に体制を整えています。	・より迅速で適切に相談に応じられる体制づくりに努めます。
	37	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		・適宜、会議等を行っています。	・訪問先が多忙な場合でも、短時間で効果的な情報共有ができる工夫を検討します。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		・連絡アプリを活用し、保護者に支援内容を毎回かさず報告しています。	・アプリの利便性を活かしつつ、保護者の反応や要望をより汲み取る工夫に努めます。
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・契約締結時、個人情報保護に関する同意書を徴収し、個別に十分配慮しています。	・今後も職員間で確認をおこない、意識の統一を図っていきます。
	40	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		・担当者会議等に参加していただき、信頼関係を築くとともに助言等を行っている。	・継続して、担当者会議など参画を促します。

非常時等の対応	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・備え付けのマニュアルを閲覧できるようにしており、想定訓練も実施しています。	・訓練内容を定期的に見直し、より実践的な想定でのシミュレーションを行います。
	42	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を策定し、安全管理を徹底しています。	・適宜、安全計画の見直しをいたします。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事故報告やヒヤリハット事例を事業所内で共有し、再発防止に向けた検討を重ねています。	・毎月、安全点検に取り組みたいと思っています。
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・施設内及び外部研修に参加し、全職員に周知するとともに2カ月毎に虐待防止チェックを実施しています。	・定期的なチェックを継続し、職員の意識を常に高く保つ体制の継続に努めます。
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・現在、やむを得ず身体拘束を必要とする児童はいませんが、適正化委員会で検討してまいります。	・身体拘束の適正化について、研修及び適正化に努めます。

○事業所名	なごやかな森潮江		
○保護者評価実施期間	5/26/2025		6/7/2025
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	5/26/2025		6/7/2025
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	6/7/2025		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験豊かな専門職と保育士との多職種による個々に寄り添った支援の充実	経験豊かな専門職と保育士との多職種がチームとなり、個々のニーズや課題を多角的に分析し、個別と小集団を掛け合わせた質の高い支援の提供	更なる充実した支援のために、法人内外研修や勉強会などを充実させ、職種問わず1人ひとりがスキルアップできる機会の提供
2	併設している保育園との連携を図り、児発でできたことを実践できる環境があるインクルーシブの強み	併設園との児童同士の交流を通し、児発で養ったコミュニケーションや社会性、運動面など多岐にわたる面での実践可能な環境があり更なる個々の成長を期待	併設園とのより密な交流が図れるよう、職員同士の情報共有や連携可能な機会創出などの工夫を継続して行っていく
3	給食会社による手作りの給食やおやつ提供を通しての食育にも力を入れており、生活面から言語運動社会性まで多岐にわたる面での発達の成長	食育を通し食べることの楽しさや興味や意欲を育むなど支援全般において主体性を大切に、たくさんの「小さなできた」を積み重ねる支援の提供	保護者との連携を密にし生活面を含む様々な課題を共有し、個々の課題に沿った充実した支援の実施

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域に開かれた運営機会の不足	併設の保育園との交流や連携の機会は十分にあったが、それ以外の地域との交流は少なかった	併設保育園との交流や連携の機会を増やし、また地域との交流の機会も検討する
2	グループでのペアトレや情報交換会の機会の不足	個別でのペアトレの機会は提供していたがグループでの機会は未実施	グループワークでのペアトレを定期的に企画し共有する
3	保護者同士の交流やきょうだい支援の不足	保護者と事業所との信頼関係の構築に尽力してきたため、今後は保護者同士やきょうだい支援にも力を入れていく	保護者の交流やきょうだい支援を定期的に企画し共有する

事業所名	なごやかな森潮江
------	----------

公表日 令和 7 年 6 月 9 日

利用児童数 令和 7 年 6 月 7 日

回収数 31

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	31				・身体を動かしやすいスペースだと思います。	・今後も、活動スペースの十分な確保に努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	28			3	・利用者に対して、職員の数が分からないです。	・配置基準をクリアした人員配置を日々行っておりますのでご安心ください。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30			1	・イラストや写真などが掲示されていてわかりやすい工夫がされています。	・今後も、わかりやすい構造化、及び設備管理に努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31				・個別指導室など目隠しなどされていて集中しやすい工夫がされていると思いました。	・今後も、活動に合わせた心地よく過ごせる環境づくりに努めてまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31				・子どもの気持ちを大切にしてくださっていると感じます。	・今後も、特性等に応じた専門性のある支援の提供に努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30			1		・支援プログラムをホームページで公表し、支援プログラムに即した支援内容を提供しております。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	31					・今後も、お子様と保護者さまのニーズや課題に沿った計画を作成してまいります。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27			4		・今後も、ガイドラインにおいて必要に応じた項目を選択し、具体的な支援内容を設定してまいります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31					・今後も、計画に沿った支援を行ってまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	28			3	・日々いろいろなプログラムが組まれており、子どもたちも楽しそうなので感謝しています。	・今後も、活動プログラムに工夫を施してまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	21	3		7	・保育所と併設されているため、園庭で交流できるのは良いことだと思います。	・園庭や行事等で併設保育園との交流を行っております。今後も、引き続きより活発に交流を行ってまいります。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31					・今後も、丁寧な説明に努めてまいります。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31					・今後も、「児童発達支援計画」を提示しながらの丁寧な説明に努めてまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	4	1	7	・もう少し、家族型の参加や利用者の親同士での意見会などあると思う。 ・他の保護者の方と意見交換などの交流をしていただけたらと思います。	・現在、順次個別での家族支援プログラムを実施しています。今後、グループでのペアレントも実施してまいります。また、必要に応じた研修会や情報提供も行ってまいります。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	30	1				・今後も、保護者さまとお子さまの状況について共通理解を図るように努めてまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	1		2	・利用開始間もないので不明	・今後も、定期的な面談や助言を行ってまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30			1	・送迎の際にも、話を聞いてくださり相談しやすいです。	・今後も、共感的な支援が行えるよう努めてまいります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	3	7	11	・保護者会やきょうだいを含めた交流をしてみたいです。	・今後、保護者同士の交流や兄弟への支援の場などの開催を検討してまいります。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30	1			・声の大きさの用紙を家でも使用しただけで、すぐに対応していただけました。 ・連絡アプリの返事が遅いことがあった	・今後も、ご相談に迅速に対応できるように努めてまいります。また、確認が必要な内容やご連絡をいただいたお時間によっては翌日の返信となることにつきましても周知及び説明してまいります。
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31					・今後も、意思疎通や情報伝達のための十分な配慮をしております。
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	28	2		1		・今後も、ホームページ等で支援プログラムや自己評価を掲載してまいります。また、連絡アプリ等も活用し保護者さまへの発信も行ってまいります。	

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28		3		・今後も、個人情報の取り扱いに関し十分に配慮してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27		4		・各種マニュアルを策定しており、今後も周知・説明に努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26		5	保育園と一緒に避難訓練が定期的であり、非常にありがたい。	・今後も、必要な訓練を定期的に行ってまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29		2		・今後も、安全を確保する計画の周知及び、完全を十分に確保した上での支援に努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27		4	・少しの怪我でも丁寧に伝えてくれるので助かります。 ・今のところ怪我もなく帰ってきているので今後とも何かあれば説明をお願いします。	・今後も、怪我の大小に関わらず、迅速な連絡や適切な状況説明を行ってまいります。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	31		4	・帰宅後に今日はどうだったか聞くと、楽しかったよと言っているので信頼していると思います。 ・とても楽しそうに通えています。 ・先生のことが好きで楽しそうです。	・今後も、通所されるすべてのお子さまが安心感をもって通所できるよう努めてまいります。
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	31			・いつも、なごやかさんいつ？と聞いてくるので、楽しみにしていると思います。 ・通所する日は「いつだね」といつも楽しみにしています。	・今後も、通所されるすべてのお子さまが通所を楽しみにしていただけるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	1		・いつもアプリで活動内容を詳しく教えていただいているので安心しています。 ・最近、言葉がどもったり、何を話しているかわからないことがあり、言語発達で低迷しているように感じることがあります。	・今後も、支援に満足いただけるよう努めてまいります。また、お子さまの成長過程においての様子の変化の共有を十分に図りながら支援に満足していただけるよう尽してまいります。

事業所名		なごやかな森潮江		公表日	令和 7 年 6 月 9 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		適切なスペースで活動できる配慮を施しております。	今後も、適切なスペースで活動ができるよう努めてまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		配置基準人員に加え、専門の支援体制加算の人員を配置しています。また、こどもの状態に応じて配置できる人員も含めて十分な職員を確保しています。	今後も、適切な人員配置ができるように人材確保に努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		必要な視覚支援などの構造化された環境設定を行っています。また、快適に活動しやすいように設備にも配慮を施しています。	今後も、視覚や聴覚の過敏な特性のこどもにも情報伝達がスムーズにできる環境的配慮を施してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		活動がしやすいように、清潔で整理整頓の行き届いた空間づくりに努めています。	今後も、心地よく快適に過ごせる環境の提供に努めてまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別支援利用時や子どもの状態に応じ、適宜個別の部屋を提供しています。	今後も、必要に応じて個別の部屋や場所を使用できる環境を提供してまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		日々の打ち合わせや振り返り、職員会議も含め、多職種の職員が参画できるよう努めています。	今後も、より広く職員が参画しているよう努めてまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者さまからの評価表により意向を把握し、業務改善につなげています。	今後も、保護者さまからの評価から意向を把握し業務改善に努めてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		会議や日々の振り返りなどで意見やアイデア等を広く募り、業務の工夫や改善に活かしています。	今後も、職員の意見を把握できる場や機会を設けてまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価は定期的を実施予定です。	必要に応じ実施できるよう努めてまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内の事例検討会などの研修や、市内での開催の研修など職員の資質向上の機会を確保しています。	今後も、必要に応じ職員育成および資質向上のための機会確保に努めてまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページに支援プログラムを公表しています。	今後も、支援の内容や方向性に応じた支援プログラムの作成および公表を行ってまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		アセスメントを丁寧に行い、ニーズを客観的に分析して作成しています。	今後も、アセスメントや課題の分析等を丁寧かつ適切に行ってまいります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		多職種による職員が共通の理解のもとで検討を行い、作成に携わっています。	今後も、共通理解のもとでの作成ができるよう尽力してまいります。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画に応じた支援の実施を行っています。	今後も、全職員間で共有し支援に活かしていけるよう努めてまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		発達検査等を踏まえたアセスメントと、事業所ならではのアセスメントを組み合わせ確認を行っています。	今後も、様々なツールを駆使しアセスメントの質向上に努めてまいります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個々に必要な支援の項目を選定し、各項目に沿った具体的な内容を設定しています。	今後も、必要な項目の選定や具体的のある支援内容の設定を客観的かつ適切に行ってまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		多職種による活動プログラムの立案を行っています。	今後も、チームでのプログラム立案に努めてまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		固定化されず、かつ小さな変化を繰り返しながら抵抗なくプログラムに参加できるような工夫を施しています。	今後も、よりよい支援となるプログラムの立案を行ってまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個々の状況に応じた個別と集団を適宜組み合わせた計画及び支援を行っています。	今後も、個々の状況に応じ適時個別と集団を組み合わせた計画作成と支援を行ってまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		多職種で支援前の打ち合わせなどの連携を図っています。	今後も、口頭の打ち合わせやコミュニケーションノートも活用し、日々の職員間の連携が十分に行われるよう努めてまいります。

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後に、記録業務等を行いながらの気づきの共有を図っています。	今後も、その場にはない職員も含め気づきを共有できるよう努めてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援記録作成を徹底し、支援の改善につなげています。	今後も、よりよい支援記録となるように内容や記述法について改善を図ってまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリングと適切な見直しを行っています。	今後も、定期的なモニタリングと適切な見直しを行ってまいります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		個々の状況やアセスメント等を理解した者が参画できるように努めております。	今後も、適切な参加者が参画できるように努めてまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じ連携や支援が行える体制を整えています。	今後も、必要に応じ連携を図ることができる体制の確立を行ってまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行に向けた支援も含め、適時所属園との情報共有や相互理解を図っています。	今後も、よりスムーズな移行に向けての支援が行えるよう、所属園を含む機関との情報共有や相互理解に努めてまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じ、支援内容の情報提供や相互理解を図っています。	今後も、適宜情報提供や相互理解を図っていくよう体制を確立してまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		定期的な児童発達支援センターへの訓練見学等の連携を図り、必要に応じ助言を受ける機会を作っています。	今後も、必要に応じ助言を受ける体制を確立してまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		併設している保育園等との交流する機会を設けています。	今後も、併設している保育園を始めとした地域との交流の機会確保に努めてまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日ごろから保護者さまと話す機会を持ち、状況や課題についての共通理解を図っています。	今後も、より保護者さまとの情報伝達の機会を増やし、様々な点についての共通理解を図ってまいります。
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		現在、個々のご家族向けのペアトレの機会をつくっています。	今後も、個々のペアトレの機会と共にグループでのペアトレの開催も行い家族等の参加できる研修や情報提供等を行ってまいります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		丁寧な説明を行っています。	今後も、丁寧な説明を行ってまいります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		意思を尊重し意向を確認する機会を設けています。	今後も、引き続き意思を尊重し意向を確認する機会を設けてまいります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		計画を提示しながら説明を行い、同意を得ています。	今後も、計画を提示しながらの丁寧な説明と同意を得るように努めてまいります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的な面談や相談に応じる機会をつくり支援や助言を行っています。	今後も、定期的な面談や相談に応じる機会を持ち、保護者さまからの子育ての悩み等にお答えする体制を確立してまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者同士やきょうだいへの支援などの計画の周知をしています。	今後、保護者同士の交流や兄弟支援の機会を設けるよう努めてまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申し入れについての対応を整備し、相談や申し入れ時には迅速かつ適切な対応をしています。	内容によっては確認が必要な内容や連絡アプリへの連絡時間によっては翌日の対応になることもあるので、より迅速な対応に努めます。
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		SNSやホームページ等を活用し活動概要を発信しています。	今後も、活動概要等を中心に発信を行ってまいります。	
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		パソコンに含まれるデータや書面での個人情報も含め個人情報の取扱いには十分留意しています。	今後も、個人情報の取り扱いには十分留意してまいります。	

	43	障害のあることもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚的や聴覚的にわかりやすい配慮を施しています。	今後も、わかりやすい工夫を施せるよう努めてまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		併設する保育園との交流などを通し地域とのつながりを大切に事業運営を行っています。	今後も、地域に開かれた運営を様々な側面から検討してまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを策定し保護者や職員に周知し、定期的に訓練を行っています。	今後も、必要に応じ様々な事態に対応するためのマニュアルの更新を行い、それに即した訓練も実施してまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定し、訓練を行っています。	今後も、必要に応じ非常災害の発生に備えた計画の更新を行い、それに即した訓練も実施してまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメント時の確認や、状態変化時の確認などを必要に応じて行っています。	今後も、継続し状況確認に努めてまいります。
	48	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		医師の指示書に基づき、給食会社への対応指示などを行っています。	今後も、指示書に基づき適切に対応してまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、安全管理を徹底した環境での支援を行っています。	今後も、必要に応じて安全計画の更新を行い、それに即した安全管理を徹底してまいります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		連絡アプリや電話連絡を含めた家族等との連携手段を周知しています。	今後も、継続し家族等との連携がスムーズに行えるような手段の構築に努めてまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		全職員で共有し、再発防止に繋げています。	今後も、ヒヤリハットを事業所内で共有しやすい環境をつくり、再発防止に向けた方策についての検討を行っています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		職員への虐待防止の研修機会の提供を行っています。	今後も、継続して虐待を防止するための研修や周知を行っています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		やむを得ず身体拘束を行う際の取り決めを行い、必要に応じ計画に記載しています。	今後も、身体拘束の適正化についての取り決めについて検討し、適切に対応してまいります。

○事業所名	なごやかな森潮江		
○保護者評価実施期間	5/26/2025	～	6/7/2025
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	5/26/2025	～	6/7/2025
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○訪問先施設評価実施期間	5/26/2025	～	6/7/2025
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	6/7/2025		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人の保育と専門的な視点を組み合わせた支援の提供	保育経験のある法人だからその共感と尊重、そして専門的視点を組み合わせた支援の提供	より専門的な視点が充実するようにスキルアップを図っていくなどの工夫
2	専門職と保育士による多職種による支援の提供	専門職と保育士による多職種による多角的な視点による支援の提供	安定した人員配置ができるような人材確保
3	訪問先施設での課題を児童発達支援での課題に組み込んで支援に活かせる体制	訪問先施設での課題を児童発達支援での課題に組み込み、保護者や本人にとってより良い支援の提供の実施	訪問先施設や保護者との連携をより密に行い、支援内容の向上を図っていく体制整備

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	幅広い訪問先施設での支援の実施	ニーズのある家庭が幅広く支援を受けられるように関係機関との連携が必要	ニーズの把握を関係機関との連携とを強化
2	訪問先施設での支援のほか、訪問先施設での課題や支援の共有可能な場が限定的な場合がある	訪問先施設での支援のほか、家庭で支援を活かすことや児童発達での課題共有をすることで本人支援の汎化が期待されるが、児童発達の利用のない家庭での汎化可能な場が限定的な場合がある	保護者や訪問先との連携を密にし、支援の汎化ができる体制強化
3	保護者同士の交流やきょうだい支援の不足	保育所等訪問支援の始動より数カ月と日が浅く、利用人数も少なかったため実現していなかった	児童発達支援との共同で保護者の交流やきょうだい支援を企画し共有する

事業所名	なごやかな森湖江
------	----------

公表日 令和 7 年 6 月 9 日

利用児童数 令和 7 年 6 月 7 日

回収数 4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3	1				今後も、必要に応じて必要な教具教材を整えてまいります。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	4					今後も、プライバシーに配慮した面接室にて面談を行ってまいります。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	4					今後も、事業の目的を丁寧かつ適切に説明してまいります。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	4					今後も、保護者さまや訪問先と相談のうえで決定してまいります。
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	4					今後も、おさまの状態に応じた職員が支援にあたる体制を整えてまいります。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	4					今後も、おさまの特性等を理解した専門性のある支援の提供に努めてまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	4					今後も、ニーズや課題を分析した計画の作成に努めてまいります。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	4					今後も、訪問先の先生方の意向も組み入れた計画の作成に努めてまいります。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	4					今後も、ガイドラインの内容を踏まえた支援内容の設定に努めてまいります。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	4					今後も、計画に沿った支援の提供に努めてまいります。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	4					今後も、訪問先施設に配慮した支援の提供に努めてまいります。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					今後も、事前の丁寧な説明に努めてまいります。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					今後も、計画を提示しながらの丁寧な説明に努めてまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	3	1				今後も、個々の対応とはなりますがペアトレや必要な情報提供を行ってまいります。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができていていると思えますか。	4					今後も、共通理解が図れるよう努めてまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4					今後も、定期的に面談や助言を行ってまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	4					今後も、共感的な支援を行うよう努めてまいります。
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4					今後も、ご相談に迅速に対応できるように努めてまいります。
	19 こどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	4					今後も、意思疎通や情報伝達のための十分な配慮をしてまいります。
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思えますか。	4					今後も、訪問先施設からの相談に適切に応じ、必要な助言を行ってまいります。
	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思えますか。	4					今後も、訪問先施設からの相談に適切に応じ、必要な助言を行ってまいります。
22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思えますか。	4					今後も、保護者に対し丁寧かつ適切に共有してまいります。	
非常	23 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4					今後も、ホームページ等で自己評価を掲載してまいります。また、連絡アプリ等も活用し保護者さまへの発信も行なってまいります。

時 等 の 対 応	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					今後も、個人情報の取り扱いに関し十分に配慮してまいります。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	4					今後も、訪問先施設と連携し緊急時の対応について対応してまいります。
満 足 度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4					今後も、安全を確保する計画の周知及び、完全を十分に確保した上で支援に努めてまいります。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	4					今後も、訪問への抵抗軽減や楽しみにつながるような支援の提供に努めてまいります。
	28	事業所の支援に満足していますか。	4					今後も、支援に満足いただけるよう努めてまいります。

事業所名
なごやかな森潮江

公表日 令和 7 年 6 月 9 日

利用児童数 令和 7 年 6 月 7 日 回収数 3

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3				今後も、具体的かつ分かりやすいアドバイスに努めてまいります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3				今後も、満足していただけるよう努めてまいります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3				今後も、具体的かつ分かりやすいアドバイスに努めてまいります。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3				今後も、課題や困りごとの解消につながるよう努めてまいります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	3				今後も、満足いただける支援の提供に努めます。
其他のご意見					ご意見を踏まえた対応	

事業所名		なごやかな森湘江		公表日 令和 7 年 6 月 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環・ 運 営・ 体 制 整	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		必要に応じて教員教材を準備しています。	今後も、教員教材の見直しを適宜行ってまいります。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		必要な配置人員を満たして運営しています。	今後も、適切な人員配置ができるよう人材確保に努めます。
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		日々の打ち合わせや振り返り、職員会議も含め、多職種の職員が参画できるよう努めています。	今後も、より広く職員が参画していけるように努めてまいります。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者さまからの評価表により意向を把握し、業務改善につなげています。	今後も、保護者さまからの評価から意向を把握し業務改善に努めてまいります。
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		会議や日々の振り返りなどで意見やアイデア等を広く募り、業務の工夫や改善に活かしています。	今後も、職員の意見を把握できる場や機会を設けてまいります。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価は定期的に実施予定です。	必要に応じ実施できるよう努めてまいります。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内の事例検討会などの研修や、市内での開催の研修など職員の資質向上の機会を確保しています。	今後も、必要に応じ職員育成および資質向上のための機会確保に努めてまいります。
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		多職種による職員が共通の理解のもとで検討を行い、作成に携わっています。	今後も、アセスメントや課題の分析等を丁寧かつ適切に行ってまいります。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		多職種による職員が共通の理解のもとで検討を行い、作成に携わっています。	今後も、共通理解のもとでの作成ができるよう尽力してまいります。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		相談専門員を介すなど訪問先施設との連携を図ったうえで計画の作成を行っております。	今後も、訪問先施設との連携を図り意向を汲み取ったうえで計画作成を行ってまいります。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画に応じた支援の実施を行っております。	今後も、全職員間で共有し支援に活かしていけるよう努めてまいります。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		発達検査等を踏まえたアセスメントと、事業所ならではのアセスメントを組み合わせ確認を行っております。	今後も、様々なツールを駆使しアセスメントの質向上に努めてまいります。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインを踏まえ、具体的な支援内容を設定しています。	今後も、支援内容の設定を具体的かつ適切に行ってまいります。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画に応じた支援の実施を行っております。	今後も、全職員間で共有し支援に活かしていけるよう努めてまいります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		多職種で支援前の打ち合わせなどの連携を図っています。	今後も、口頭の打ち合わせやコミュニケーションノートも活用し、日々の職員間の連携が十分に行われるように努めてまいります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後に、記録業務等を行いながらの気づきの共有を図っています。	今後も、その場にはない職員も含め気づきを共有できるよう努めてまいります。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問先施設の理念や支援手法を伺い尊重しています。	今後も、訪問先施設の理念や支援手法を尊重して支援を行ってまいります。
関 係 機 関	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		日々の支援記録作成を徹底し、支援の改善につなげています。	今後も、よりよい支援記録となるように内容や記述法について改善を図ってまいります。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリングと適切な見直しを行っております。	今後も、定期的なモニタリングと適切な見直しを行ってまいります。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		個々の状況やアセスメント等を理解した者が参画できるよう努めております。	今後も、適切な参加者が参画できるよう努めてまいります。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じ連携や支援が行える体制を整えています。	今後も、必要に応じ連携を図ることができる体制の確立を行ってまいります。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じ、支援内容の情報提供や相互理解を図っております。	今後も、適宜情報提供や相互理解を図っていけるよう体制を確立してまいります。

関 や 保 護 者 と の 連 携	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		定期的に児童発達支援センターへの訓練見学等の連携を図り、必要に応じ助言を受ける機会を作っています。	今後も、必要に応じ助言を受ける体制を確立してまいります。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		○	現在のところ、参加する機会がありません。	今後も、機会があれば積極的に参加してまいります。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日ごろから保護者さまと話す機会を持ち、状況や課題についての共通理解を図っています。	今後も、より保護者さまとの情報伝達の機会を増やし、様々な点についての共通理解を図ってまいります。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		現在、個々のご家族向けのペアトレの機会をつくっています。	今後も、個々のペアトレの機会と共にグループでのペアトレの開催も行い家族等の参加できる研修や情報提供等を行ってまいります。
保 護 者 等 へ の 説 明 等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		丁寧な説明を行っています。	今後も、丁寧な説明を行ってまいります。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		事業の趣旨や訪問支援の目的について適切に説明を行っております。	今後も、事業の趣旨や訪問支援の目的について適切に説明を行ってまいります。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		意思を尊重し意向を確認する機会を設けています。	今後も、引き続き意思を尊重し意向を確認する機会を設けてまいります。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		計画を提示しながら説明を行い、同意を得ています。	今後も、計画を提示しながらの丁寧な説明と同意を得るように努めてまいります。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		相談に適切に応じ必要な助言や支援を行っています。	今後も、相談に適切に応じ必要な助言や支援を行ってまいります。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者同士やきょうだいの支援などの計画の周知をしています。	今後、保護者同士の交流や兄弟支援の機会を設けるよう努めてまいります。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申し入れについての対応を整備し、相談や申し入れ時には迅速かつ適切な対応をしています。	内容によっては確認が必要な内容や連絡アプリへの連絡時間によっては翌日の対応になることもあるので、より迅速な対応に努めます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		SNSやホームページ等を活用し活動概要を発信しています。	今後も、活動概要等を中心に発信を行ってまいります。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		パソコンに含まれるデータや書面での個人情報も含め個人情報の取り扱いには十分留意しています。	今後も、個人情報の取り扱いには十分留意してまいります。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚的や聴覚的にわかりやすい配慮を施しています。	今後も、分かりやすい工夫を施せるよう努めてまいります。
訪 問 先 施 設 へ の 説 明 等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問先からの相談等に適切に応じています。	今後も、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整えてまいります。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		訪問先施設とのカンファレンスを行っています。	今後も、訪問先施設とのカンファレンスを適切に行ってまいります。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		支援内容等の共有を図っています。	今後も、支援内容等の共有を適切に行ってまいります。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		パソコンに含まれるデータや書面での個人情報も含め個人情報の取り扱いには十分留意しています。	今後も、個人情報の取り扱いには十分留意してまいります。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		信頼関係を気づけるように努め、専門的な助言を行っています。	今後も、より信頼関係の構築ができるように努め、相談への専門的な助言ができるよう尽力してまいります。
非 常 時 等 の 対 応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを策定し保護者や職員に周知し、定期的に訓練を行っています。	今後も、必要に応じ様々な事態に対応するためのマニュアルの更新を行い、それに即した訓練も実施してまいります。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、安全管理を徹底した環境での支援を行っています。	今後も、必要に応じて安全計画の更新を行い、それに即した安全管理を徹底してまいります。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		全職員で共有し、再発防止に繋げています。	今後も、ヒヤリハットを事業所内で共有しやすい環境をつくり、再発防止に向けた方策についての検討を行ってまいります。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		職員への虐待防止の研修機会の提供を行っています。	今後も、継続して虐待を防止するための研修や周知を行ってまいります。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		やむを得ず身体拘束を行う際の取り決めを行い、必要に応じ計画に記載しています。	今後も、身体拘束の適正化についての取り決めについて検討し、適切に対応してまいります。

公表

事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	社会福祉法人森友会 なごやかな森長浜		
○保護者評価実施期間	令和8年2月17日 ~ 令和7年3月2日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日 ~ 令和8年2月16日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月30日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・法人内のこども園等からの通所児童が多く、こども園等の保育士との情報共有が図りやすく、日常での保育と療育活動の連携による支援が充実している。	・保護者に対して、保育及び療育の観点で児童に対する発達に関する情報共有を行っている。また、通所する児童のこども園等の保育士等に保護者とともに「なごやかカフェ」に参加してもらい、こども園等での児童の課題や困り等について、支援のあり方や環境調整など情報共有を行っています。	・法人内のこども園等の保育士等に対し、困りのある児童に対する専門職から支援のあり方などの研修に取り組む
2	・5年以上の児童指導員及び保育士や理学療法士(PT)作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)の多職種を配置し、個別支援の充実を図っている。	・保育士会議とPTOTST会議を専門分野別に会議を実施し、毎週の活動カリキュラムに反映させ、小集団活動や個別支援の充実を図っている。	・法人内や系列の児童発達支援事業所との合同研修会や事例検討会などに取り組む。
3	・通所児童に対する活動状況を毎週、個別に写真付きで保護者にアプリ配信している。	・活動内容や児童の様子や表情等を中心とした写真撮影を心がけている。	・保護者に配信する個別の写真については、活動内容の目的や効果、課題とその時の児童の様子や表情等について、もっと詳しく専門職からの説明等ができるよう努めたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族支援について、ご家庭でできる支援のあり方など、専門職からのアドバイスや助言が不足している。	・インフォーマルアセスメントの取り組み方	・保護者との信頼関係を築き、日常生活での家庭での困りなどアプリ等を活用して、家庭内での情報の共有を図る。
2	・同じ悩みを持つ保護者間の交流については、保護者間の理解や意思相違があるため交流とまでは支援ができていない	・個人情報保護の観点から、消極的である。	・本年度から「なごやかカフェ」を開催した。今後も保護者様に対して専門職からアドバイスの研修会や家庭での困りごと相談や保護者間の交流の機会を提供する予定。
3	・事業所の非常時の対応について、保護者の理解が進んでいない。	・保護者とのサービス利用契約時に説明しているが、情報提供が不足している。	・非常時の各種マニュアルについて、毎年度安全計画に基づき、アプリ配信とペーパーで配布する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果(児童発達支援)

事業所名 社会福祉法人森友会 なごやかな森長浜

公表日 令和 8年 4月 1日

利用児童数 12名

回収数 11名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11						
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11				・ちょうどよいです。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9				2	・ちょうどよいです。 ・特に問題ない。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11					・とてもきれいです。	・適宜、清掃と消毒に努めています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11				・子供が先生に懐いている。		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10			1		・特性に応じた支援プログラムに努めてまいります。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11						
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10				1		・わかりやすい支援計画を作成できるよう努めてまいります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11						・お子さんが毎回楽しく通所できるよう、活動プログラムを工夫してまいります。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11						
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11						
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10				1		・支援計画については、わかりやすく説明できるよう努めてまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11						・継続して「なごやかカフェ」を開催しペアトレ等のお話を行う予定です。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11						・継続して、アプリ等を活用して共通理解が図れるよう努めます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11					・本を通して、育児を見直しました。	・子育てで困りなどあれば、いつでもご相談ください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11						
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9			1	1	・まだ、そこまで参加できていないと思う。	・本年度「なごやかカフェ」を開催し、保護者交流や家族への支援について、機会を提供しました。次回参加できるよう、あり方について、検討して参ります。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11					・都度、臨機応変に対応してくれていると思う。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11				・都度、臨機応変に対応してくれていると思う。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10			1	・先生は◎だが、アプリは××とてもダメ。動きが遅くUIもUXも悪い。 ※UIは操作性、UXは体験後の感情等	・活動概要については、毎回の連絡帳や週1回、写真等をアプリで個別に配信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8			3		・各マニュアルについては、玄関ホールに設置するとともに、年度当初アプリ等でお知らせします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	1		3	・通所がなかなかできていないので、すみません。	・2か月に1回をベースに避難訓練等を実施しています。アプリや連絡帳でお知らせいたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10			1		・通所開始の際「通所のおしり」をお渡ししています。再度ご確認ください、わからないことなどお問い合わせ下さい。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10			1	・最近少しぐずりでした。	・大切なお意見ありがとうございます。個別に活動内容や環境調整等を検討いたします。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10			1	・毎日すごく楽しみにしています。 ・最近少しぐずりでした。	・お子さんが毎回楽しく通所できるよう、活動プログラムを工夫し、笑顔あふれる環境を提供してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11				・大変満足しています。 ・子供の行動に悩んでいた時、個別に丁寧に対応していただき助かりました。 ・母親目線では、とても安心感もあり発達もよくなってきていると思う。	

公表

事業所における自己評価結果(児童発達支援)

事業所名		社会福祉法人森友会 なごやかな森長浜		公表日		令和 8年 4月 1日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・机上の活動と運動の活動とその日の活動によって、自由遊びで発散したり、気持ちを整えたりする環境設定ができる。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		・職員配置基準より加配している。また、機能訓練スタッフも配置しています。	・福祉人材の確保に努めます。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		・通所する子どもに合わせて教員の出し方や配置の変更などを行っています。また、絵カードやチャイム等を使い周知している。	・子どもに対応した環境調整に努めます。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		・サービス提供の前後、清掃と消毒を徹底しています。	・日々の安全点検に努めます。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		・静養室は、子どもが気持ちを落ち着かせる場所として使用している。	・適宜、適切な環境の提供に努めます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・週案会議、保育士会議、PTOTST会議になるべく多くの職員が会議に参加し、多職種で検討・確認できるようにしています。	・全職員が参画できるよう努めます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者評価を尊重し、個別については、モニタリングや担当者会議を利用し、全体的には連絡アプリを利用し業務改善の報告に努めています。	・できること、できないことをはっきり伝え業務改善に取り組みます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・週案会議、保育士会議、PTOTST会議や職員会議により意見を聴いており、職員評価時も個別に意見聴取しています。	・継続して意見聴取により業務改善に取り組みます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者の外部評価は、法人として3年に1回実施することとしています。	・令和9年度に実施を予定しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・法人の主催する新任職員研修や、外部研修及びOJTにより研修機会を確保しています。	・職員体制の関係上、機会均等となるよう努めます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・令和7年3月1日公表	・特になし。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・11領域77項目のアセスメント表により適切に作成しています。	・日々の支援とアセスメント結果の連動を強化していきます。 ・個別支援の時間の確保。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・多職種による検討を行っています。	・検討内容が多職種で共有できるよう努めています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・支援計画をベースとした週案により、支援を実施しています。	・継続して、統一した支援に努め、評価の質を高めていきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・医療機関で検査された内容や保護者等の日常生活の聴き取りにより、支援記録において確認しています。	・アセスメントの質が向上するよう努めます。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・本人支援は5領域について検討された支援内容を、具体的に支援計画で反映させています。 ・家族支援が必要な家庭へのニーズについては対応を職員間で相談対応している。	・視野を拡げた5領域の支援内容ができるよう努めます。 ・支援内容の具体性をさらに高めていきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・保育士会議やPTOTST会議の検討により、毎週立案しています。	・チームワークの質を高めてまいります。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・保育士会議やPTOTST会議の検討により、子どもに合った多彩な活動を工夫しています。また、情報収集を随時行っています。	・活動プログラムが固定化しないよう、新しい活動内容を多様化し活動を増やしていきます。	

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・ 個別の課題やニーズによりアセスメントされた個別支援計画を作成し、支援を行っています。また、臨機応変に対応しています。	・ 個別活動と小集団活動を適宜、適切に組み合わせることができるよう配慮します。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・ 毎日の朝礼時、欠席や活動変更などすり合わせを行い、チームとして対応しています。	・ チームワークを大切に連携を深めます。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・ 職員間で振り返りを行い、重要なことは共有ノートに記入し、チームで共有しています。	・ チーム内で気付きを大切にします。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・ フォーマットされた適切な個別支援記録により、支援の検証、改善につなげています。	・ 個別支援記録のあり方について、児発管を中心として研鑽に努めます。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・ 適宜、見直しを行っています。	・ 適切な見直しに努めます。
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・ 適切な関係者の参画を促し、参加できる環境を提供しています。	・ 適切な会議が開催できるよう関係者が参画できるよう努めます。
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・ 医療機関のリハ担当者や保育所等の保育士等との情報共有が適時できる体制をとっています。	・ 適宜、対応できるよう体制を整えられるよう努めます。
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・ 相談支援専門員を通して、就学後の放課後デイサービス利用がスムーズに行われるよう情報共有を行っている。	・ こども園等との適切な情報共有と相互理解が図られるよう適宜、会議等を開催します。
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・ 就学を見据え関係機関と連携しています。	・ 小学校等との適切な関係性を築けるよう努めます。
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・ 特に専門職のリハ関係では、訪問により助言を受けています。	・ 積極的な連携が図れるよう体制を整えています。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・ 現在は、活動機会がありません。	・ 今のところ機会はないが、法人内のこども園等との交流の機会を作りたいと思います。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・ 適時、アプリ、LINE、電話で情報共有できる体制を整えています。	・ 継続して共通共有と理解に努めます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・ 令和8年1月に「なごやカフェ」を実施し、情報提供や困りの相談のニーズを把握しました。	・ 今後も定期的に「なごやカフェ」を開催してまいります。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・ 利用契約時、説明しています。	・ 継続して、丁寧な説明に努めます。
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・ アセスメント時、ニーズの聴き取りを行い、担当者会議時、再度確認しています。	・ 意向確認については、継続して適切な機会の提供に努めます。
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・ 説明し、同意を得ています。	・ 継続して、丁寧な説明に努めます。
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・ 適時、いつでも相談に応じる体制を整えています。	・ 適切に相談に応じられる体制づくりに努めます。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・令和8年1月に「なごやカフェ」を開催し、保護者の交流の機会を提供しました。次回は、保護者アンケートによりニーズを反映させて行きます。	・今後の継続して「なごやカフェ」を開催することとし、保護者の交流の機会を提供していく予定です。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・適時、アプリ、LINE、電話で相談に応じる体制を整えています。	・適切に相談に応じられる体制づくりに努めます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・連絡アプリを活用し、毎週実施しています。	・継続して定期的な情報発信に努めます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・契約締結時、個人情報保護に関する同意書を徴収し、個別に十分配慮しています。	・法人規程に沿って、適切に留意します。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・個別に配慮して情報伝達しています。 ・絵カードなどを活用し、配慮しています。	・説明内容にばらつきが出ないよう統一を図ります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・第三者委員に地区の自治会長を招聘しています。	・地域住民の皆様と適切な関係作りができるよう情報発信に努めます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・訓練計画に基づき、系列子ども園の看護師による研修から職員への周知を図っています。	・定期的な見直しを行っていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・訓練計画に基づき、訓練を実施しています。	・継続して、非常時の訓練に努めます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・アセスメント時、確認しています。	・継続して、適切に確認します。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・アセスメント時などを利用して、保護者から聴き取りを行い、把握した後は目に見える形にし、間違いを防いでいます。 ・おやつ提供時にアレルギーのある子どもの側に必ず職員が付くようにしている。	・継続して、適切に確認します。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を策定し、安全管理を徹底するとともに研修で研鑽しています。	安全計画を随時、見直しを行います。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・連絡アプリやブログを活用しを活用し、周知しています。	・継続して、安全計画を連絡アプリで配信します。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットなど様式を作成し取り組んでおり、職員会議や現場等で検討を行い、全職員に周知しています。	・再発防止策の検討を強化します。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・施設内及び外部研修に参加し、全職員に周知するとともに2カ月毎に虐待防止チェックを実施しています。	・継続して研鑽に努めます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・現在、やむを得ず身体拘束を必要とする児童はいませんが、適正化委員会で検討してまいります。	・身体拘束の適正化について、研修及び適正化に努めます。	

公表

事業所における自己評価総括表(保育所等訪問支援)

○事業所名	社会福祉法人森友会 なごやかな森長浜		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 17日		～ 令和 8年 3月 2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 2日		～ 令和 8年 2月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○訪問先施設評価実施期間	令和 8年 2月 17日		～ 令和 8年 3月 2日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3件	(回答数) 2件
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・訪問先では、法人内のこども園等が多く、保育士等との情報共有が図りやすく、訪問先での支援が充実している。また、系列法人で法人本部及びこどもの園長と児童発達支援管理責任者が一同に会し、連携推進会議を定期に開催している。	・訪問先での日頃の児童の様子や保育士からの日常保育の様子を聴取したり、保育での困りや課題、環境調整の方法などカンファレンスを行っている。結果については、訪問支援の内容を記録しアプリを利用して保護者と情報を共有している。	・今後さらに法人外の訪問先のこども園等と信頼関係を築けるよう、訪問する職員はこども園等の園児に対する困り等を把握するなどして保育に対する支援など情報提供等を積極的に努めてまいります。
2	・訪問先での保育に対する困りなどを事業所に持ち帰り、専門職に意見を聴いたりして、今後の訪問支援に役立てている。	・児童発達支援の職員に訪問支援内容を会議で検討し結果により、通所利用時に反映した支援に繋がっている。	・法人内や系列の訪問支援職員との合同研修や事例検討などに取り組む。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・法人外の訪問先施設の訪問の機会が限られる。	・保育所等訪問支援の内容の理解及び訪問先施設との信頼関係の構築が必要。	・本年度から「なごやかカフェ」を開催し、訪問先施設の職員にご案内するなどして、3名の参加があり、当事業所の理解を深めることができました。今後も開催しながら、保育所等訪問支援も併せて理解を深めていきます。
2	・家族支援について、ご家庭でできる支援のあり方など、専門職からのアドバイスや助言が不足している。	・機会の提供など不足している。	・本年度の「なごやかカフェ」を開催したアンケート結果により、今後のあり方について検討し、さらに保護者に対する家族支援が深まるよう、今後も「なごやかカフェ」を実施していきます。
3	・同じ悩みを持つ保護者間の交流などの支援ができていない	・個人情報保護の観点から、消極的である。	・本年度から「なごやかカフェ」を開催し、保護者間の交流の機会を提供することができた。今後も開催しながら保護者間の交流を深めていきます。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果(保育所等訪問支援)

事業所名 社会福祉法人森友会 なごやかな森長浜

公表日 令和 8年 4月 1日

利用児童数 12名

回収数 11名

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。	8			3		・必要に応じ、提供できるよう準備しています。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	11					・引き続きプライバシーの配慮に努めます。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	11					・引き続き、定年に説明できるよう努めます。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	8			3	・利用契約時、説明を受けました。	・訪問先と適切な訪問日時を設定し、保護者にお伝えしています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	10			1	・詳しい専門的なことはわからない。	・引き続き人材確保に努めます。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11					・引き続き、専門的な視点での支援に努めます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11					・引き続き、専門的な視点による分析した支援計画の策定に努めます。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	9	1		1		・引き続き、訪問先施設と連携に努めます。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10			1	・利用契約時、説明を受けました。	・引き続き、専門的な視点による分析した支援計画の策定に努めます。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9			2		・引き続き、丁寧に説明して参ります。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	9			2		・継続して、訪問先施設に配慮した支援に努めます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11					・引き続き、丁寧に説明して参ります。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11					・引き続き、丁寧に説明して参ります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	11				・勉強になった。	・引き続き、第2回「なごやかカフェ」の開催を予定しています。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	11				・面談、アプリ、LINEで共有できています。	・継続して、アプリ等を活用して共通理解が図れるよう努めます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10			1	・定期的に面談があり、様子を聞けるしありがたいです。	・継続して、適宜、面談等を実施してまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11				・とても思います。	・共感する支援を目指してまいります。
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11				・わかりやすく説明してくれます。	・引き続き、適宜、適切に対応して参ります。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11					・継続して、アプリ等を活用して情報伝達できるよう努めます。
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	10			1	・就学相談について、保育園と連携して話し合ってくれました。	・情報を共有して必要な支援と助言に努めます。	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	10			1	・訪問先施設の都合が大きいが、もう少し踏み込んだ支援につながるよう関係づくりを強化してほしい。	・訪問先施設との信頼関係づくりに努めます。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	10			1		・継続して、アプリ等を活用して情報伝達できるよう努めます。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9			2		・継続して、アプリ等を活用して情報伝達できるよう努めます。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11					・法人にて「情報セキュリティ規程」を策定いたしました。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	10			1		・引き続き、訪問先施設とは信頼関係を築き連携して参ります。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			1		・安全対策に万全を期します。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	10			1	・楽しみにしています。	・継続して、訪問支援員との信頼関係を築いていきます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	10	1			・気にかけていただいて感謝しています。 ・運動会を見に来てくれて、とても喜んでいました。	・引き続き、訪問支援により、お子さんの笑顔があふれるような環境を提供してまいります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和 8年 4月 1日

社会福祉法人森友会 なごやかな森長浜

利用児童数 12名

回収数 2件

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1	1		・丁寧に対応していただいているが、もう少し困りに対しての具体的な遊びの提案や関わり方の助言をいただけると助かります。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1	1			
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	1	1		・園の様子を共有するだけでなく、保育の様子、職員の関わり方を見て「あの時はもっとこういう配慮した方がいい」等アドバイスやご意見をいただきたいです。 ・すぐに結果として表れることではない為、今後も意見交換を行いながら勧めていければと思っています。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。		2			
5	事業所からの支援に満足していますか。	1	1			
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>・行事等にも参加、サポートしていただき大変助かりました。</p> <p>これからも連携を図りながら、なごやかな森に通所している子どもたちの支援を行っていただけたらと思います。よろしくお願いたします。</p> <p>・温かく丁寧なご支援ありがとうございます。</p> <p>保護者の皆様同様に私たち職員も毎月の訪問、送迎時の丁寧な伝達を通して、子どもたちの様子や成長がうかがえ、一人一人の発達をしっかりと把握し、職員間で連携をとってかかわってくださっていることに感謝しております。今後とも、家庭・なごやかな森・ゆめの泉と3本柱で、子どもたちにとって細やかな支援ができればと思っていますのでよろしくお願いたします。</p>					<p>・貴重なご意見誠にありがとうございました。感謝申し上げます。</p> <p>・なごやかな森長浜では、小集団(2~5名)による活動により、①お子さんたち相互の関わりを通して、コミュニケーションのとり方を学び②一緒に協力して物事に取り組む経験を積み③自分の思いを伝えたり、相手の思いに耳を傾け④就学に向けたステップアップをするため、保育士や専門職、訪問支援員を含め支援しております。お子さんにとって、このような小集団活動とこども園等の日常生活での課題等が訪問支援員とのカンファレンスにより情報共有され、こども園等における具体的支援方法や助言などお伝えしながら、お子さんたちが安心して成長していけるよう引き続き努力してまいります。</p>	

公表

事業所における自己評価結果(保育所等訪問支援)

事業所名 社会福祉法人森友会 なごやかな森長浜

公表日 令和 8 年 4 月 1 日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備・運営	1 訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		・同法人内では、教員教材の情報共有を行っている。	・個別の対応があれば教員教材を整えていきます。
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・現在は、適切である。	・訪問支援員の増員と質の向上に努めます。
業務改善	3 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・週案会議、保育士会議、PTOTST会議や職員会議を実施し、多職種で参画しています。	・全職員が参画できるよう努めます。
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者評価を尊重し、個別については、モニタリングや担当者会議を利用し、全体的には連絡アプリを利用し業務改善の報告に努めています。	・できること、できないことをはっきり伝え業務改善に取り組みます。
	5 従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・週案会議、保育士会議、PTOTST会議や職員会議により意見を聴いており、職員評価時にも個別に意見聴取しています。	・継続的な改善につなげる仕組み作りに取り組みます。
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者の外部評価は、法人として3年に1回実施することとしています。	・令和9年度に実施を予定しています。
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・法人の主催する新任職員研修や、外部研修及びOJTにより研修機会を確保しています。	・職員体制の関係上、機会均等となるよう努めます。
適切な支援の提供	8 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・アセスメント時、ニーズ等を把握し、支援計画に適切に反映できるよう努めています。	・客観的視点のさらなる充実を図っていきます。個別支援の時間の確保。
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・職員間で共通理解を図り、多職種による検討を行っています。	・検討内容が多職種で共有できるよう努めています。
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		・担当者会議にて、多職種協働による検討を行い、訪問先の意見を聴取しています。	・継続して、適宜、訪問先に参画してもらいます。 ・連携内容の記録整理に努めます。
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・支援計画をベースとした週案により、支援を実施しています。	・継続して、連携した統一支援に努めます。 ・状況に応じて確認の頻度を調整し、必要なタイミングで支援内容の見直しに努めます。
	12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・医療機関で検査された内容や保護者等の日常生活の聴き取りにより、支援記録において確認しています。	・アセスメントの質が向上するよう努めます。
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・ガイドラインに沿った支援内容を、具体的に支援計画で反映させています。	・ガイドラインの具体的な支援内容に沿った支援に努めます。
	14 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎日の朝礼時、欠席や活動変更などすり合わせを行い、チームとして対応しています。	・チームワークを大切にして連携を深めます。
	15 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・個別支援記録により、チームで共有しています。	・訪問支援記録を回覧し情報共有を行いチーム内で気付きを大切にします。
	16 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		・訪問先の理念等に配慮し、支援している。	・訪問先施設との信頼関係を築いていきます。
	17 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		・フォーマットされた適切な個別支援記録により、支援の検証、改善につなげています。	・個別支援記録のあり方について、児発管を中心として研鑽に努めます。
18 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・訪問支援後、訪問先こども園の保育士等とカンファレンスを必ず行い、適切な見直しを随時行っている。	・引き続き、カンファレンスを行いながら適切な見直しに努めます。	
19 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・適切な関係者の参画を促し、参加できる環境を提供しています。	・適切な会議が開催できるよう関係者が参画できるよう努めます。	

関係機関や保護者との連携	20	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・医療機関のリハ担当者や保育所等の保育士等との情報共有が適時できる体制をとっています。	・適宜、対応できるよう体制を整えられるよう努めます。
	21	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・就学を見据え関係機関と連携しています。	・小学校等との適切な関係性を築けるよう努めます。
	22	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・外部研修に積極的に参加しています。	・研修等による自己研鑽に努めます。
	23	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		○	・参加要請がありません。	・要請があれば、積極的に参加します。
	24	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・連絡アプリやLINEなどを活用し、共通理解を図っています。	・継続して共通理解に努めます。
	25	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・令和8年1月に「なごやかカフェ」を開催し、専門職の研修や講演を実施しました。	・今後も定期的な「なごやかカフェ」を実施していきます。
保護者等への説明等	26	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・利用契約時、説明しています。	・継続して、丁寧な説明に努めます。
	27	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		・訪問先施設には、理解協力が得られるよう丁寧に説明しています。	・継続して、理解協力が得られるよう努めます。
	28	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・アセスメント時、ニーズの聴き取りを行い、担当者会議時、再度確認しています。	・意向確認については、継続して適切な機会の提供に努めます。
	29	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		・説明し、同意を得ています。	・継続して、丁寧な説明に努めます。
	30	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		・適時、いつでも相談に応じる体制を整えています。	・適切に相談に応じられる体制づくりに努めます。
	31	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・令和8年1月に「なごやかカフェ」を開催し、保護者の交流の機会を提供しました。	・今後も定期的な「なごやかカフェ」を実施していきます。
	32	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・適時、相談に応じる体制を整えています。	・適切に相談に応じられる体制づくりに努めます。
	33	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・連絡アプリを活用し、毎週実施しています。	・継続して定期的な情報発信に努めます。
34	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・契約締結時、個人情報保護に関する同意書を徴収し、個別に十分配慮しています。	・法人規程に沿って、適切に留意します。	
35	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・利用者一人ひとりの状況に合わせ、個別に配慮した対応を行っている。	・配慮が必要な事項を常に更新し、きめ細やかな対応の維持に努めます。	
訪問先施設への説明等	36	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		・即時、対応できるよう児発管と共に体制を整えています。	・より迅速で適切に相談に応じられる体制づくりに努めます。
	37	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		・適宜、会議等を行っています。	・毎回20～30分程度カンファレンスの時間を作ってもらって、情報共有し記録しています。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		・連絡アプリを活用し、保護者に支援内容を毎回かかさず報告しています。	・アプリの利便性を活かしつつ、保護者の反応や要望をより汲み取る工夫に努めます。
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・契約締結時、個人情報保護に関する同意書を徴収し、個別に十分配慮しています。	・今後も職員間で確認をおこない、意識の統一を図っていきます。
	40	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		・担当者会議等に参加していただき、信頼関係を築くとともに助言等を行っている。	・継続して、担当者会議など参画を促します。

非常時等の対応	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・備え付けのマニュアルを閲覧できるようにしており、想定訓練も実施しています。	・訓練内容を定期的に見直し、より実践的な想定でのシミュレーションを行います。
	42	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を策定し、安全管理を徹底しています。	・適宜、安全計画の見直しをいたします。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事故報告やヒヤリハット事例を事業所内で共有し、再発防止に向けた検討を重ねています。	・毎月、安全点検に取り組みたいと思っています。
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・施設内及び外部研修に参加し、全職員に周知するとともに2カ月毎に虐待防止チェックを実施しています。	・定期的なチェックを継続し、職員の意識を常に高く保つ体制の継続に努めます。
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・現在、やむを得ず身体拘束を必要とする児童はいませんが、適正化委員会で検討してまいります。	・身体拘束の適正化について、研修及び適正化に努めます。

○事業所名	なごやかな森園田		
○保護者評価実施期間	2026年 3月10 日		～ 2026年 4月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2026年 3月 10日		～ 2026年4 月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月10 日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語訓練士が常駐しており、言葉の発達に課題があるお子様への療育を手厚く提供していること。	言語訓練士とお子様とのマンツーマンでの訓練を定期的提供していること。	言語訓練を行うプログラムを更に、個別の特性や発達段階に合わせて提供できるように、プログラム開発を行う。
2	小集団でのプログラムを提供している。	通常、最大でも5人から6人のお子様に対して、職員が3人から4人でプログラム提供しており、きめ細やかなサービスを実施出来ている。	現在の提供しているプログラムより、更に個別の特性や発達段階に合わせて提供できるように、プログラム開発を行う。
3	お子様自身の自律を大切にしている。	遊びの内容を自分自身で選択できるように環境設定を行っており、食事の際にも、量やおかずの大きさ等を自分で決定する事を大切にしている。	お子様自身で行動を選択する能力に加えて、自分の気持ちや考えを人に伝える力をつけるためのSSTを提供していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	言語訓練をマンツーマンで提供する際の、プログラムの根拠になる評価基準が確定していない。	発達検査や知能検査等を取り入れることが出来ていないこと。	評価基準になりえる検査等の導入が必要だと思われる。
2	事業所の開所から期間が短く、チームとしての連携に課題が部分的にみられる。	職員一人一人の役割を明確に出来ていない部分がある。	役割を見える化して、職員一人一人が役割をスムーズに行えるようする。
3	小集団の活動とマンツーマンの活動の連携に工夫が必要なこと。	言語訓練士の提供している専門的な取り組みの良さを、小集団のプログラムの中でも生かすためのアイデアをまとめる途上にある事。	プログラム開発のための、職員間のミーティング時間をしっかりと確保する

事業所名	なごやかな森園田
------	----------

公表日 2026 年 4 月 30 日

利用児童数 2026 年 4 月 10 日 回収数 6

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6						
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	3	1		2	支援員さんがコロコロ変わるので、少し不安。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6						
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こどもの活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6						
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6						
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4			2			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6						
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6						
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5				1		
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4			1	わかばの森の子たちとも関わる機会もあり、いろいろな関わりができていて満足	保育園や幼稚園との連携を継続して、色々な関わりが出来るように工夫していきます。	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6						
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2			2			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4				1	モニタリング面談で支援に対する評価や新たな課題について助言を頂けた。	定期的に保護者との面談を行い、子育てに対する不安を軽減していきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6						
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			1	3	2		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4				2		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5			1		先生方の入退職の頻度が多く、新しく着任された先生のお名前とお顔が一致しづらい状況ですので、その都度ご周知いただけますと幸いです。	新しい職員情報を配布して、保護者周知に努めます。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5			1			
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5							
23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2			3				

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4		1		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5				
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	5				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	5			利用日が増え、なごやかに行ける日は朝から楽しみをしています。	引き続き、安心・安全で楽しい環境作りを継続します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	5			いつも詳しく内容を連絡頂ける上に、写真も添えて下さり、様子が良く分かり嬉しいです。	支援内容を詳しくお伝えできるように、更に工夫をしていきます。

事業所名		なごやかな森園田				公表日	2026 年 4月 30 日	
環境・体制整備	チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		小集団での活動を提供している。利用定員とスペースは適切であると思われる。	現在の環境を維持し、利用者が安心・安全に活動できるように配慮する。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	職員の配置数が適切になるように、同じ法人内での職員の移動で工夫している。	現在よりも職員数を増やし、子どもの状態に合わせて支援できるようにする。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		生活空間には、刺激になる物をなるべく置かないようにし、タイムスケジュールの見える化を行っている。	現在の環境が維持できるように、適宜チェックをする。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日の清掃により清潔で心地よく過ごせる環境になっている。	毎日の清掃を継続し、適宜チェックをする。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	子どもの自分の決定で、居場所を選択することが出来ている。	個別でクールダウンできる環境を設定する。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	3	業務改善のためのミーティングの時間が物理的に少なかった	定期的なミーティングを開催して、PDCAサイクルを達成する。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	開所して初めて、保護者様より評価を頂いた。	保護者様より頂いた評価表をもとに、業務改善につなげる。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員からの情報共有の時間は設けているが、物理的に時間を増やした方がよいと思われる。	定期的なミーティングを開催して、職員からの意見が出やすい環境を作る		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		支援プログラムの作成と、公表をしている。	支援プログラムの内容を向上させながら、継続して公表していく。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		アセスメントを行い、保護者のニーズや課題を分析し、児童発達支援計画を作成している。	アセスメントの精度を上げて、保護者ニーズや課題の発見を進める。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		子どもの支援に関わる職員の共通理解を進めている。	職員の共通理解が進むように、情報共有の機会を増やす		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われている。	職員の共通理解が進むように、情報共有の機会を増やす		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		日々の記録を通して、こどもの適応行動の状況を確認している。	職員同士のコミュニケーションを通して、子どもの様子を観察する機会を設けていく。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		子どもの支援に必要な項目を設定し、具体的な支援内容を設定している。	子どもの支援内容を適宜、アセスメントして支援内容を向上させていく。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	職員の移動等でチームでのプログラム立案が難しい時期があった。	チームで行う会議を定期的を設定し、活動プログラムを設定する。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		子どもたちの特性や発達年齢に応じて、プログラムを固定化しないようにしている。	子どもたちの特性や発達年齢に応じて、多様なプログラムを提供できるようにする。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		子どもの状況に合わせて、個別活動と集団活動に必要な計画書を作成し、支援を行っている。	継続して、個別活動と集団活動に必要な計画書を作成し、支援を継続する。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		支援開始前に打ち合わせを行い、プログラム内容の確認を行っている。	継続して、支援開始前の打ち合わせを行う。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	支援終了後に支援の振り返りを行っているが、時間的に実施できない事もあった。	情報共有のツールを利用して、振り返りが行えるように工夫をする。		

関係機関や保護者との連携	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	日々の支援を記録している。支援の検証・改善につなげている。	継続して日々の記録をとることを徹底していく。
	23	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		モニタリングを定期的に行い、児童発達支援計画の見直しを行っている。	モニタリングを定期的に行うように、管理をしっかりとする。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		関係機関との情報共有では、子どもの状況をよく理解した者が参画している。	子どもの状況を理解を職員間ですすめていく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		1	関係機関との連携はあまり取れていない。	必要に応じて、関係機関との連携体制を整えていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		保育所と必要な情報共有を行っている。	継続して、保育所等と情報共有を行い、相互理解を図る
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	就学前には、保育所に情報共有をすることで相互理解を図っている。	継続して、保育所等との情報共有を進め、相互理解を図る。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		4	現在、児童発達支援センターからの助言等は受けていない。	利用者情報の共有のために、必要に応じて児童発達支援センターからアドバイスを受けていく。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	関係の深い保育所と同じ場所で、砂遊び等を行うことがある。	出来る範囲で、地域交流の機会を企画する。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送り迎えの時に、子どもの活動の様子等を伝えることがある。	職員全員が日頃の保護者との会話を意識するように配慮していく。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	保護者へのペアレントトレーニングを具体的に提供することはできていない。	家族支援プログラムを進めていく。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に運営規定や支援プログラム、利用者負担について丁寧な説明を行っている。	継続して、説明を丁寧に行っていく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		保護者との面談を時間を取って、家族の意向を確認して、計画している。	保護者との面談でより必要な情報を共有し、児童発達支援計画に反映できるようにする。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		支援内容の説明をしっかりと行っている。	継続して支援内容の説明を丁寧にすすめる。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		定期的に家族等から相談を受け、必要な助言と支援を行っている。	職員全体で研修を行い、子育ての悩み等に応える力をつけていく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4	保護者会等を開催することができていない。	保護者が交流できる機会を企画していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		相談に対して、迅速かつ適切に対応するようにしている。	保護者の相談や申し入れについて、対応できるように、知識や技術を身につけるための研修をおこなう。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		SNS等を通して日常の活動内容を写真入りでお伝えすることを行っている。	SNS等の情報を工夫して、より楽しいものにしていく。
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報の取り扱いに関しては、十分留意している。	SNS等での写真の扱いには特に注意をしていく。	
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		視覚支援を通して、意思の疎通に配慮している。	言葉の遅れが見られる子どもたちに、写真やイラストを用いて配慮をすすめる。	

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	地域住民を招待するような行事を開催していない。	事業所での行事開催も検討する。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		4	定期的な訓練を実施できていない。	年間計画を立て、しっかりと訓練をすすめる。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		4	業務継続計画に改善の余地がある。	業務継続計画をしっかりと策定し、必要な訓練をすすめる。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		保護者との面談で、服薬等の状況を確認している。	継続して保護者との面談を通して必要情報を確認していく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		医師の指示書に基づく対応をしている。	継続して、医師の指示書に基づく対応をしていく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	3	安全計画の作成が不十分な箇所がある。	安全計画を新たに作成し、安全管理が十分になされるようにする。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	3	安全計画の作成が不十分な箇所がある。	安全計画を新たに作成し、安全管理が十分になされるようにする。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	1	3	ヒヤリハットの記録が不十分な箇所がある。	ヒヤリハットの記録を新たに見直し、事業所内でしっかりと共有できるようにする。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1	3	虐待防止の研修が不十分な状況がある。	虐待防止の研修を新たに計画して、適切な対応ができるようにする。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	2	身体拘束に関して、組織的に決定することが不十分な状況がある。	身体拘束に関して、現在より組織的に決定することを進め、児童発達支援計画に記載できるようにする。

○事業所名	なごやかな森石西		
○保護者評価実施期間	2025年10月6日		～ 2025年10月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2025年10月6日		～ 2025年10月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月17日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの活動等のスペースを十分に確保している。	その日、利用することもに応じて、巧技台や玩具を子どもたちの動線を考え配置することで、安全に過ごせるようにしています。	今後も継続しつつ、子どもたちの行動を観察し、より良い活動につながるよう、スタッフで意見を出し合い環境を整えてまいります。
2	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制を整備しているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明し、相談や申入れを受けた際に迅速かつ適切に対応できている。	家族支援などの保護者支援を重要事項に記載し、契約時に一緒にご確認いただき、お伝えしております。また、送迎時やお電話等で保護者の方にお話をお聞きする時間をご提案させていただき、個室でゆっくりとお話していただけるようにしております。	いつでも気軽にご相談をいただけますよう、こちらからお声かけしたり、お手紙でお伝えしたりするなど、ご家族の方への支援を定期的にお伝えしてまいります。
3	こどもが楽しみに通所している。	玩具や運動教具など、こどもたちがやりたいと思った時にいつでも取り組めるように環境を整えております。また、子どもたちの興味や力が伴わせるように、教具や玩具など変化をつけ一人ひとりの成長に応じた活動ができるようにしております。	これからも子どもたちの「やりたい!!」「挑戦したい!!」の気持ちを大切に、また、スタッフの専門性のレベルアップを目指し、こどもたちが楽しみに通所できるようしていきたいと思っております。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練の保護者の方への周知が課題と思われる。	定期的な避難訓練を行っておりますが、保護者の方への周知が足りていないことが要因と思われます。	避難訓練を行った際には、連絡アプリを使って、お伝えしたり、玄関の掲示板に写真を貼ったりして、避難訓練の様子をお伝えすることで保護者の方とご一緒という時の対応を共有していきたいと思っております。
2	保護者同士の交流の機会などのご家族への支援は行っているが、きょうだい向けのイベントの開催等、きょうだい同士の交流の機会、きょうだいへの支援が課題と思われる。	7月に開所したばかりということや、保護者の方への周知がまだまだ足りないことが要因と思われます。	保護者の方の交流の機会やご家族きょうだいの交流の機会など、参加しやすい土曜日に開催するなどして、できる限りいろいろな曜日に開催するなど参加しやすくしていきたいと思っております。また、連絡アプリや玄関の掲示板を使って、保護者の方への周知を図っていきたく思っております。
3	事故等(怪我等を含む。)が発生した際の事業所から事業所の対応の周知。	開所して間もないこともあり、怪我や体調の変化でご家庭へのご連絡をする機会がなかったことや事故が起こった際の対応を契約時にはお伝えしておりましたが、日々の療育時でお伝えできていなかったことが要因かと思っております。	今後も継続して事故のないように安全に気を付けつつ、もし事故やケガ等があった際には連絡を入れ、状況やお子さまの様子をお伝えしてまいります。また、今後も保護者の方が安心してご利用いただけるような関係性を築いていけますよう精進してまいります。

事業所名		なごやかな森明石西				公表日 2026年 2月 6日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		安全に活動できるよう、棚や机、巧技台などの配置など、静と動をスペースを分けた環境作りをしています。	今後も継続してまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		配置基準人員に加え、おこさまの様子や人数に応じて、余裕を持った職員の配置をおこなっております。	今後も継続してまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		個別療育は別室を使用し、集団療育ではコーナーを作ってそれぞれやりたい遊びに取り組んだりするなど、こどもたちが理解したり、活動したりしやすい環境を整えております。	今後も継続してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		日々の清掃、消毒を行い、清潔な環境を心がけております。また、こどもたちの動線や活動がしやすい空間を整えております。	今後も継続してまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		個別療育やこどもの様子に応じて、個別の部屋を提供したり、パーテーションを用いた環境を整えております。	今後も継続してまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	5		日々の打ち合わせや振り返り、ミーティングなど、全員が参加できるよう努めております。	今後も継続してまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者様よりいただきました評価より、良い点・改善点を把握し、業務改善に努めております。	今後も継続してまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		会議や日々の振り返りなどで意見やアイデア等を広く募り、業務の工夫や改善に活かしております。	今後も継続してまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	第三者による外部評価は定期的を実施予定です。	必要に応じてできるよう努めてまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	法人内での事例検討会や市内での研修、療育アプリでの研修など職員の資質向上の機会を確保しております。	今後も職員の資質向上に励み、より良い支援につながりますよう、日々精進してまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		HPに支援プログラム閲覧できるようにしております。	今後も継続してまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	1	アセスメントを丁寧にを行い、一人ひとりに合った支援、ニーズを分析し計画を作成しております。	今後も継続してまいります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		全職員がこども一人ひとりの支援について考え、意見を出し合う中で共通理解を深め、計画の作成に携わっております。	今後も継続してまいります。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		作成した支援計画は全職員で共有し、計画に応じた支援の実施を行っております。	今後も継続し、チームとなってこども一人ひとりの支援を行ってまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	新版k式などの発達検査等からのアセスメントや日々の行動観察から、おこさまの様子を確認しております。	今後も継続してまいります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		個々に必要な支援の項目を選定し、各項目に沿った具体的な内容を設定しています。	今後も継続してガイドラインに沿った支援を提供しつつ、具体的な支援が設定できるよう精進してまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	月ごとに運動・制作などのチーム担当を決定し、立案を行っております。	今後も継続してまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	固定化されないよう、変化をつけながら、できることを繰り返すことで、自信を持ち、新しいことに挑戦できるようにしております。また、こどもにの様子に応じたプログラムの立案を行っております。	今後も継続してまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		個々の状況に応じた個別療育と集団療育を組み合わせた支援計画を作成し、それに基づいた支援を行っております。	今後も継続してまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		ミーティングを行いこどもの様子や、保護者の方からの連絡事項、当日のプログラム内容について必要な情報を共有しております。	今後も継続してまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援終了後、記録業務を行いながら、気づきの共有を行っています。	今後も継続してまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		利用時にはこどもの様子やできたこと、今後の課題について記録し、いつでも振り返れるようにしており、その内容を職員で共有しております。	今後も継続してまいります。
	23	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	2	6か月に一度、モニタリングを行ったうえで、支援計画変更、修正、見直しの判断を行っております。	今後も継続してまいります。

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		個別担当の職員や、こどもとの関わりをよく理解したものが参画できるよう努めています。	今後も継続してまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		必要に応じて、各機関との連携や支援が行える体制を整えております。	今後も継続してまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		移行に向けた支援も含め、連携所属園との情報共有や相互理解を図っております。	今後も継続してまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		必要に応じて、いつでも支援内容の情報提供やおこさまの様子など、相互理解ができるようにしております。	今後も継続してまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けているか。	1	4	必要に応じて児童発達支援センターとの連携を行っているようにしてまいります。	必要な際には助言等を受けられるようにしてまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5		交流について検討しております。	今後も継続してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時や連絡ノート、連絡アプリを使って、事業所での様子、できたこと、がんばったこと、お家での様子をお聞きしつつ、事業所での様子をお伝えしております。	今後も継続してまいります。
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		月に一回、保護者様同士の集まりを催しております。 (10月保護者会くおこさまとの関わりについて>・11月<療育参観>・12月は保護者会<療育紹介>・1月は<親子で遊ぼう>)	今後も継続してまいります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		ご契約時にご説明させていただいております。また面談時や送迎時など、ご質問をいただいた際には、随時ご説明させていただいております。	今後も継続してまいります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		意志を尊重し意向を確認する機会を設けております。	今後も継続してまいります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		計画を提示しながら、説明を行い、同意を得ております。	今後も継続してまいります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		定期的な面談や相談に応じる機会をつくり、支援や助言を行っております。	今後も継続してまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		保護者様同士のお話の場として、交流会を開催いたしました。	今後、ごきょうだいへの支援などの計画もして参りたいと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		相談や申し入れについての対応を整備し、迅速かつ適切な対応をしております。	今後も継続してまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	2	ブログやHP等を活用し、活動内容を発信しています。	継続していきつつ、お手紙などでお伝えできるようにしてまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		パソコンに含まれるデータや書面での個人情報も含め、鍵のついた場所に保管するなど、個人情報の取り扱いには充分留意しております。	今後も継続してまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		視覚的、聴覚的にわかりやすくお伝えするようにしております。	今後も個々に応じた配慮を行ってまいりたいと思います。
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		検討しております。	近くの同法人の園や地域との交流ができますよう、今後も検討してまいります。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2	月に一回、下の小規模園と合同で避難訓練を行っており、実際に避難をする状況を想定した訓練を行っています。	今後も継続してまいります。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		業務継続計画を策定し、訓練を行っております。	今後も継続してまいります。

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	てんかんや、事業所での対応は必要な事項については、契約時に聞き取りを行い、職員と定期的に共有しております。	今後も全職員が周知できるよう定期的に共有することを努めてまいります。
	48	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		医師の指示書に基づき、給食会社への対応、指示をおこなっております。	今後も継続してまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画を作成し、安全管理を徹底した環境での支援を行っております。	今後も継続してまいります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		連絡アプリ、電話連絡など、連携手段を周知しております。	引き続き、全職員で安全管理を行い、ご家族の方への周知を図ってまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		職員が見れる場所に置き、全職員で都度共有し、再発防止に努めております。	今後も継続してまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		年度初めに職員の虐待防止研修を行っております。	今後も継続してまいります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1	身体拘束の研修を行い、身体拘束が必要と思われる際には、職員で会議をおこない、保護者の同意を得たうえで支援計画に記載し、定期的に見直す流れを共有しております。	今後も継続しおこないつつ、全職員が周知できるよう、定期的に研修をしてまいりたいと思います。

事業所名	なごやかな森明石西
------	-----------

公表日 2026年2月6日

利用児童数 12名 2025年10月6日

回収数 12

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9			2	・外遊びができるようになれば ・外で活動できるスペースもあればなお良いと 思います。	こどもたちの安全面を考慮した上で、外出の機会が持 てるよう努めてまいります。また、併設のあけぼのの 森保育園に小さな園庭がありますので、そちらで活動 できます機会を設けてまいります。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11					配置基準を厳守した人員配置を行っております。また、 状況に応じて余裕を持った職員配置に努めておりま す。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11					お部屋はバリアフリーになっており一つ一つ部屋が分 かれて、わかりやすくなっており、また、各部屋の前 にノームプレートをつけ、視覚的にもわかりやすくし ております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11					毎日、こどもが帰った後に掃除、消毒を行っており、 広い空間なので、運動スペース、机上遊びスペース、 ゆったりスペースなど、コーナーを分けて過ごしやす い工夫をしております。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	2		1	通い始めたばかりなので、「わからない」にし ました。	こどもたちの日々の様子や行動からアセスメントを行 い、作業療法士の有資格者の見立てを取り入れ、一人 ひとりの特性に応じた支援の提供に努めてまいります	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11					支援プログラムをHPで公表し、プログラムに沿った 内容で支援を行っております。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11					今後もおこさまや保護者の方のニーズや課題に合った 支援計画を作成してまいります。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10				1	ガイドラインの項目に沿って、保護者の方やおこさま によって、具体的な支援内容を提案させていただきます。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11					今後も支援計画を職員で共有し、計画に沿った支援を 継続してまいります。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11					今後もおこさまが楽しく活動に参加できるよう精進 してまいります。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9				2	今後、交流できよう検討してまいります。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11					契約時にご説明させていただいておりますが、いつ てもご説明させていただきます。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11					支援計画につきまして、保護者の方と一緒にご確認い ただいております。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9				2	仕事の関係でなご茶会には参加できませんでし た。	11月に療育を見ていただきながら、おこさまとの関 わり方など、お話しさせていただきました。今後もこ のような研修会や情報提供を行って参りたいと思っ ております。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	11						送迎時や連絡アプリ、連絡ノートなどで、おこさま のお家のご様子をお聞きしたり、事業所での様子 をお伝えさせていただいております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	1			1	通い始めたところで、面談はまだです。	面談などお時間をお約束してお話しさせていただ いております。また、日々お顔を合す時に保護者の方 からお話をお聞きしたり、こちらから様子をお聞きし たりさせていただいております。日々の生活で気にな ることや心配なことがございましたら、いつでもお気 軽にご相談ください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	1					一人ひとりのおこさまや保護者に寄り添った、共感的 な支援ができますよう、日々精進してまいります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	1			5		7月開所し、10月に保護者交流会11月に療育参観を 開催いたしました。今後もご家族の方が参加してい ただけます機会を設けていきたいと思います。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11						今後もいつでもご相談いただけますよう、契約時 にお話しさせていただいたり、送迎時にお声掛けをさ せていただきたいと思っております。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11						おこさまには絵カードや紙に書いたり、一人ひとりに 合った方法でお伝えするようしております。また、 保護者の方には連絡アプリ、連絡ノート、お手紙、お 電話などを使ってお伝えしようにしております。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9				2		HPでプログラムを掲示しております。また、活動を ブログにあげております。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11						建物に警備会社と契約しており、事業所内でも鍵をか けて保存しております。今後も継続してまいります。	

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8			3		各種マニュアルを策定しております。今後も保護者の方に周知していただけるよう努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6			5		定期的な下の小規模保育園と合同で訓練を行っております。今後も継続してまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	7	2		2		今後も安全を確保する計画をスタッフで周知し、安全を十分に確保したうえで支援に努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	7			4	まだ事故や怪我等がないため「わからない」を選択しています。	今後も事故・怪我等また、体調やご様子などで気になることがありましたら、お電話でご連絡し、迅速に対応してまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11					今後もおこさまが安心して通所していただけるよう、努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11					職員一同、おこさまが楽しみに通所していただけるよう、環境を整えつつ、おこさまにとってより良い関わりが持てるよう、日々精進してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11				外で活動する時間を少しとっていただけるとなおります。	・いつもご理解ご協力ありがとうございます。今後も保護者の方のニーズやおこさま一人ひとりに合った支援ができませんよう努めてまいります。 ・お散歩など、外での活動も検討してまいります。

○事業所名	なごやかな森明石西		
○保護者評価実施期間	10/6/2025	～	10/27/2025
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	10/6/2025	～	10/27/2025
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	11/17/2025	～	12/24/2025
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答数) 0
○事業者向け自己評価表作成日	1/14/2026		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士と保育士による専門性のある支援	それぞれの専門性を活かし、多角的な視点で子どもを観察し、個々に応じた支援の提供を行っております。	研修などに参加し、それぞれの専門性のスキルアップを行ってまいります。
2	子どもの様子や健康、課題について保護者の方との共通理解	送迎時や連絡アプリ、連絡ノート、お電話など、おこさまの事業所での様子など、情報の共有を丁寧に行っております。	保護者の方との関係性を深め、共通理解に努めることで、子どもの支援につなげてまいります。
3	保護者の方への訪問支援後の具体的な報告と課題の共有	訪問支援後に紙面での報告書と一緒に面談を行い、より具体的に様子を伝えております。	訪問スタッフの支援のスキルアップに努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先での子どもへの支援方法や具体的なアドバイスの提供	7月に開所した保育所等訪問支援事業のため、訪問先との関係形成途中と考えられる。	訪問先との関係性作りに努めてまいります。
2	訪問支援事業の曜日に限られている	児童発達支援事業以外での人員が必要と考えられる。	職員の増員を目指し、体制を整えてまいります。
3	保育所等訪問支援事業の保護者への周知	開所したばかりの保育所等訪問支援事業のため、保護者の方への周知ができていなかったと思われる。	契約時や日々のやり取りの中で周知をはかってまいります。

事業所名	なごやかな森明石西
------	-----------

公表日 2026年 2月 6日

利用児童数 1名 2025年 10月 30日

回収数 1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1					今後も必要に応じて教具や教材を準備してまいります。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1					継続して、静かな中でゆっくりお話していただけるお部屋で面談を行い、プライバシーに配慮したまいります。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	1					継続して、事業の目的を丁寧にお伝えしてまいります。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	1					継続して、保護者の方のご希望や訪問先のご意見をお聞きしつつご相談した上で決定してまいります。
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	1					おこさまの状態に応じた職員が支援にあたる体制を整えております。今後も継続してまいります。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	1					より良い支援ができますよう、おこさまの特性を理解した専門性のある支援の提供のため日々精進してまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	1					ニーズや課題を分析した計画の作成に努めております。今後も継続してまいります。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	1					訪問先の園や担任の先生方の意向も組み入れた計画の作成しております。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	1					ガイドラインの内容を踏まえ、おこさまに合った支援内容の設定に努めております。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	1					支援計画の都度確認し、計画に沿った支援の提供に努めております。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	1					訪問先施設に配慮した支援の提供に努めてまいります。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					契約時にご説明させていただいておりますが、いつでもご説明させていただきます。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					支援計画につきまして、保護者の方と一緒にご確認いただいております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1					11月に療育を見ていただきながら、おこさまとの関わり方など、お話しさせていただきました。今後もこのような研修会や情報提供を行ってまいりたいと思えます。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	1					送迎時や連絡アプリ、連絡ノートなどで、おこさまのお家での様子をお聞きしたり、事業所での様子をお伝えさせていただいたりしております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					面談などお時間をお約束してお話しさせていただいております。また、日々お顔を合わす時に保護者の方からお話をお聞きしたり、こちらから様子をお聞きしたりさせていただいております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	1					一人ひとりのおこさまや保護者に寄り添った、共感的な支援ができますよう、日々精進してまいります。
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					いつでもご相談いただけますよう、契約時にお話しさせていただいたり、送迎時にお声掛けをさせていただいたりさせていただきます。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	1					おこさまには絵カードで提示したり、一人ひとりに合った方法でお伝えするようしております。また、保護者の方には連絡アプリ、連絡ノート、お手紙、お電話などを使ってお伝えするようしております。
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思えますか。	1					今後も訪問先施設からの相談に適切に応じ、必要な助言を行ってまいります。
	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思えますか。	1					訪問先や事業所での様子を情報共有し、必要な助言や支援を行ってまいります。

	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	1					保護者の方に訪問先でのおこさまの様子等、具体的に丁寧にお伝えしてまいります。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1					HPでプログラムや自己評価を掲示したり、活動内容をブログにあげたりしております。日々の様子は一人おひとりに連絡アプリを通してお伝えしております。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					建物に警備会社と契約しており、事業所内でも鍵をかけて保存しております。今後も継続してまいります。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1					継続して、訪問先との緊急時の対応について連携してまいります。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					安全を確保する計画をスタッフで周知し、安全を十分に確保したうえで支援に努めております。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	1					おこさまが訪問を楽しみにし、その場に応じたより良い支援、関わりができるよう、日々精進してまいります。
	28	事業所の支援に満足していますか。	1					今後も継続して、保護者の方のニーズやおこさま一人ひとりに合った支援ができますよう日々精進してまいります。

事業所名		なごやかな森明石西				公表日	2026年2月6日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環 ・ 運 営 ・ 体 制 整	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2		必要に応じて教具を準備しております。	継続して、支援に合った教具を準備してまいります。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		配置人員を満たして運営しております。	適切な人員配置に努めてまいります。	
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		日々の打ち合わせや振り返り、ミーティングを行い、全職員で参画できるように努めております。	継続してまいります。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		保護者様からの評価表により、意向を把握し、業務改善につなげております。	継続してまいります。	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		日々のミーティングや振り返りなどで意見やアイデアを出し合い、業務の工夫や改善に活かしております。	継続してまいります。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2		現時点で第三者による外部評価は行っておりません。	業務改善のため、外部評価をいただけるよう努めてまいります。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		法人内の研修、市役所開催の研修、療育専門サイトの研修に参加し、職員の資質向上の機会を確保しております。	より多くの研修に参加する機会を持ちたいと思っております。	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2		多職種による職員の共通理解のもとで検討を行い、作成に携わっております。	より良い支援につなげるため、継続してまいります。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		多職種による職員が共通理解のもとで、検討を行い、作成に携わっております。	より良い支援につなげるため、継続してまいります。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		相談専門員を紹介するなど、訪問先施設との連携を図るうえで計画の作成を行っております。	訪問先と連携を取り、担任の方の意向を聞き取ることができるよう、努めてまいります。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		支援計画に沿った支援の実施を行っております。	継続してまいります。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		発達検査を踏まえたアセスメントと事業所でのアセスメントを合わせ、確認を行っております。	継続してまいります。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2		ガイドラインを踏まえ、具体的な支援内容を設定しております。	継続してまいります。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		支援計画に応じた支援の実施を行っております。	継続してまいります。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		職員間で支援前には打ち合わせを行うなど、連携を図っております。	継続してまいります。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		支援終了後には、一人ひとり職員の気づきを共有しております。	継続しつつ、朝のミーティングでも共有し全職員での共有を図ってまいります。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		訪問先の理念や支援手法を伺い尊重しております。	今後も尊重し、関係性を深めていきたいと思っております。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2		日々の支援記録作成を徹底し、支援の改善に繋げております。	継続してまいります。		
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		定期的なモニタリングと適切な見直しを行っております。	継続してまいります。		
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		個々の状況やアセスメント等を理解したものが参画できるようにしております。	継続してまいります。		
21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		必要に応じ連携や支援が行える体制を整えております。	継続してまいります。		

関係機関や保護者との連携	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	2	現時点で就学移行児の利用はございませんが、必要な際には、支援内容の情報提供や相互理解を図ってまいります。	継続してまいります。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2		必要に応じて助言を受けることができるようにしてまいります。	同法人の他施設を見学に行くなど、質の向上を図ってまいります。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2		毎月1回の子ども部会など、できる限り参加しております。	今後できる限り参加し、情報収集、他事業所の連携を深めてまいります。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2		保護者さまと話をする機会を持ち、共通理解を深めております。	継続してまいります。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2		月に一回、保護者様同士の集まりを催しております。10月保護者会<おこさまのかかわりについて>・11月保護者参観・12月<療育教材紹介>	様々な研修を考えてまいります。
	保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		ご契約時にご説明させていただいております。また、面談時や送迎時など、ご質問をいただいた際には、随時ご説明させていただいております。
28		訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2		事業の趣旨や訪問支援の目的について丁寧に説明を行っております。	継続しつつ、よりご理解いただけるよう努めてまいります。
29		保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点等を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		意志を尊重し意向を確認する機会を設けております。	お話しできる機会を持ち、継続して、おこさまや保護者の方の意向を確認してまいります。
30		「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2		計画を提示しながら説明を行い、同意を得ております。	今後も丁寧な説明を行ってまいります。
31		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2		定期的な面談や相談に応じる機会を作り、支援や助言を行っております。	継続してまいります。
32		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2		保護者様同士のお話の場として、交流会を開催いたしました。	様々な交流の機会を提供してまいります。
33		こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		相談の申し入れについては迅速かつ適切な対応をしております。	継続してまいります。
34		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2		ブログやHP等を活用し、活動内容を発信しております。	今後も情報発信し理解を深めていきたいと思っております。
35		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		パソコンに含まれるデータや書面での個人情報も含め、鍵のついた場所に保管するなど、個人情報の取り扱いには充分留意しております。	継続してまいります。
36		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		視覚的、聴覚的にわかりやすくお伝えするようにしております。	より情報伝達の工夫に努めてまいります。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		訪問先から相談には適切に対応しております。	継続してまいります。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2		おこさまの様子や支援につきまして、お話しする時間をいただいております。	訪問先のお時間に合わせ、行ってきたいと思っております。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2		報告書やお顔をみてお話をしながら、共有を行っております。	継続してまいります。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		パソコンに含まれるデータや書面での個人情報も含め、鍵のついた場所に保管するなど、個人情報の取り扱いには充分留意しております。	継続してまいります。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		訪問先から相談には適切に対応しつつ、関係を深めていけるよう、努めております。	関係性を深めることで、おこさまの支援につなげていけるよう努めてまいります。
非常時等の	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2		月に一度、下の小規模保育園と合同で避難訓練を行っており、実際に避難をする状況を想定した訓練を行っております。	継続してまいります。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2		安全計画を作成し、安全管理を徹底した環境での支援を行っております。	継続してまいります。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	2		全職員で共有し、再発防止に努めております。	継続してまいります。

対応

45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		定期的に全職員に虐待防止研修を行っております。	継続してまいります。
46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2		身体拘束の研修を行い、身体拘束が必要と思われる際には職員で会議を行い、保護者の同意を得たうえで支援計画に記載し、定期的に見直す流れを共有しております。	継続してまいります。

○事業所名	なごやかな森一橋		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団療育と個別療育を実施し、両側面から子どもをとらえ支援を行っている	モニタリングや個別支援計画作成の際には、小集団と個別それぞれの様子を共有したうえで支援内容の検討・策定を行っている	個別療育での取り組み内容や子どもの様子を、できるだけタイムリーに共有することを目指していく
2	法人内保育園に在籍している子どもが多く、子どもの様子や関わりの特徴などについて、保育園と日頃から情報共有しやすい環境がある	モニタリングの時期に合わせて、在籍園と情報共有する機会を設けるほか、送迎の際に随時引き継ぎとして双方での様子を必要に応じて共有している	法人外の幼稚園・保育園に在籍している子どもについても、在籍園との情報共有を定期定期に行っていく
3	決まりやルールを多く設けず、十分に体を動かす時間を設けることで、安心して自己発揮することや活動参加・傾聴・待つことなど社会性の高まりがみられている	安心感に留意しながら、気持ちに寄り添い自己表現を引き出すことを心がけている。楽しい雰囲気大切にしながら、活動に取り組む意欲や見本・手順への注目、応じる力の伸長を目指している	4月から利用することももいて、事業所の活動への慣れ具合に個人差がある小集団活動となるため、より個々に合わせて意図を持った働きかけを行うことが必要になると思われる。職員間で打ち合わせながら、個々の状況を理解し個別的な関わりの実践に努めていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援について、子どもの様子や関わり方についての情報共有や、家庭での関わりを共に考える機会が十分ではない	特に直接お会いする機会の少ない保護者とは、子どもの様子や関わりに関する情報共有を行う機会を持ちにくい	・連絡帳やチャットなどアプリで情報共有する際、家庭での様子を尋ねるなど双方向のやりとりを心がける ・定期面談のほか、いつでも相談や面談が行えることを折に触れ案内していく
2	保護者同士で子どもへの関わりについて意見交換する機会の提供がまだできていない	・開設後は、日々の支援を安定させていくことに注力してきた ・保護者会開催に際し、在籍保育園に託児の協力をいただく関係で、各保育園とのスケジュール調整が必要	早めに各保育園とのスケジュール調整を行い、計画的に保護者会を開催し、子どもへの関わり方や家庭での困りごとについて共に考える機会を設ける
3	非常時の対応について、保護者への情報提供が十分ではない	利用契約時に説明しているものの、情報提供が不足している	安全計画や非常時の対応マニュアルについて、アプリで常に確認できるよう配信する

事業所名	なごやかな森一橋
------	----------

公表日 令和 8年 3月 1日

利用児童数 令和 8年 2月 1日現在 34名

回収数 27名 (79.4%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	1		1	・スペースを最大限工夫し、子どもたちがのびのび遊んでいると思いました	今後も十分なスペースを確保してまいります
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	26	1			・一人ひとりの性格、特徴まで把握できる良い人配置だと思います	引き続き、子どもたちの心情にタイムリーに寄り添える人員配置を行ってまいります
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	2		4	・問題ないと思います ・活動内容、タイムスケジュールを絵カードで掲示しており配慮はあるが、特性に応じてわかりやすく構造化されているかどうかわかりません	引き続き、子どもに合わせて絵カードなどを使用しながら、段階的に一般的な環境に適應できるように支援してまいります
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	1			・綺麗で明るい空間でした ・広さが十分で走れます。各々の活動がしやすい場所がありそうです	今後も活動内容に応じて環境設定を行ってまいります
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	2		5	・支援開始前にしっかりと時間をかけ、モニタリングや希望の聞き取りを行っていただきました ・週1で1時間くらい1対1で支援する時間を設けてくれるとのことでしたが実施されているか不明です ・専門支援の時間にどのようなことをしているのが見えづらいです ・まだ見学に行けていないので「わからない」としました ・まずは通所を楽しめるようにする段階かと理解しています ・子どもへの理解はしてくれていると思うが、専門性のある支援とは何かはよくわかりません	・支援の内容や子どもの変化などについては、半年ごとの定期面談でお伝えしてまいります。日々の連絡帳でも支援内容がわかりやすいよう、記載内容をブラッシュアップしていきます ・専門支援は1回30分間で、契約児全員が平等に行えるよう順番に実施しています。利用日数により頻度に差が生じることもあります。(月に1~3回程度) 支援内容や子どもの様子について、可能な限り連絡帳でお知らせしてまいります
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24	1		2	・各々のペースで取り組めるようになっていると思います	今後も支援プログラムに沿った支援の提供を行ってまいります
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	1			・意見をしっかりと反映してくださっています ・十分な聞き取りがあり、ニーズ・課題を的確に文章化し計画に反映していただきました	今後も子どもの様子や保護者のニーズの理解に努め、個別支援計画に反映させてまいります
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	1		2	・わかりやすく目標が設定されています	今後も、子どもの様子や保護者のニーズなどから支援内容を検討し、具体的な援助内容を記載してまいります
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	3		4	・本人のペースに合わせて支援をされていると感じます ・活動報告はいただいているが、課題に対する支援との関係がよくわかりません	今後は、支援内容をよりご理解いただけるよう、連絡帳に記載する内容を充実させてまいります
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	2			・毎週色々な設定あそびを行っていて、本人も楽しかったと話してくれます	今後は、より計画的に活動内容の検討を行い、魅力的な活動を展開してまいります
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	13	2	3	9	・子どもではないですが、近所の方へクリスマスマスクを渡しに行くのはステキだと思います ・交流はよくわかりませんが、作品などを保育園の先生に話しているようです	利用児の大半が幼稚園・保育園に在籍しているため、事業としての交流は計画しておりません。在籍園の友達との関わりが広がるよう、気持ちの表現や相手の気持ちに目を向けるサポートを引き続き行ってまいります
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27				・不安なく支援を受けることができています	引き続き、利用開始の際には丁寧に説明してまいります
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27				・はい	引き続き、個別支援計画書を提示しながら支援内容をご説明してまいります
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	6	3	7	・研修会などはありませんが、いつでも見学は構わないとのことなので、情報収集の機会はあると思います ・実施予定ありと説明はあったが具体的なプログラムは未定	来年度は保護者の集まりを開催し、子どもへの関わりを考える機会や保護者間で懇談する機会を設けることを予定しております
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	24	3			・連絡帳のやりとりで行えています ・アプリの連絡帳はありがたいです ・直接送迎ができない場合は少し難しいと感じます	今後もアプリによる連絡帳や送迎時などに、様々な情報共有を行ってまいります
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	5	3	3	・まだ機会はありませんが、定期的な面談が実施予定です ・利用開始半年なのでどちらも言えませんが、定期的にあると思います	引き続き半年ごとに面談を行ってまいります。ニーズに応じて任意面談も実施し、保護者の相談に応じてまいります	

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。					<ul style="list-style-type: none"> ・本人のペースで支援を受けられているようなので、そのような支援を受けていると思います ・こどもの特性を知ったうえで話してくれていると感じます 	引き続き、こどもや保護者に対して共感的に支援を行ってまいります
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	27				<ul style="list-style-type: none"> ・まだそのような機会はありませんが、ぜひ開催されればよいと思います ・保護者会が予定されていると入所時に説明を聞いたように思うが、まだ実施はされていません（2） 	来年度は保護者の集まりを開催し、こどもへの関わりを共に考える機会や保護者間で懇談する機会を設けていきます
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	5	7	11	<ul style="list-style-type: none"> ・相談等を行ったことがないので何も言えませんが、もし相談したいことができたらくら、相談等に対して迅速かつ丁寧に対応してまいります ・お話をできる雰囲気があり安心です ・周知されていると思うが、相談・申し入れはしたことがないので対応についてはわかりません 	今後もいつでも相談ができることを周知しながら、相談等に対して迅速かつ丁寧に対応してまいります
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	4		5	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリや電話に直接やり取りができるので安心です ・アプリ、電話、書面など、伝達手段が多様です 	引き続き様々な伝達手段を活用しながら、意思疎通や情報伝達を丁寧に行ってまいります
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24	1		2	<ul style="list-style-type: none"> ・はい ・活動予定表をもらえているので十分だと思います 	今後もホームページやアプリを通じて情報発信してまいります
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21			6	<ul style="list-style-type: none"> ・利用説明会の時に説明がしっかりあった印象です ・直接お渡しや受け取りができず、保育園経由になってしまうことのみ留意点です 	在籍保育園にご協力いただきながら書類の受け渡しを行う状況もありますが、引き続き個人情報の扱いには十分留意してまいります
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25			2	<ul style="list-style-type: none"> ・説明書がありました ・訓練の有無についてはよくわかりません（2） 	今後も各マニュアルの整備と保護者への周知、発生を想定したシュミレーションを行ってまいります
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	1	1	9	<ul style="list-style-type: none"> ・説明書がありました ・訓練については不明です 	今後も定期的な避難等の訓練を行ってまいります
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	3	1	15	<ul style="list-style-type: none"> ・不安なく通わせられます ・あまり意識しておらずわかりません 	今後も安全を確保する計画の周知と安全を十分に確保した上で支援に努めてまいります
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20			7	<ul style="list-style-type: none"> ・小さなことしかまだ起きていませんが、しっかりとアプリで文章化してくださっています ・怪我があった時、状況説明を十分にしていたいていると思います 	今後も怪我の大小にかかわらず、迅速な連絡や適切な状況説明を行ってまいります
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21	2		4	<ul style="list-style-type: none"> ・先生に甘えられたりしているようで親も安心しています ・一度も休まず通っています 	今後も利用するすべてのこどもが安心感を持って通所できるよう努めてまいります
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	27				<ul style="list-style-type: none"> ・行かない日も「今日なごやか？」等聞いてきてもっと通いたいようです ・とても楽しみに通所しています ・自ら表現することが困難ですが、楽しんでいるように感じています 	今後も利用するすべてのこどもが通所を楽しみにできるよう努めてまいります
	29	事業所の支援に満足していますか。	25		1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく通えていることが何よりです ・子どもにとってより良くなるよう考えてくださっているのが伝わってきます。本当にいつもありがとうございます ・とても満足しています。これからも継続したいです ・まだ4か月しか通っていないので満足という感じではありません 	今後も一人ひとりに合わせた関わりを行い、楽しみながら成長発達していけるよう努めてまいります。保護者との情報共有を図りながら支援にご満足いただけるよう努めてまいります。
			24	3				

事業所名		なごやかな森一橋			公表日	令和 8年 3月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		基準人員に加え、専門的支援体制加算の人員を配置しています。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		活動スケジュールなどを絵カードでわかりやすく掲示しています。行うべきことに集中しやすいよう環境を整えています	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		活動がしやすいように、清潔で整理された空間となるよう努めています	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		小集団への不安や興奮が強いなど個別対応が必要な状況があれば、職員と共に個室で過ごすこともあります	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		日々の打ち合わせや振り返りなど、多職種の職員が参画し行っています	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者の意向を把握し、業務改善につなげています	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の打ち合わせや振り返りの際に、意見やアイデアを募り業務の工夫や改善につなげています	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	今年度は第三者による外部評価を実施していません	定期的に第三者による外部評価を実施予定です
適切な支援の提供	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修を周知し参加を募ったり、事業所内研修の機会を設けています	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、ホームページで公表し保護者にも周知しています	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		アセスメントを丁寧に行い、保護者ニーズを客観的に分析したうえで支援計画を作成しています	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		多職種の職員で共通認識のもと、支援内容を検討しています	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画の内容を全職員で共有し、計画に沿った支援を行っています	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		事業所独自のアセスメント票を活用し、こどもの状況を確認しています	今後、臨床心理士による標準化されたアセスメントも行ってまいります
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		こどもに応じて必要な項目を設定し、各項目に沿った具体的な支援内容を設定しています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		多職種による活動プログラムの立案を行っています	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		こどもの様子に合わせて新たな内容を取り入れるなど、活動が固定化しないよう工夫しています	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動と集団活動の様子を総合的に見ながら、支援計画を作成し支援を行っています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前には、活動の内容や役割分担、こども個々への支援の留意点などを確認しています	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○		支援終了後には、振り返りを行いこどもの様子や対応についてなど気づいた点を共有しています		

関係機関や保護者との連携	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援に関する記録をとり、支援の検証・改善につなげています	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		こどもの状況や今後の支援の展望を理解した者が対応しています	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じ連携を図ることができる体制を整えています	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		並行利用している機関と、見学や情報共有をしながら相互理解を図っています	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じ、支援内容の情報提供や相互理解を図っています	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターが主催する事業所連絡会に参加し、必要に応じて助言を受けることができる体制を整えています	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	幼稚園・保育園に在籍しているこどもが利用しているため、他機関との交流の予定はありません		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳のやりとりやお会いする機会に、こどもについての共通理解を図っています		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ご家庭での育児のご相談にも随時応じ、ご家庭での対応方法を共に考えています		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用開始前に、書面をもとに説明しています	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別支援計画作成時には、意向を確認する機会を設けています	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		計画を提示しながら説明を行い、同意を得ています	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期面談のほか随時相談に応じ、支援や助言を行っています	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	今年度は保護者が集まる機会を設けていません	次年度以降、保護者が集まる機会を設け、こどもへの関わりを考える場や懇談する場を設けていきます
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		随時相談に応じられることを周知し、相談時には迅速かつ適切に対応するよう努めています	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページやアプリを通じて必要な情報を発信しています	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いに十分留意しています	
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		電話、アプリなど様々な手段を用いて、意思の疎通や情報伝達に配慮をしています		

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		季節にちなんだ作品をお渡しするなど近隣住民との交流を行っています	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを整備し、発生を想定したシミュレーションを行っています	保護者への周知を行ってまいります
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に避難などの必要な訓練を行っています	訓練実施について、保護者にお知らせしていきます
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用開始前のアセスメント時に子どもの健康面に関する情報を確認しています	
	48	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーにより食事提供に配慮を要する場合は、昼食の持参をお願いしております	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、安全点検や必要な研修等を行い、安全管理を行っています	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		各マニュアルの整備、訓練の実施、避難経路・避難先等について、保護者に周知しています	保護者が随時確認できるようアプリに掲載します
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○		ヒヤリハット事例を職員間で共有し、再発防止に向けた対策を検討・実施しています	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		事業所内外の研修参加、セルフチェックの実施などを行っています	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		該当する状況があれば組織的に判断し、定められた手順に沿って対応していきます	

○事業所名	なごやかな森一橋		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 5日	～	令和 8年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 5日	～	令和 8年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	令和 8年 1月 5日	～	令和 8年 1月 30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	1	(回答数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当事業所の児童発達支援も併せて利用していることに関しては、小集団での様子を把握したうえで訪問先での対応について検討することができる	小集団の中で様々な関わりを通し、訪問支援に携わっていない職員も含め、こどもに必要な配慮や個別的関わりの方法などを検討するようにしている	個々に応じたより適切な関わりを提案できるよう、事業所内での支援の振り返りを充実させていく
2	保育経験のある保育士、療育経験のある臨床心理士・児童発達管理責任者が訪問支援を行っている	訪問後には、訪問スタッフで振り返りを行い、その後児童発達管理責任者と支援内容を共有し、保護者への報告内容や今後の訪問先へのアプローチについて検討している	訪問支援の経験を重ね、訪問支援の目的に沿ったより適切な対応を行えるよう、ガイドラインの定期的確認やスタッフ間での検討を行っていく
3	訪問先職員との関係構築やこどもの様子を継続的に把握していくことをねらい、毎回同じ職員2名が訪問支援を行っている	早めに訪問スケジュールを調整するようにし、事業所の状況で訪問が難しい状況があれば日程を変更し訪問できるようにしている	訪問支援を行える職員を増やし、臨機応変にスタッフ調整を行いながら支援日の変更がないようにしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	開設初年度であるため、訪問支援の実戦経験をこれから重ねていく	在籍園と保護者との信頼関係が深まり、情報共有や相談が密に行えるようになることを目指した支援の在り方について、更なる研鑽が必要と考える	保護者や在籍園からの情報に対し、在籍園(保護者)は知っているのかを確認することや、保護者に伝えるのは当事業所と在籍園とどちらの方が適切かを検討することなど、一つひとつの情報の扱いについて慎重に検討していく
2	職員の勤務状況により、予定していた訪問支援日の変更を依頼することもある	事業所内の職員数が少ないこと、訪問する職員を園ごとにある程度固定し対応していることから、欠勤が生じると訪問することが難しい状況がある	職員の増員を検討し、訪問支援を行える職員を増やすことで、欠勤が生じても訪問支援を行える体制を目指す
3	利用児童が少ない状況がある	開設初年度で児童発達支援事業の安定を優先させていたこともあり、積極的なPR活動を行っていない	利用希望者獲得に向け、近隣幼稚園・保育園などにPR活動を行っている

事業所名	なごやかな森一橋
------	----------

公表日 令和 8年 3月 1日

利用児童数 令和 8年 2月 1日現在 1名

回収数 1名 (100%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1					必要に応じて教具教材を整えてまいります
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1					引き続き、プライバシーに配慮した面談室にて面談等を行ってまいります
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	1					今後も、事業の目的をわかりやすく丁寧に説明してまいります
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	1					今後も、保護者や訪問先と相談しながら訪問の頻度や時間を決定してまいります
適切な支援の提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	1					今後も、こどもの状態に応じた支援が提供できる体制を整えてまいります
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					引き続きこどもの様子や訪問先の意向を考慮したうえで関わりを検討してまいります
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					今後もこどもを理解し、保護者のニーズや課題の分析を行い、支援計画を作成してまいります
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	1					計画作成時に限らず、随時訪問先のニーズや意向を確認してまいります
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					引き続きガイドラインの内容を踏まえながら、支援内容を検討してまいります
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					今後も支援計画に沿った支援を行ってまいります
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	1					今後も、訪問先の方針や対応可能な範囲などを考慮しながら支援を行ってまいります
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					今後も契約時に、丁寧にわかりやすく説明してまいります
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					今後も支援開始前に、計画書を提示しながら支援内容を説明してまいります
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1					今後も保護者のニーズに応じて関わりに関するご相談に応じていきます
	15 必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	1					今後も、訪問時の報告以外にも保護者と随時連絡を取り合い、共通認識を持てるよう努めてまいります
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					今後も定期的にこどもへの対応に関する情報共有や助言を行ってまいります
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					今後もこどもや保護者に共感的に支援を行ってまいります
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					今後もいつでも相談ができることを説明し、迅速かつ適切に対応してまいります
	19 こどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					今後も意思疎通や情報伝達のために十分な配慮を行ってまいります
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	1					今後も、訪問先の相談に適切に応じ、必要な支援を行ってまいります
	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	1					今後も訪問支援実施の際には、訪問先と十分な話し合いを行ってまいります
22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	1					引き続き、訪問支援実施後には保護者に支援内容を報告してまいります	
非 常 時 等 の こ と	23 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1					今後もホームページやアプリを通じて必要な情報を発信してまいります
	24 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					引き続き個人上の扱いには十分留意してまいります

対応 満足度	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしている と思いますか。	1					今後も、緊急時には訪問先と連携し対応してま ります
	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保 が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					今後も安全計画の周知および安全を確保した上 での支援の提供に努めてまいります
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	1					今後も訪問支援を楽しみに感じられるような支 援の提供に努めてまいります
	28	事業所の支援に満足していますか。	1					保護者や訪問先に満足していただけるような 支援の提供に努めてまいります

事業所名		公表日				
なごやかな森一橋		令和 8年 3月 1日				
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1			とても丁寧に様子を見ていただき、園としても取り入れやすい助言をいただいています	今後も園の状況に応じた関わり方のご提案を、わかりやすく具体的にお伝えしていきます
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1			対象児に対する理解や知識が豊富なため、園としても学びになっています	こどもの感じ方やより良いかわり方・望まれる配慮などを在籍園の先生方と共に考えてまいります
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	1			丁寧かつ適切に回答をいただきわかりやすいです	その場で回答できること、こどもの様子を見たり事業所内で検討したりしたのちに回答することなど、内容に応じて対応します
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1			一つひとつの課題や困りごとについて、新たな対応案を提示してくれています	引き続き、こども自身や在籍園の先生方の困りごとが軽減されるよう努めてまいります
5	事業所からの支援に満足していますか。	1			園での対応が難しいときなど、訪問支援スタッフが対応してくださったりと助かっています	随時ニーズを確認しながら、支援の充実を図っていきたいと思います
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		

事業所名		なごやかな森一橋				
		公表日 令和 8年 3月 1日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
境・運営・体制整	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		訪問先の環境で支援を行うため、特に教材の使用はありません。今後特別な教材の使用が必要と思われる際は用意していきます	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		毎回2名の職員で訪問しています	職員の勤務状況により日程変更させていただくこともあり、申し訳なく感じています
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		こどもや訪問先への対応について、職員間で共有し今後の方向性を確認しています	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者にご理解・ご協力いただいています	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の打ち合わせで意見交換する場を設けています	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		開所初年度であり未実施ですが、今後受審予定です	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事業所内研修の実施や、外部研修の案内を行っています	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		様子観察、保護者ニーズの聞き取りを行い、支援計画を作成しています	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者、訪問支援員など支援に携わる職員全員で支援内容を検討しています	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		訪問先職員のニーズを聞き取り、支援計画を作成しています	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援に携わる職員全員で支援内容を共有し、訪問時のねらいの確認を行っています。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		保護者・訪問先職員への聞き取りと行動観察によるアセスメントを行っています。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインの内容を踏まえ、具体的な支援内容を記載しています	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画内容を共有し、計画に沿って支援を行っています	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前に、訪問先職員を交えて支援内容の確認を行っています	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後に訪問先職員を交えて振り返りを行い、その後事業所内での振り返りを行っています	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		アセスメントや訪問毎のカンファレンスの際に、訪問先職員の考えや対応法を確認しながら支援を行っています	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		支援後の振り返りを経て記録を作成し、今後の支援の方向性を確認しています		
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		訪問の都度、保護者と訪問先職員の意向を確認し、支援内容の見直しの必要性を検討しています		
関係機関	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		サービス担当者会議の開催はまだありませんが、相談支援事業所への情報提供は児童発達支援管理責任者が行っています	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		小平市の児童発達支援事業所連絡会への参加や、保育園、幼稚園などの情報共有を行っています	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行先機関に、こどもの様子や支援内容について情報提供しています	

や 保 護 者 と の 連 携	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		外部研修について周知し、小平市児童発達支援センターから助言を得られる状況にあります	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○	1	小平市の児童発達支援事業所連絡会に参加しています	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		訪問の日程調整の際にも、こどもの様子について共有することができています	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ご相談があればその都度対応を共に考えることを行っています	児童発達支援で行う保護者懇談会に参加できる機会を設けていきます
保 護 者 等 へ の 説 明 等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用開始時に、契約書・利用のしおりなどで利用に関する内容を説明しています	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		利用開始時に、訪問先のニーズを確認するとともに支援の目的や方法について説明しています	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		アセスメントとして、訪問先でのこどもの様子を観察し保護者の意向を確認しています	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		支援開始前の支援会議にて、支援計画書をもとに支援内容を説明し同意を得ています	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		訪問支援の報告をする際に、保護者からの質問や相談の有無を確認し対応しています	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		今年度は実施していません	今後は児童発達支援で行う保護者会などに参加できる機会を設けていきます
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		定期的な支援会議のほか、支援ごとの報告連絡の際に質問や相談がないか確認するほか、いつでも相談に応じることができる旨をお伝えしています	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		児童発達支援事業所として毎月のおたよりを発行し、必要に応じてアプリを通じて情報発信をしています	
訪 問 先 施 設 へ の 説 明 等	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		在籍園や相談支援児事業所と情報共有する際には保護者に承諾を得ています	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		こどもに合わせてわかりやすい声のかけ方、示し方がかけ、保護者には電話やアプリなど複数の連絡ツールを設けています	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問時だけでなく、日程調整やその他の連絡時にもこどもについて話ができる体制があります	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		訪問時には毎回カンファレンスで振り返りを行っています	
非 常 時 等 の 対 応	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		訪問後には毎回支援内容を報告しています	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		保護者からの情報を訪問先に伝達してよいかを確認するなど、訪問先と連携を図る際にも情報の取り扱いには留意しています	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		訪問先職員の対応や考えを聞き尊重しながら、考えられる対応について助言を行っています	
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを整備しています	保護者への周知は今後行っていきます。タイミングが合えば訪問先の訓練に参加します
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画の作成、毎月の安全点検、事業内研修を行っています	
非 常 時 等 の 対 応	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例について要因と対策を検討し全職員で共有しています	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		事業所内研修やセルフチェックなどを定期定期に行っています	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束を行う事例はありませんが、必要に応じて支援計画に記載し組織的に対応していきます	